

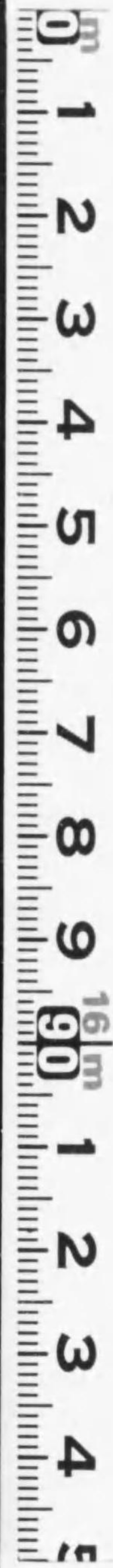
特273  
104

庫文館文博  
-(78)-

種百二花草 春播 春植

272

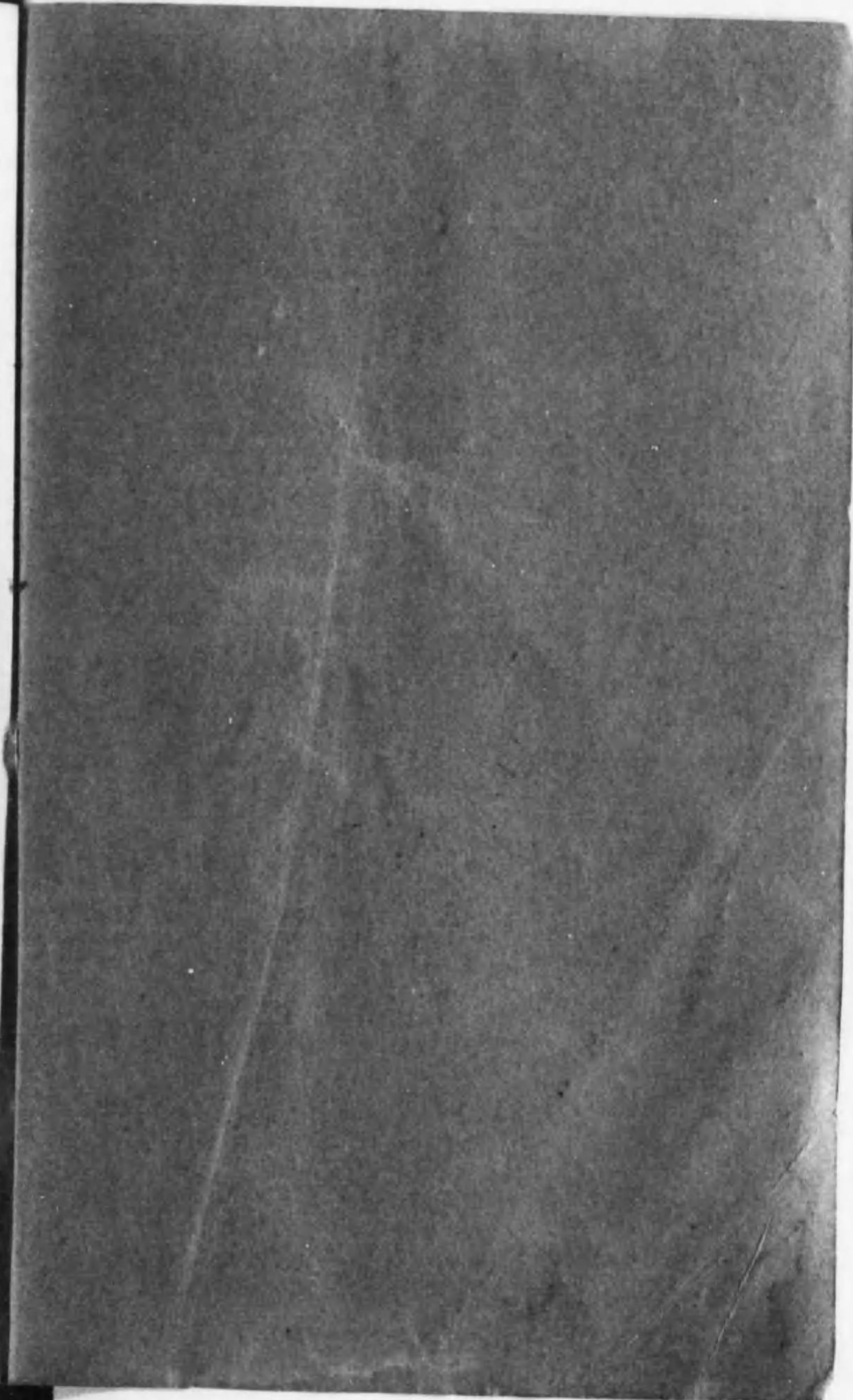
農業世界編輯局



始



お嬢やちもんお手傳ひ

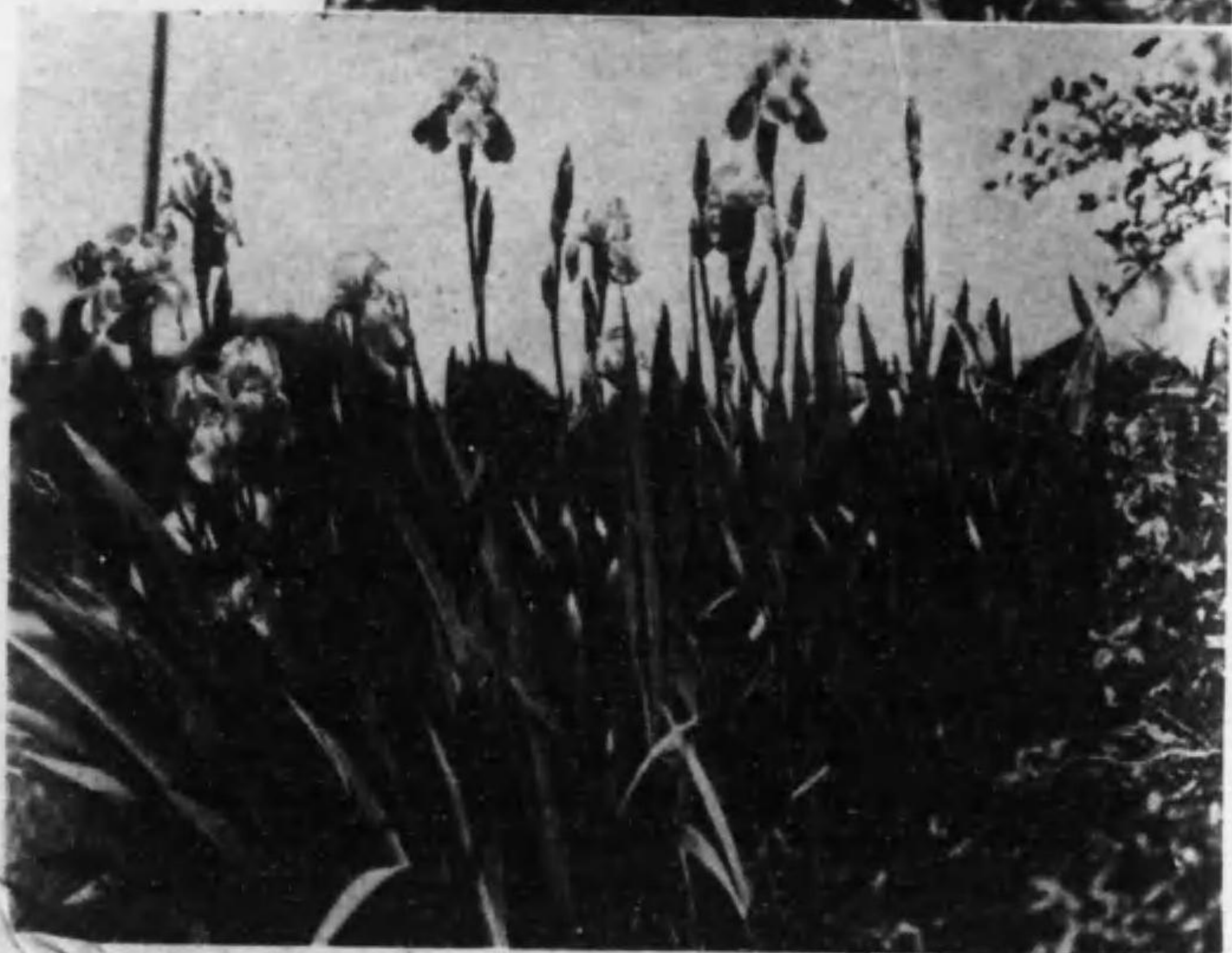


スライと草んらいお



〔上〕 その名もあてやかな  
「おいらん草」

〔下〕 あやめに似た「イリス」



ナンカとヤリダ

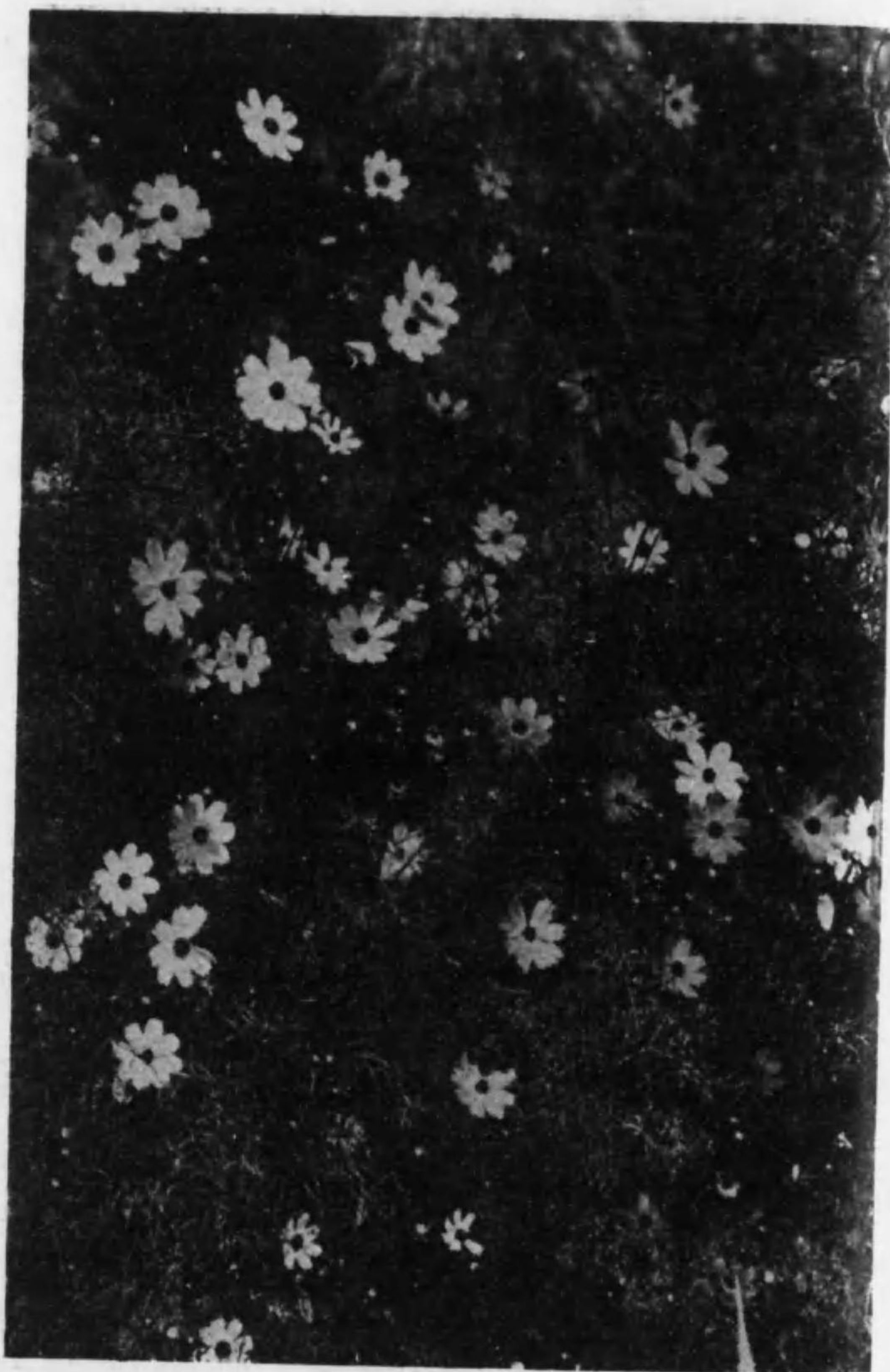


〔上〕 カクタス咲ダリヤ

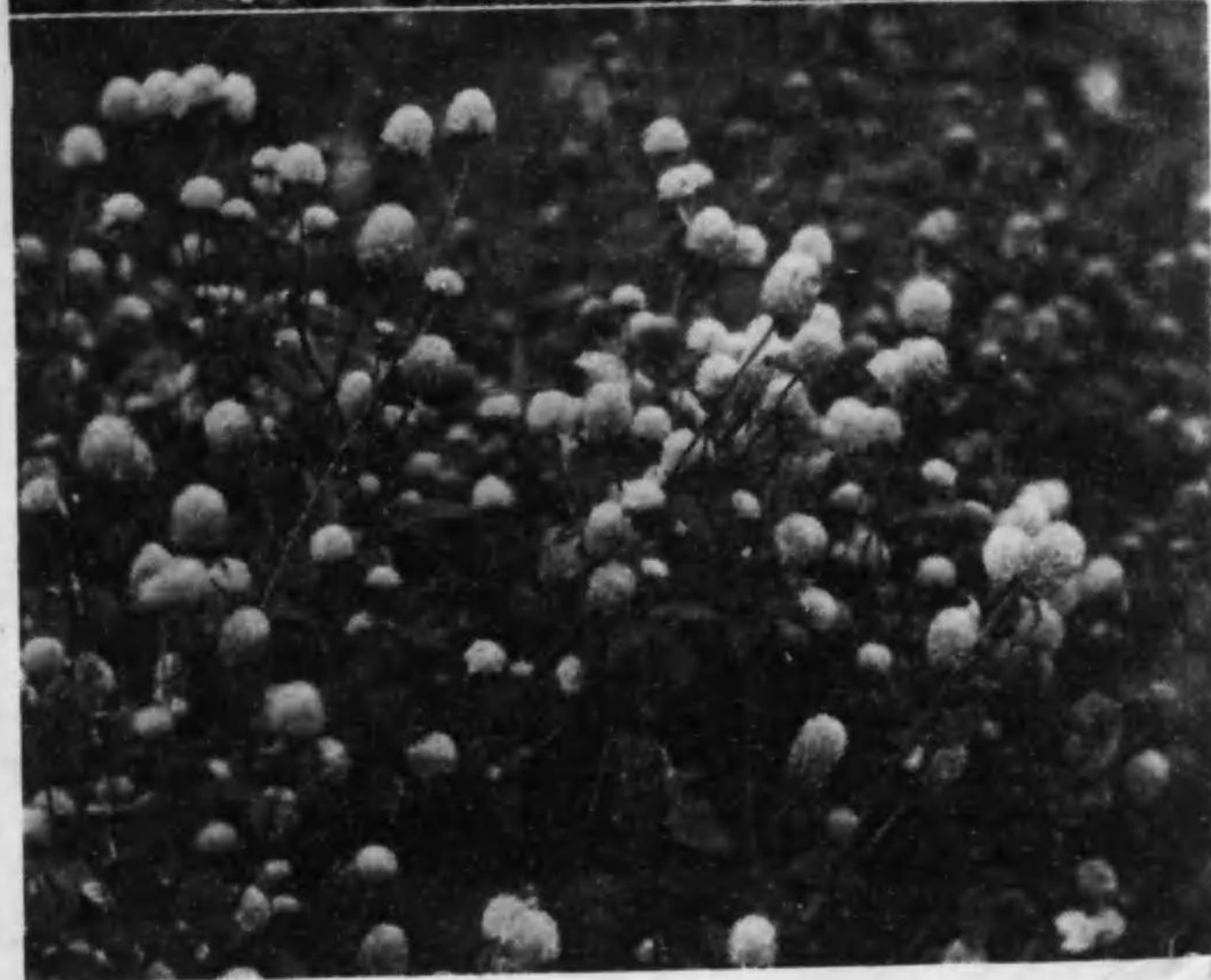
〔下〕 眞赤な花に緑の葉を  
もつた「カンナ」



ス モ ス コ



紅日千と草日百



うざんか



あさちあ



特267

104


  
 庫文館文博  
 -(78)-  
 種百二花草 挿春植

編局輯編界世業農



園花の家吾



春播 草花二百種 目次

口繪寫眞及挿畫

- ◇ お嬢ちやんもお手傳ひ……………(口繪二)
- ◇ カクタス咲ダリヤ……………(口繪三)
- ◇ カンナ……………(口繪三)
- ◇ おいらん草とイリス……………(口繪三)
- ◇ 百日草……………(口繪四)
- ◇ 千日紅(せんにもちかう)……………(口繪四)
- ◇ コスモス……………(口繪五)
- ◇ あぢさゐ……………(口繪六)
- ◇ かんざう……………(口繪七)
- ◇ 吾家の花園……………(口繪八)
- ◇ ダリヤの手入三つ……………(一七)
- ◇ 宿根草の冬圍ひ法……………(六一)

各論

長野健一郎  
相澤喜男

- ◇ 大粒と小粒の種子のまき方……………(二三)
- ◇ 蒔いた種子の保護……………(三五)
- ◇ グロキシニヤの芽かき……………(三一)
- ◇ ゼラニウムニヤの挿木法……………(四一)
- ◇ 洋蘭の植替へ方……………(六九)
- ◇ ユツカの冬圍ひ法……………(七六)
- ◇ アガパンサス……………(四八)
- ◇ あきのきりんさう……………(五七)
- ◇ 朝顔……………(九八)
- ◇ あぢさゐ……………(一八三)
- ◇ アブチロン……………(一六五)
- ◇ アマリ、ス……………(二七)

- ◇ イリス……………(四六)
- ◇ ヴァーバスカム……………(七三)
- ◇ ヴァーベナ……………(一一)
- ◇ えぞぎく……………(一〇一)
- ◇ エリカ……………(一六三)
- ◇ おしろいばな……………(七七)
- ◇ おだまき……………(七九)
- ◇ かきつばた……………(五三)
- ◇ 霞草……………(六四)
- ◇ かひざいく……………(二六)
- ◇ カラー……………(四一)
- ◇ カラチユーム……………(一三三)
- ◇ カンナ……………(二〇)
- ◇ 寒 菊……………(五八)
- ◇ ガーベラ……………(八一)
- ◇ 球根ベコニヤ……………(一五三)
- ◇ 桔 梗……………(六〇)
- ◇ キヤンデータフト……………(一〇八)
- ◇ 金魚草……………(一一)
- ◇ 金蓮花……………(一三)
- ◇ ぎぼうし……………(五四)
- ◇ 草猩々……………(一〇六)
- ◇ クリナム……………(三一)
- ◇ 黒種草……………(一一五)
- ◇ 君子蘭……………(一四五)
- ◇ グラチオラス……………(三三)
- ◇ グロキシニヤ……………(一六)
- ◇ けいとう……………(一〇四)
- ◇ 夾竹桃……………(一八二)
- ◇ 月下香……………(四二)
- ◇ け し……………(二六)
- ◇ けまんさう……………(五五)
- ◇ コスモス……………(八三)
- ◇ 小判草……………(八八)

◇小町菊	(一三四)
◇コリウス	(一三五)
◇コリンシヤ	(一三八)
◇コレオプシス	(一八七)
◇櫻 草	(六一)
◇さるすべり	(一八〇)
◇サルピヤ	(九五)
◇三色すみれ	(一〇八)
◇シプリベデユーム	(一六八)
◇しやが	(五七)
◇石 南	(一九)
◇宿根アネモネ	(六二)
◇しらん	(四七)
◇しをん	(七七)
◇ジンジャ	(三四)
◇睡 蓮	(五一)
◇鈴 蘭	(六三)
◇スターチス	(八〇)
◇ストケシヤ	(七四)
◇千日紅	(八六)
◇ゼラニユーム	(一三九)
◇たちあふひ	(五九)
◇たますだれ	(三七)
◇ダリヤ	(一四)
◇つくばね朝顔	(一三〇)
◇つりがねさう	(五六)
◇つるにちくさう	(六五)
◇デンドロビユーム	(一七一)
◇とらのを	(七六)
◇トリトマ	(七一)
◇なでしこ	(六八)
◇日々草	(九三)
◇のこぎりさう	(六六)
◇のしめらん	(五八)

◇は ぎ	(一七七)
◇雁来紅(はげいとう)	(九二)
◇はなたばこ	(一〇一)
◇葉牡丹	(九九)
◇はまぎく	(七四)
◇バートニヤ	(九一)
◇飛燕草	(六三)
◇ひなぎく	(六七)
◇ひまわり	(一〇七)
◇姫金魚草	(二七)
◇百日草	(八九)
◇風船かづら	(一〇六)
◇フクシヤ	(一五九)
◇フロツクス	(七六)
◇ヘリオトロープ	(一五六)
◇ペコニヤ	(一四六)
◇辨慶草	(七〇)
◇ほうせんくわ	(八五)
◇ほゞづき	(六九)
◇ほていさう	(五二)
◇松葉牡丹	(一〇五)
◇松蟲草	(一九)
◇まんじゆぎく	(九四)
◇むぎわらぎく	(二三)
◇紫つゆくさ	(七五)
◇木犀草	(二三)
◇もくれん	(一七五)
◇モントブレチャ	(三九)
◇矢車草	(一八)
◇夕 顔	(九八)
◇ゆきやなぎ	(一七四)
◇ユツカ	(一七六)
◇百 合	(四四)
◇リチニス	(七三)
◇リナム	(六九)
◇リヤトリス	(八二)
◇るこうさう	(一〇三)
◇ルピナス	(一四)
◇ロベリヤ	(一六)



ダ  
リ  
ヤ

数ある夏咲の草花の中で、最も一般的に人氣のあるのは、やはりダリヤでせう。單に咲かせるだけならば極めて容易で、花は續々と長い間咲き續け、花壇や庭を飾つてくれます。

このダリヤは大抵庭へ直に植付けてゐますが、鉢仕立も都會生活者には思ひ付きてせう。併し本當のダリヤのよさを眺めるには、庭植でないと思まれぬことであります。

ダリヤにはいろいろの花型がありますが、家庭でお作りになる時には、切花にも向く、デコラチーフ咲のものかショー咲、ボンボン咲か、何れかゞよろしい。特にデコラチーフ咲とボンボン咲は最適でせう。

## 種百二花草

〔庭作り〕ダリヤの球根は通常、霜の降りなくなつた頃、東京附近では四月中旬から五月上旬に植込むのが最適です。併し五月下旬頃までは大丈夫で、多少芽は伸びてゐても、咲かせることが出来ます。ダリヤの芽は強いもので、なにかの拍子に折れても、植込んでおきますと必ず横芽を出してくるか、球根からまた新しい芽をふいて參ります。多少芽に故障はあつても、球根を捨てることはありません。

## 種百二花草

素人の方は、球根が大きければ、キツと大きい、立派な花が咲くだらうと考へられるてせう。誠に尤もな話です。併しダリヤは、あんまり大きい球根には、澤山に、然も大きい花は絶對につきません。といつて、あまりにも小さいのもいけないので、中庸程度のものを選ぶことが、ダリヤ作りには、最も肝要なことです。

尙、球根の表面に斑点やヒビ割れなどのない、肌の滑らかなものをお求め下さい。

ダリヤを作る場所を、専門家は兎や角と申しますけれども、趣味栽培では日當りさへよければ、何んな土の處でも、或る程度まで作れます。たゞ長雨が續いて水が溜つたり、頭からつかりますと、一晩で芽は黒變し、球根は腐つてしまひますから、左様な危険のない場所を選ぶのが安全です。

さて適当な場所が定まりましたら、直径七、八寸から一尺、深さ一尺位の穴を掘ります。穴と穴との間隔は、二尺五寸から三尺位にしたらいゝてせう。穴の底には、腐りワラ（俵やコモワラを露天に積重ねておきますと、一年後にはポロ／＼に腐ります。これに豫め油粕や糠、鶏糞、大豆粕など混ぜておくと、素晴らしい肥料となります）に、腐つた草（夏の間に刈つた雑草や庭から引抜いた草、豆をとつた後の莖や葉、野菜類の屑、かき葉を積んで腐らせたもの）落葉、馬糞（数十日を経たもの、ワラと一緒にしても結構）などを小バケツに一パイぼと

入れます。その中に鶏糞二握り、糠を二握り加へてよく混ぜ合せます。そして僅かに土をのせ  
 たならば、芽が穴の丁度真中にあるやうに、真直ぐ上を向いて伸びる位置に球根を据えます。  
 芽の直ぐ脇に一握りほどある太い竹（長さ七尺ほど）をつき立てます。後でこれに、莖を縛り  
 付けるのです。

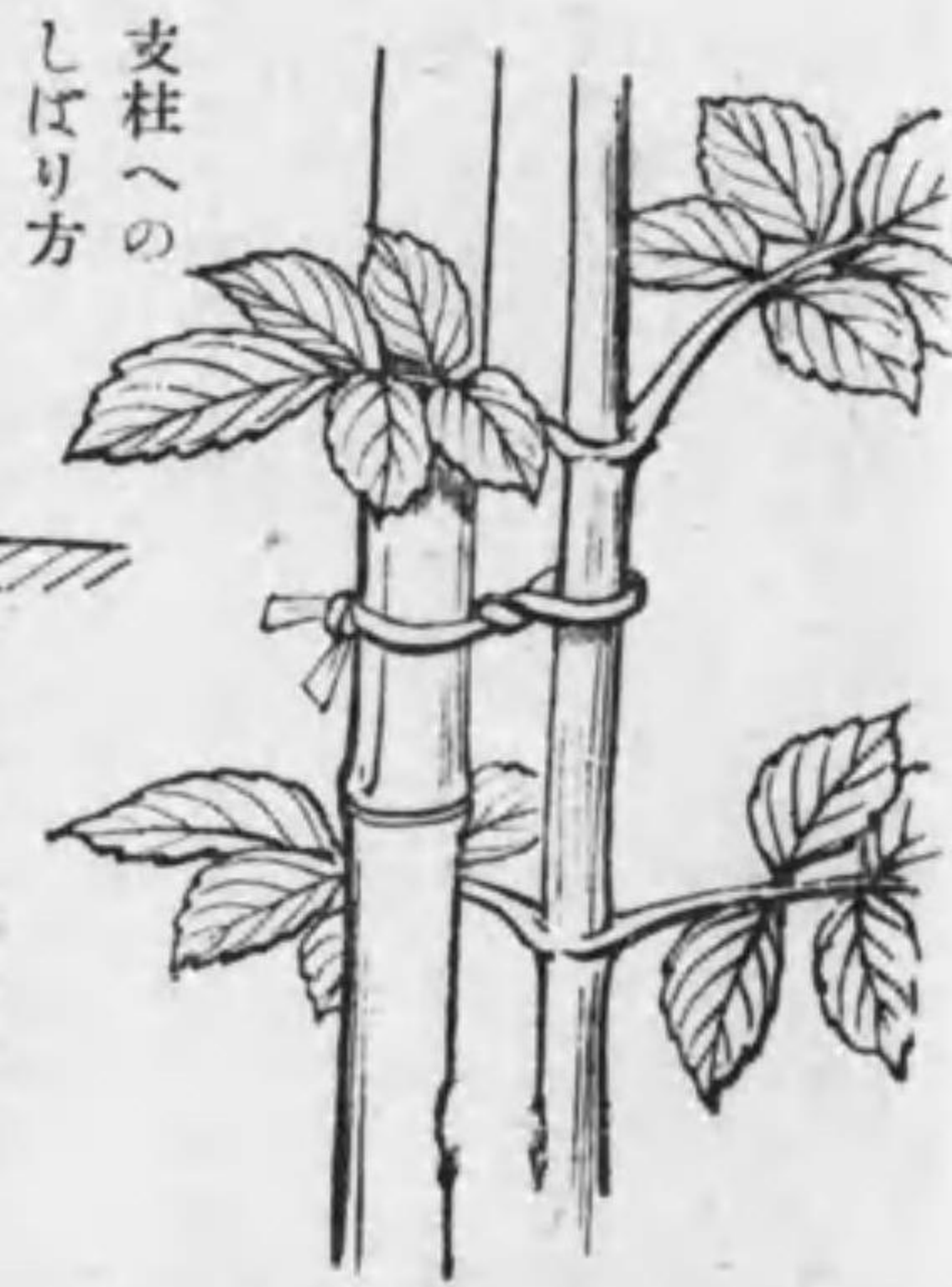
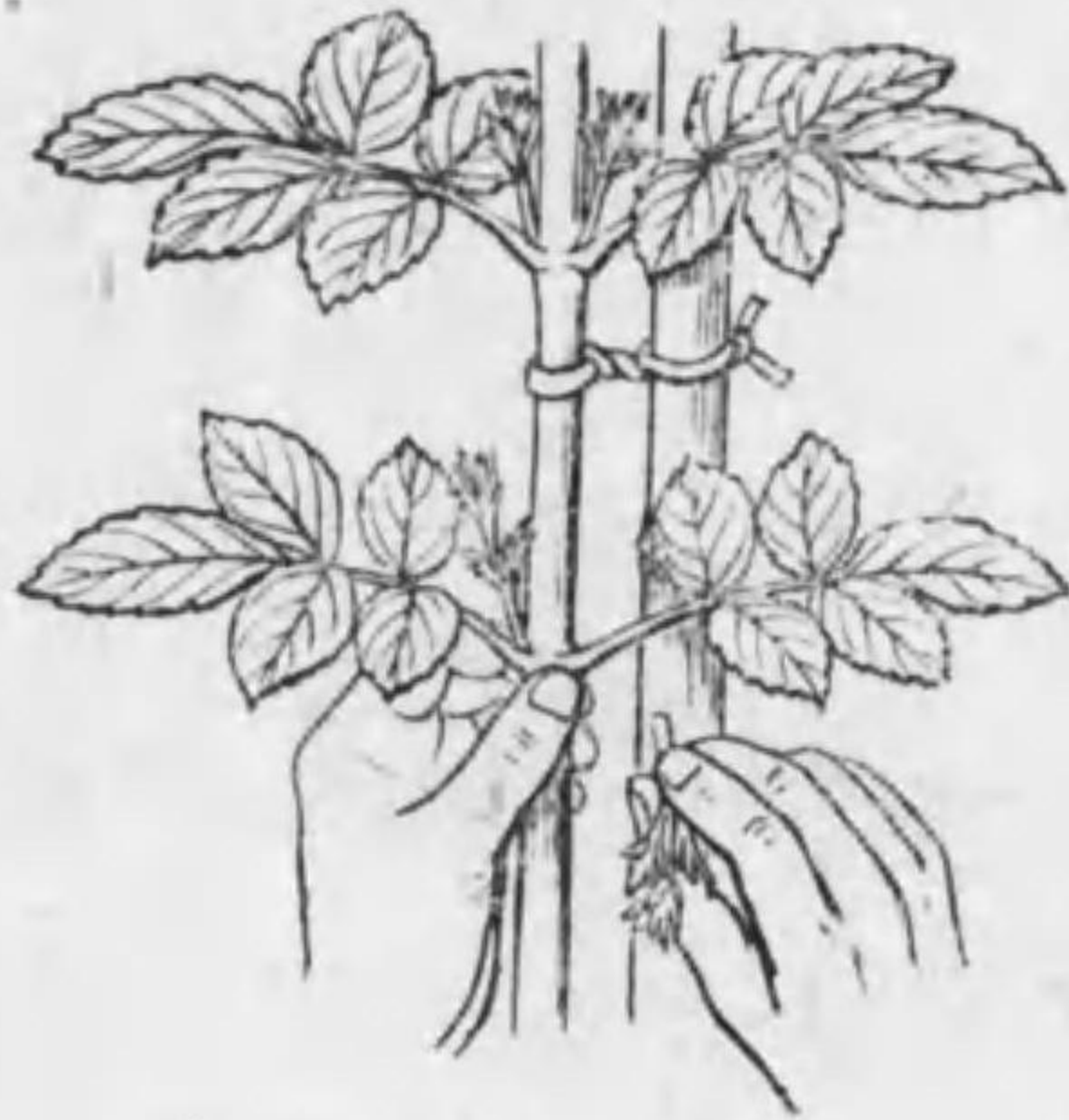
竹を立てましたら、土を碎き乍ら、球根の上に、だん／＼に入れて平に均します。この土を  
 入れる時に、球根の周りへ、三握りほどの灰をふりまいておくと大變丈夫になります。  
 十日ほどしますと大抵芽を出しますが、この頃から一尺ほどに伸びる間に、夜盗蟲といつて  
 芽先を喰ふ茶褐色のイモ蟲が活躍します。やられた時には、朝方、その株の根元をさぐつて見  
 ると大抵見付けられますから、一日も早く捕り殺して下さい。

芋即ち球根によつて、二芽も三芽も出す場合があります。どれか丈夫さうなのを一つだけ残  
 して、後は小さい中に、下の方から摘取ります。残された一本の芽は、日増しにぐん／＼と伸  
 びますから、伸びるに従つて竹に麻紐などで、圖の如き方法で縛付けます。

ボンボンダリヤは、花が小さいほどいゝのですから、或る程度までは、葉の附根から出る脇  
 芽は残します。併しデコラチーブダリヤ、その他の種類で、大きい花を咲かせやうとするには  
 どうしても次々と出てくる脇芽をかき取らねばなりません。また中心に蕾がつくと、その兩脇

ダリヤの手入れ三つ

脇芽のかき方



芋の植付方と支柱立



にも蕾をつけます。この兩脇の蕾も、早くかきとつておきます。すると養分は一個の蕾に集中されることになつて、大きな花となる譯です。

芽が出てから秋十月頃まで、月に二、三回ほど、生え際を少しかき起して、油粕に魚屑、小便などを一緒にした腐汁をやると、發育が餘程違ひます。草は時折、抜取つて下さい。尙、夏にあまり乾く際は、隔日にたつぷりと水をやつてしのがせます。

花が半開きになつた頃、その花の部分だけにザル、バナナカゴのやうな、多少は日のもれるものを一日、日のある間だけかぶせておきますと、見違へるばかりの大きな花が見られるものです。ご實驗下さい。

花が咲くと蟲が参りますが、白とか黄色の花には、コガネ蟲などが盛んにたかり、ひどいことをしますから、早朝、まだ露のある間に捕ります。

一番初めの花が咲き終りましたら、上から二節乃至三節つけて切棄てます。すると下の節間から出かゝつてゐた脇芽は、勢を得て伸び、やがて先に蕾をつけます。この際にも中心の蕾以外の蕾は、小さい中にかき取ることです。

一通り花が咲きますと、どこからともなしに芽が出て参りますが、この頃に一度、各々の枝を一、二節残して綺麗に摘込んでおきます。かうすると秋になつて、美事な花をまた眺めることが出来ます。

とが出来ます。

〔球根の貯へ方と分け方〕 温かい地方なら、そのまま、冬の間もほつたらかして大丈夫です。併し東京附近では、降霜と同時に掘上げます。球根はバラ／＼にしない事が大切で、親芋（今年植付けた芋）と一緒にくつゝけて掘上げ、太い莖を五、六寸残して切拂ひます。これを早朝より日の當る、水排けのいゝ場所へ、二尺から二尺五寸位の底に埋け、上を饅頭形にし、コモを一枚のせておきます。

また、植付けたまゝ、莖を短かく切拂ひ、その上へ一面に一尺から一尺五寸ほど、土を盛つておいても結構もちます。

何れにしても早春に掘出し、日當りに浅くいけておきます。そして僅かに芽の出た頃を見計つて、一つの球根に芽が一つ、つくやうに切分け、前年同様に植込むのであります。

〔挿芽仕立法〕 直径一尺以上の大輪花を咲かせるには、芋から二寸ほど芽が出かゝつた時、この芽に少しばかり芋の肉をつけてえぐりとり、三、四寸鉢へ挿すやうな氣持で植込みます。

植込んだ當座は、日中葎簀下におき、だん／＼と日に當て、肥料をやり、三、四寸ほどになつた頃、初めて庭へ植出すのです。これは秋にしか咲きませんが、實に素晴らしいものが咲きます。夏に咲かせるには、秋に挿芽をして、冬の間フレームに入れ、春に植出します。

カ  
ン  
ナ

三伏の候、百花酷熱に喘ぐ時、獨り涼然と妍をほしきまゝにしてゐるカンナこそ、盛夏の球根草花として、先づ第一に指を屈すべきものでありませう。

カンナは水揚げが悪く、胴體からして切花には到底向きませんけれども、それだけに花壇や庭植には眺へ向きです。殊に生垣、竹垣、板塀、建物、芝庭の中心、玄關脇などに數本塊めて或は列状に植ゑますと、なか／＼見榮がいたします。

栽培が極めて容易で、獨りてに育つといつていゝくらゐに丈夫な、世話要らずの球根草花です。小さい球根を植付けても必ずその年から、早きは六月頃より晩秋霜を見る頃まで、殆ど休みなしに咲通します。

カンナは多く花壇へ直に植付けますが、大きな鉢へ、芽が四、五本立つ程度の球根を植ゑますと、室内特に洋間の裝飾や玄關飾りなどにちよつと面白いものになります。

〔花壇作り〕 極端な日陰とか水引きの悪い、じく／＼した所を除けば、多少土が悪くからうが赤土であらうと平氣で育ちます。それで一日中、よく日が當れば理想的なものであります。

## 種百二花草

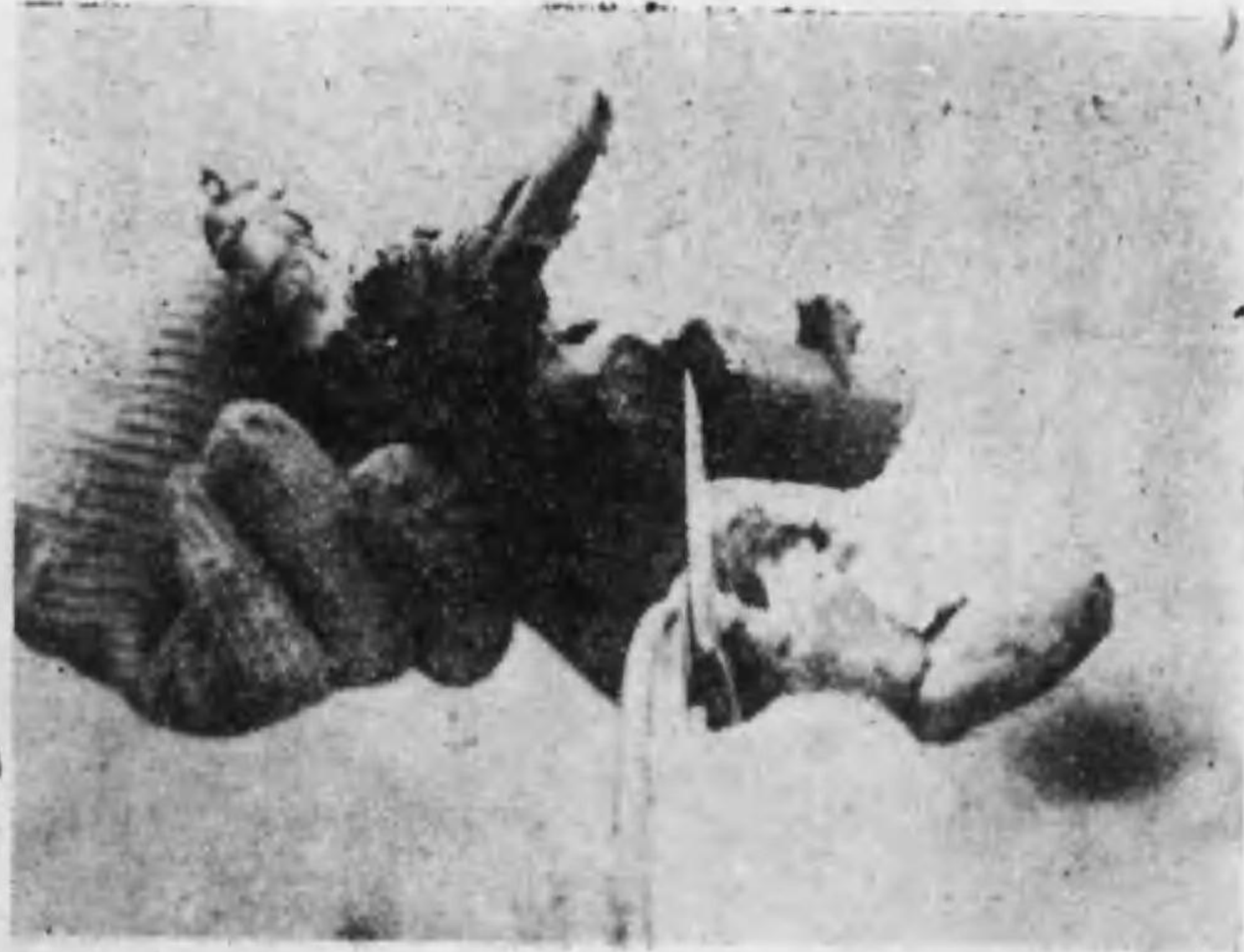
球根と申しましても、蓋の根を大きくしたやうな形をしてゐます。これを植付ける時期は春の彼岸頃から五月中頃までなら差支へなく、多少芽が伸びてゐても大丈夫です。東京附近では、四月中、下旬が最適でせう。

球根はあまり大きい必要もありませんが、それかといつて小さく切分け過ぎたものもいけません。切分けた一本の根から、少なくとも二、三本の、ごく太い芽のあるぐらゐのものを選ぶ事です。植付けた翌年に、殖えただけ切取る際は、この心持ちでやつて下さい。

尙球根は寒さのため、よく腐つてゐることもありますから、ブカ／＼してゐない、堅へても固いものを求めるやうにします。

カンナには、誠につまらぬ、貧弱な花をつ

丁度よいカンナの球根で、鉢で切落してゐるのは前年の莖



## 種百二花草

ける種類が澤山あります。球根が安いからとて、無闇なものを買はぬがご用心です。  
 植付け方は、直径二尺ほど（林の如く莖を立てる時には大きくすればよろしい）で、深さも一尺位の穴を掘ります。穴の底に腐りワラ、落葉、鶏糞、日を経た馬糞などを小バケツにパイと、油粕三握り、灰を二握りほど加へてよく混ぜ、土を僅かにかきましたら球根を据ゑ、土を元通りに入れ、少し壓へつけておけば結構です。

その後は、草をとつてやることゝ、芽がでてから花の咲く頃まで十日ごとに、株の周りをさつとかき起しては、油粕の腐汁や魚屑の腐汁などを、柄杓に二、三パイほど與へますと、いよゝもつて葉を擴げ、次々と花をつけるに至ります。一本の軸の花が終りましたら、下から切去つておきますと、間もなく別の軸が伸びて花をつけます。

一霜來ますとべつとり萎れてしまひますから、軸を五、六寸残して切棄てます。東京以西の溫暖地ですと、切株の上にゴミ土か菊や朝顔に用ひた古土を四、五寸の厚さに盛り、更に冬中はコモか俵でものせておくと、平氣で冬越しができます。けれども寒さの強い、霜柱のひどく立つ所、雪の積る地方では腐つてしまひます。面倒でも株を掘上げ、一、二日ほど乾かして、土と細根をざつと切去り、モミ穀と一緒に木箱へ詰め、日當りのよい、縁の下などへ入れておきます。

## グラチオラス

夏の洋花としてダリヤとカンナは捨難いもので、花もなか／＼立派ですが、手入れの容易な點と庭飾りにも切花にも向き、花持ちのよい點、然も球根は鼠算式にどん／＼殖へてゆく點で、グラチオラスも兩者に優るとも劣りはしません。

グラチオラスを植付ける時期は、四月中旬から五月上旬までが最適、五月下旬では遅き恨みがあります。中旬になるともう太い芽が五、六分ほど出かけますが、この球根を植ゑれば間もなく根を出し、葉を出して、やがて花もつきます。たゞ咲く時期が少し遅れるだけです。勿論芽の出たのも程度問題ですが、兎も角、多少芽が出てから植付けても十分間に合ふ處に、グラチオラスのいゝ處がある譯です。但しこの芽は極めてもろく、ちよつとのことで折れてしまひますから、植付けには十分に注意を要します。

グラチオラスの球根で、一球五錢や十錢位するものはザラにあります。併し家庭で、裏庭を飾つたり、切花とするには、少し勿體なさすぎます。植ゑ場所が廣いと、種球代だけでも莫大です。かういふ場合には、五十球が一圓とか一圓五十錢とかいふ位の安い、各色混合といふの

を求めに限りません。これを専門家は札落といつてゐますが、要するに名なし権兵衛です。  
 球根を植付ける場所は、風通しがよくて、水吸ひがよく、更に朝から晩まで日のよく當る所なら、どんな土の所でも作れます。午前中或は午後だけ日の當る所でも、できぬことはありません。

植付ける場所を深さ五、六寸まで打起し、あまり大きな土塊は小さく砕いて平に均します。狭い带状の場所ならば四寸間隔で一行、或は三寸間隔で千鳥の二列に、巾の廣い所ならば五寸四方になるやうに、深さ三、四寸の溝を掘ります。一番底にゴミ土（ゴミを外に積んで腐らせたもの）腐りワラ、油粕、糠などを少し入れ、少し土をかぶせた上に球根をおきます。

芽を上にして球根をおきましたら、穴一パイに塊りのない土をかぶせ、軽くその上を壓へ、平に均します。植付ける時に適當な肥料のない折は、殊に初めてグラチオラスを作る場所なら球根の下に肥料を入れなくても、後で油粕や魚屑の腐汁、灰汁など十分にやるだけでよく出来ます。

一週間か十日経つと大抵芽を出して參ります。一球から一本のこともあれば、五本も六本も群がつて出るものもあります。あまり芽數が多いと、どれも弱々しい莖となつて、いゝ花が付きません。その中で太い芽を三つ乃至四つ残し、他は生え際からかき取ります。かき取るには、

元をしつかり壓へて、力強く、つんと引抜けばよろしい。元を壓へぬと、球が持上つてしまひます。

大抵一齊に芽をのぞかせるものですが、それより四、五日してもまだ芽を出さぬ球があります。これは多く、芽の上に被つた皮が固いためです。やがて皮を破つてへんな方向に出ては來ますが、植付ける際に皮をむいておくと早くてきます。

手入は草取りと、あまり土の乾く際には、隔日ぐらゐに水を十分にかけてやります。芽が一尺近く伸びた頃から花の咲くまで三、四回、莖の生際の脇に浅い溝をつけ、こゝへ油粕や糠、魚屑の腐汁に小便などを混ぜてやりますと、大變よく育ち、大きな、しつかりした花が咲いて

支柱の立て方



球根の植付け方

きます。

グラチオラスは、少し強い風がくると倒されることがあります。花の咲く頃に一度、土を周りに盛りあげておき、更に数が少なければ一株に一本づつ、澤山の時には處々に竹を立て、高さ二尺位に繩を張りますと安全です。

芽の出かゝつた頃に、生え際から喰ひ込んで甘い汁を吸ふ蟲（茶褐色のイモ蟲で、夜盜蟲といひます）があります。一本喰ふと、また次へゆきます。このイモ蟲は、日中は食つた芽の生え際にもぐつてゐますから、掘出して殺します。葉をガリ／＼と食ふ蟲もつきますから、少しやられたら注意して捕ります。

切花にする時には、生え際から切取らず、一、二枚ほど葉を残すやうにして切取ります。これは新しい球を大きくするためです。

咲き放しにしておきますと實がつきますから、花があらかた終つたら、途中から軸を切棄てます。そして秋までに二、三回、前記のやうな肥料をやつておきます。

十一月になると次第に葉は黄ばみますから、お天氣の二、三日續いた時に、球根を掘りあげます。最初植付けた球はスポンジのやうになり、その上に新しい球が一、二個つき、更に周りに粒々した球がついてゐますから、落さぬやうに掘上げて下さい。

掘上げた球は、莖と根を元から切棄て、スポンジ化した古い球をはぎ取り、大小を區別して十日間ほどよく乾し、乾いたモミ穀と一緒に木箱へ入れて、押入、縁の下、物置などに春まで貯へておきます。大きい球は翌年花をつけますが、小さい球は一年育て、大きい球にしないと咲きません。

## アマリ、ス

花が大きくて、その上誠に華美で、然も極めて作り易いために、アマリ、スは春植球根の王とまで言はれてゐます。確かに筒状をしたその花は見事で、夏の花壇を飾るに相應しいものがあります。花壇の中心や、生垣、建物などに沿つて咲かせるに最もよく、また水揚げがよろしいので、裏庭につつて切花にするにも眺め向きです。

また鉢に植ゑて室内を飾るのも氣が利いてゐます。球根も割合に安く、一球が十錢前後で手に入ります。一球から一本乃至二本ほど花莖を順次に伸し、二、三輪の花をつけますので、一ヶ月近くも花を眺めることが出来ます。

アマリ、スの球根を求めるときには、値段は少し高くとも、なるべく大きいものを選びま

す。球の一番太い所を計つて、周り六寸以下では駄目です。少なくとも七寸以上のものではないと、その年には花がつかぬからです。

〔花壇作り〕 球根を植込む時期は、四月上旬から五月一パイ、東京附近では四月中、下旬が最適であります。

水掛けと日當りがよろしければ、少し位砂勝ちであつても、また粘土氣があつても、よく出来ます。

凡そ一尺間隔に直径五、六寸、深さ一尺ほどの穴を掘ります。穴の中に、腐つたワラや落葉草、それに油粕や灰を入れ、土とよく混ぜ、少し土を落して、その上に球根を一球づつ中心に据え、土を入れ、周りを少し壓へておきます。植ゑ終つた時に、莖を切棄てた先が、辛じて土面に現れてゐる位、即ちすれ／＼になれば理想的です。

六月になると花をつけますが、根を短かく切詰めてある球根を植付けた場合には、葉は殆ど出ずに花だけしかつかないか、出てもホンの僅か、花が済むと伸びてくるのです。併し植ゑつ放しにして二年目になれば、花時には十分に葉も出て、更に球の脇に出来た子供より葉も生じますので、だいぶん賑やかになります。花を切取る時には、最初の年には花だけに止め、翌年から脇に出た葉だけ添へて切るやうにしますと、球を小さくせずすみませす。

植付けた年でも翌年でも、葉が出れば根も張つてゐますから、秋まで十日ごとに、汲置きの小便や油粕の腐汁、魚屑汁など混ぜたものを施します。花時になると随分根が張つて来ますから、肥料をやる時に球根の周りを掘らず、一面に、水をやる調子でやるとよろしい。その外に手入としては草とりと、ひどく乾く時に水をやる位です。

アマリ、スの球根は、寒さに割合と丈夫で、然も植ゑ放したと葉が早く出ますから、そのまゝで冬越しをさせるがよろしい。東京附近なら、降霜と共に枯れた葉を生際から切り取り、球根の上へ一面に、四、五寸の厚さに土を盛ります。更に俵かコモをのせておくか、炭俵のやうなものに斜す（北を背に、南向きにします）に立てかけ、簡単な霜除をしても結構です。暖かくなりましたら、少しづつ土をのけ、元通りぐらゐにします。

けれども東京附近でも霜柱の物凄く立つ場所とか、以北の寒い地方では、寒さのため腐りますから、どうしても掘上げねばなりません。葉が萎れましたら丁寧に掘上

アマリ、スの鉢作り





げ、長々と伸びた根と莖を切棄て、切口に灰をまぶしておきます。一週間ほど薄日に當て、乾かしましたら、乾いたモミ殻と一緒に箱へ詰め、あまり寒くない場所に、翌春の植付け期まで、貯へておきます。裸のまま箱に入れますと、往々寒さで腐ることがあります。

二年ぐらゐは全く植替の必要を認めませんが、三年、四年になると込んで来ますし、根も張つて發育が悪くなります。二、三年目ごとに、春四月初め頃に掘起し、なるべく根を切らぬやうにして植換けてやりますと申分ありません。

〔鉢作り〕 鉢作りもちよつと洒落れてゐます。七、八寸から一尺位の鉢に一球づつ植ゑます。鉢底の小穴を塞ぎ、少しばかりゴロ土を入れ、土(庭土六分に腐葉三分、川砂一分にします)を入れたら球根を据ゑますが、植終つた時に球根が三分の一ほど出てゐる位にしますと丁度よろしい。土は少し壓へておく方が良好です。

日によく當てることは申す迄もないことで、土が乾く前々に、水とごく薄い油粕の腐汁でも交互に與へてゆきます。温かい所におけば、地に植ゑたものより餘程早く花が見られます。

花が終りましたら、土を崩さぬやうにして地へ下すも一法、そのまゝ育てても宜しい。葉が枯れましたら鉢ごと霜除の下に埋ける(四、五寸深さ)か、土の凍らぬ室内、フレイム中に取込むのも良い方法です。尚、一年おきに地へ下して、十分に肥培してやる必要があります。

ク リ ナ ム



クリナムの花

和名を印度ハマユウと言ひ、花は大ききも恰好も鐵砲百合に似てゐます。おもとを大きくしたやうな垂れ葉の間から夏日、花莖をぬき出して、頂きに、六、七輪の花を開きます。一日か二日て凋みませんが、次々と咲きますので相當長い間眺められます。全部の花が終ると間もなく別の花莖が伸びて、殆んど夏中、絶え間なく咲き續けて居ります。

相當に大きくなるもので、花壇や庭の中心生垣沿ひ、片隅などへ少し塊めて植付けると大變見應へが致します。

根は球根で、丸くなつたのと面長ののがあります。寒さに弱い種類もありますが、一般に作られてゐるクリナムは丈夫で、東京地方の氣候なら簡単な手入れで、全く植つ放して多越しができます。勿論この邊の氣温では葉は

枯れてしまひますが、少し温かい、霜の少ない地方ですと冬中も青い葉をつけてゐる位です。白い花（外側は少し色を帯びてゐます）が最も一般的ですが、桃、藤桃などもあり、一球三、四十錢が相場です。

〔花壇作り〕 球根を植付ける時期は、東京地方では、四月の上、中旬が適當です。多少は遅れでも差支へありません。

球根があまり小さいといふ花が咲かぬばかりか、その年には全然花をつけぬことさへあります。球の周り七、八寸もので一本位、一尺もので二本、時に三本ほど花莖を生ずるものですから、安いからといつて、小さい球を求めぬことです。

極端に粘土勝つた所、じく／＼した所、或は砂地でない限り、大抵の所によく出来きます。南を受けて日當りのよい所ならば、申分ありません。

一尺五寸四方に一つづつ、深さ一尺五寸ほどの穴を掘ります。場所の具合で、一ヶ所に二、三球も植込む時には、口の大きい穴を掘ります。穴底に腐つたワラ、ゴミ土、半腐りの落葉などを小バケツに一パイと、油粕を三握り、灰を二握りほど加へてよく混ぜ合せ、土をちよつとかぶせましたら球根をおき、土を詰め、少し固めに壓へておきます。地面から球根までの深さは、一尺そこ／＼あれば十分であります。

植込み後は餘り手入はありません。草を取ること、芽が出て来てから秋十月頃まで、月二、三回の割で、汲置きの小便、油粕の腐汁、魚屑の汁などを根元に施してやります。ひどく乾くやうでしたら水をやりますが、普通はその必要がありません。

花が終りましたら軸を切棄てます。霜が来ますと莖や葉はべつたりと倒れてしまひますから、丁寧に刈取り、株の上に五、六寸厚さに土をかけ、更に十二月頃にはその上にコモの類をのせ、風で飛ばされぬやうにしておきます。かうすれば東京附近でも、平氣で冬越しが出来ます。翌春になつて元通り、土をのけます。

もつと寒い地方ですと到底これではもちませんから、早速掘あげ、莖を切拂ひ、二、三日間よく乾して、モミ殻と一緒に木箱へ詰め、温かい室内かフレーム中に取込んでおきます。

クリナムは、數年の間、植ゑつ放しにした方が、澤山に花をつけますから、植替はなるべく控へます。そして植替、植擴げの際は、春に根を努めて切らぬやうに掘起し、そのまま植付けます。大抵球根が二つ三つに分れてゐますから、一つ／＼に分けると簡単に殖えます。

〔鉢作り〕 クリナムは鉢作りにしても、なか／＼見栄えがよろしい。但し草丈からいつて、尺鉢以上に植ゑないと駄目です。樽や木箱を利用するのも面白い方法でせう。

必ず底に鉢かけや砂利、ゴロ土を入れて水排けをよくし、二、三ヶ月前から庭土に腐りワラ

など混ぜておいた土に一割ほど川砂を加へて植付けます。鉢に二、三球が手頃で、この場合には頭を少し出して植込めばよろしい。水切れさせぬやうに灌水すると共に、月二、三回、油粕の腐汁をやれば、立派な玄關飾りなどになります。

霜を見ましたら、鉢ごと土中へ埋込むか、霜除の下へ取込みます。また掘上げて、結構です。この鉢植の際は二年に一回は植かへて、新しい土と取替へる方がいゝと思ひます。

### ジンジャ

花みやうがの名さへある如く、草姿といひ、葉といひ、根など、薑とそっくりです。たゞ薑より大きく、草丈は四、五尺にもなります。初秋から秋末にかけて、莖の先端より、非常に香りの強い、白色の奇花を數個つけます。花は草に比して稍々物足らぬ感がありますが、花香だけは、球根植物中最も優れたものです。

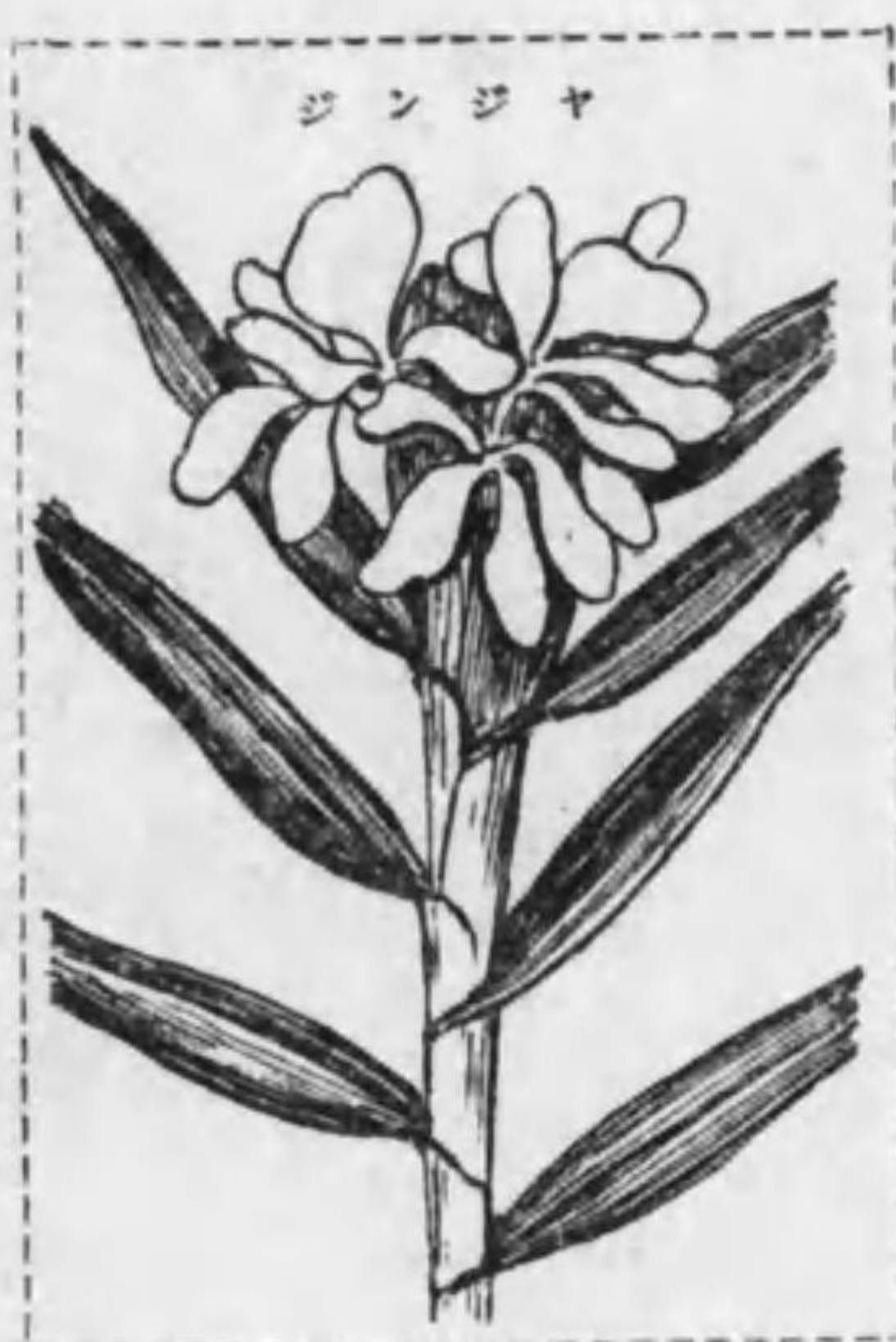
しかもジンジャは、元々丈夫であつて、冬の間もごく簡単な設備で植ゑたまゝ冬越しができて作り方も容易で、よく殖えますから、花壇に植ゑたり庭へ植ゑるに好適なものです。

〔花壇作り〕 植付ける時期は、四月上旬から五月一パイ、その中でも四月中、下旬が最適で

あります。

夏になると直ぐ土の白く乾く所とか、常にじく／＼してゐる所を除けば、多少出来不出来はあつても、何處でも十分に作る事が出来ます。日は一日中當ればよし、半日ほど當つても、幾分木蔭になる所でも結構です。夏の間、あまり乾く所よりは寧ろ、濕氣のある所の方が安全です。

それほど深くまで耕す必要はありませんが、土塊は小さく碎き、腐りワラや落葉の腐つたもの、灰などを十分に働き込んでおきます。



ジンジャ

かうして地拵へが出来ましたら、二尺ぐらの間隔をとつて、鉄幅(鉄の幅で、凡そ四五寸)に、深さ一寸程の浅い溝を帯狀に細く掘ります。溝底に根置きたいなジンジャの根を横にして置き、丁寧に土をかけ、軽く壓へておきます。根は、あまり小さく分けな方がよろしい。隣りの根と根との間隔は、根の大きさに一概に申せませんが、二、三寸もあ

けたら澤山です。尙、植付けた根の傍に一握りほどの鶏糞（一ヶ月ほど雨に當てたものが安  
全で、新しいと醗酵して根を腐らせることがあります）をふりまいておくのは大變効果があり  
ます。

新芽が三、四寸ほど伸びるのを待つて、初めて薄い油粕の腐汁か水を加へた汲置きの小便を  
與へます。その後も灌水代りに、屢々このやうな水肥（水状になつてゐる肥料）を施しますと  
生育は日増しによくなります。併し過量は禁物で、殊に降雨で土面の濕つてゐる時などは避け  
ます。草も相當生えますから、小さい中に刈取つて下さい。

新しく植込んだり、植掘げのために植替へた年には、概して花立ちが悪いものです。二、三  
年すると本格的に花をつけますから、あまり植替へず植つ放しにしておく方がよろしい。

それには、晩秋の頃、薄霜に二、三回當て、莖や葉が枯れかけましたら、莖を僅か残して切  
拂ひます。切残した莖を中心にして一尺幅、即ち一尺ほどの幅に三、四寸ほど土を盛ります。  
霜柱のひどい所では、固く壓付けて、その上一パイにコモか俵を、風に飛ばされぬやうにのせ  
ておきますと、安全に冬が越せます。

翌春三月の末頃になつて、コモを去り、日を追ふて少しづつ盛つた土をのけ、元通りにしま  
す。二年目からは、芽の出かゝる頃から既に、薄い水肥をやつてゆくと好果的です。最初の年

に咲かなかつた株でも、二年目には大抵咲くものです。

根が一パイに詰まつて來なければ三年が四年、掘上げる必要は一向  
ありません。その代りに早春、株の脇に浅い溝をつけ、腐りワラや鶏  
糞、灰などを施しておくべきです。

### たますだれ

草丈は一尺そこ〜、葉は葦草の如く、元も先も殆ど同じ太さで、  
丁度丸箸を立てたやうな葉を澤山に地際から出します。根はラツキヨ  
ウによく似てゐます。

夏頃、葉と同じやうな軸を伸して、その先にサフランの花にそつく  
りな花を一つつけます。日中はパツと開き、日没と共に筆の穂状に閉  
ぢ、二、三日で萎みますが、後から後からと咲き續けます。花色は大  
抵白であります。

年中青い葉をつけ、霜にも寒さにも可成り強く、東京附近でも冬越

たますだれ



は全然要りません。宿根草の如く植つ放していいのです。故に、花壇の縁取り、小路の兩脇へ帶狀に植付けるに絶好のものです。

冬中を除けば、何時植付けても構ひませんが、春三月から五月頃に植付けると一番安全で、その年の夏から花が見られます。

至つて丈夫で、一日五、六時間も日の當る場所、じく／＼しない程度でしたら、大抵の場所に出来ます。

植込み方は、目的の場所に幅狭く浅い溝を掘り、底にゴミ土、庭に積んで腐らせた俵やコモ類、落葉などに油粕、灰を入れ、土とよく混ぜます。球根が澤山にある場合には、なるべく塊まつてゐるまゝ、くつゝけて植付ければ見栄えがします。併し少ない場合には、球根を五つ六つを一塊りにして四、五寸間隔に植付けるか、一球づつ取り離して、二、三寸間隔にして中央へ一列或は三寸幅の二列で千鳥に植ゑるのも一法です。尚、球までは、三寸位が適當です。

植付け後は、特別これといった手入れもなく、草取りと、特に乾く以外は水をやる必要もありません。花の咲くまでと花後秋までに二、三回づつ、汲置きのおしりや油粕の腐汁、どぶ泥を根元にやればよく育ちます。

二、三年は、植つ放して差支へなく、一パイに込んで來ましたら春に植換げます。

### モントブレチャ

姫唐しやうぶの和名がある通り、葉も姿も花も、丁度グラチオラスを小さくしたやうなもので、丈は一尺五寸乃至二尺位になります。グラチオラスのやうに下から順々に咲きますので相當に長い間、眺められます。花色は赤樺色が主であります。

花壇に植ゑて眺めるもよし、丁度お盆前後に咲きますので、佛燵花としての切花にも好適です。また鉢作りも面白いてせう。

球根草花の中で最も強く、殆ど植ゑつ放して育ち、東京附近でも冬期、何等保護の要はありません。

〔花壇作り〕 球根を植付ける時期は、四月中、下旬が最適ですが、六月初め頃までなら結構間に合ひます。

大抵の處で作れ、少し位日當りや水引きが悪くともよく育ちます。で、五寸深さに掘り、底に腐りワラ、落葉、油粕、灰などを入れ、少し密に球根をおいて土をかけます。球根まで、一、二寸の厚さがあれば結構であります。

芽の出た頃から花の咲く頃までに四、五回、油粕に魚屑の腐汁でもやりませう。一度植込みましたら、四、五年はそのまゝにしておく方がよく出来ます。故に秋末、葉が枯れましたら元から刈取り、株の上へ一面に、朝顔や菊に使つた古土のやうな軽い、フカ／＼した土を一、二寸厚さにのせれば十分に多越しができます。霜柱の甚しい所では、その上にワラを薄く敷きます。

〔鉢作り〕 鉢で作る時には、一尺位の大鉢に、十五、六球から二十球ほど、半分ほど土を入れて上に並べ、少し固めに土をかけておきます。

手入としては、水と肥料をやる位で、別にこれといふほどのこともありません。

カラーの地作り



カ  
ラ  
ー

カラーは、里芋やこんにやくに似た白い奇花を六、九月につけます。ちよつとお線香臭い感じのする花で、一般の活花にはあまり歓迎されません。併しじめ／＼した所とか泥の中でよく育ちますので、こんな場所を塞ぐには蓋し好適な球根草花でせう。

また日陰でもよく育ちます（花はあまりつきませんが…）ので、手洗鉢の水落ち邊りに植ゑたりするにもよろしい。

〔庭作り〕 四、五月の頃、芽を上にして植込みます。ちよつと上下の判り難いものです。分らぬ時には、横に寝かせて植込みます。尙、一ヶ所に一球づつ、バラ／＼に植ゑないで、少しかためて植ゑると見事であります。

普通の庭では一、二寸土をかけますが、ドブの中などに植ゑる場合は、土面とスレ／＼になる位が適當です。

カラーは、水が切れますと葉が傷みますから注意を要します。乾く時には、根元に刈草などおくと効果があります。月に一、二回、發育中は液置き（小便や油粕の腐汁を與へますが、ド

フ作りのものには水を切つて施し、一日して再び水を漲ります。  
 花が済みましたら元から切棄て、葉が枯れると同時に刈取つて、その上へ二、三寸厚味に土をかけておくと、平氣で冬越しが出来ます。ドブ作りのものは、冬中、少し深目に水を漲つておきますと安全であります。  
 あまり植かへの必要はありませんが、ごちやくに込んで来ましたら、早春に掘起して、なるべく大株のまゝで、植擴げてやりますと結構です。

月下香

月下香（チウベローズ）は、其字の如く、夕べに開きて朝早く閉ずる、所謂夜咲の球根草花で、花に素晴らしい芳香があります。球根は水仙によく似てゐますが、葉はまるで別人の如くです。花の少ない初秋の頃ひよろくと莖を伸し、一本に二十輪近くの白い花をつけます。相當花丈が高くなりますので、花壇か庭作りが適當です。生垣や建物などに沿つて作ると、一層見榮えが致します。

〔花壇作り〕 月下香は、植込みました順に花が咲いて参りますから、四月初めから六月頃まで

半月ごと位に、少しづつ球根を植付けるやうにしますと、極めて長い間、花を眺めることが出来て好都合であります。

何處でもよく出来ますが、日當りのいゝ所ほど良好です。生垣などに沿つて細長い溝を掘り底に腐りワラ、ゴミ土、油粕、灰などを少々入れて僅かに土をかけ、四、五寸隔きに一球づつ三、四寸ほどの深さに植込みます。

花の咲くまでに三、四回ほど、株際に浅い溝をつけ、油粕に鶏糞、魚屑を加へて水に腐熟させた上澄液、或は汲置きの小便を與へるとよく育ちます。夏にあまり乾く時には、水をやるか根元にワラか刈草をおきます。

月下香の球根は、一度花をつけますと小さく幾つにも分れ、あと三、四年の間は全く花をつけません。然も東京附近の寒さでは、冬の間、土を盛つたり、霜除をしても、安全に冬越しが出来ませんので、毎年晩秋には掘上げて、よく乾かし、春まで室内に貯へ、二、三年育てねば咲

秋播 草花二百種の作り方

定價三十錢・送料三錢

—(本篇の姉妹篇)—

東京市日本橋區本町三ノ九

博文館發行

きません。

この點が誠に厄介ですから、家庭で少しばかりお作りの際は、毎年、花をつける大きな球根を求めて作られるのが簡便です。

## 百合

百合は、花壇に場所を區切つて作りますよりも、種類を選んで、自然に生え出たやうに作るのが一番興味があると思ひます。芝生や雑草の間から、或は植込みの中から莖を伸して、なよなよと咲く山百合（白地に黄色い筋と赤褐色の斑點があります）もよし、捨石や燈籠の際、古戸井の邊りに咲いた卷丹（百合根といはれてゐる食用百合で、赤黄地に紫黒色の斑點があります）も捨難い風趣があります。

花、そのものゝ出来は芳しくなくとも、趣味にお作りになるならば、斯様な作り方が一番いゝと思ひます。

## 種百二花草

百合の球根は一般に、秋末に植込みますが、早春でも十分に今年から咲かせられます。特に寒い、霜柱の甚しい場所では、この春植がよいでせう。なるべくお彼岸頃に植込みます。そ

## 種百二花草

して、大きい球を選ぶことです。

前述の如き場所を選んで、深さ五、六寸の穴を掘ります。二つ、三つ、塊めて植込みたい場合には、穴を大きくします。底に腐りワラ、馬糞などに、油粕、灰など埋けます。その上に球根をおき、少し土を入れましたら、再び少量の肥料を入れますと、育ち方が違ひます。

雑草は生え次第に取りますが、夏にあまり乾きますと弱ります。普通の畑で作つた時には、水をやるか、根元に刈草でもおきます。

百合には、葉裏や蕾に蚜蟲がよくたかり、ひどくつくとさつぱり伸びぬことがあります。少ない中に薬をかけて、驅除することが肝要です。

寒さには割合に丈夫な方で、鐵砲百合など除いた山百合、卷丹、鹿の子百合、姫百合などは、少し位、霜柱の立つ所でも、植ゑつ放して結構です。却つて三、四年の間は、掘上げぬ方が、如何にも自然に生えたやうな趣がして面白いものであります。

## イリス

イリスは、舶來の「あやめ」のことで、初夏の頃に、あやめに似た花をつけます。このイリ



スの中で一番作りよく、最も一般的に作られてゐるのはジャーマンイリス、和名を獨逸あやめといふ種類です。極めて丈夫で、花壇に植ゑたり庭を飾るに適當なものです。切花にもなりますので重寶であります。

寒さにも割合に強く、簡単な手當で、東京附近でもそのまゝ、植ゑつ放して冬越しができて、然も根がよく張り、花もよく立ちますので好都合です。

イリスは秋十一月頃にも植込みますが、春三月末から四月中旬までの、芽の出る頃でも、その年の開花に間に合ひますので、春植も行はれます。

なるべく日當りを選びますが、夏分、あまり乾く所よりも、多少濕氣てゐる位の方がよく出来ます。單に植ゑておくよりは生垣や竹垣、塀、建物などに沿つて長く植ゑ、觀賞と切花用にすると一番いゝでせう。プール、池、手洗鉢の廻りに配植するのも一工夫です。

球根の上に、二、三寸ほど土のあるやうに植込みます。バラ／＼に離さず、少し密にする方が見榮えがします。球根の下には、腐りワラや馬糞などを埋けると育ち方がよろしい。

芽が出てから秋九月頃まで四、五回、小便などの混つた油粕の腐汁を、株の上へ一面に、十分かけてやると、來年の花立が良好です。花が濟めば、軸は元から切棄て、おきます。

葉が枯れましたら、薄く土をかけておきます。更に薄くても藥をのせておくと上乗です。

## 紫 蘭

五月中、下旬頃、紫紅色の可愛らしい、洋蘭の花に似た小花を、一本の軸に三、四輪つける紫蘭は、一般に宿根草として取扱はれてゐますが、根はコブ／＼してゐて、球根のやうです。球根草花としてもいゝものです。

ごく丈夫なもので、半日ほど日が當ればよし、一日中當る場所なら尙更よく育ち、別段場所の選り好みもしません。何處でもよく出来ます。生垣、板塀、建物に沿つて列状か、少し塊めて植ゑると、花時には随分賑やかです。

植付ける時期は、芽の出かゝつた頃—三月下旬頃が一番よろしいが、眞夏と冬を除けば、花時でも差支へありません。植付ける際に、小さく殊に一本づつなどに分けたいで、なるべく大株のまゝ植付けるやうにしますと見榮えがします。根の上に二、三寸ほど土が、かぶさる程度に植付けます。

尙、根の下には、豫め腐りワラ、腐つた草、油粕、灰など埋けておき、植付けた時にごく薄い油粕の腐汁か汲置き的小便を與へると良好です。

花の咲くまでに一、二回と、花の済んだ直ぐ後、並に秋九月頃一回ほど、根元より三寸ほど離して浅い溝をつけ、油粕の腐汁や魚屑の腐汁など與へますと、花立がよくなります。夏の間、あまり乾くやうでしたら、隔日位に水をたつぷり施します。また刈草など根元におくのも一法です。

秋になつて葉が枯れましたら一、二寸ほど残して刈取り、株の上一面に、二、三寸ほど細かく砕いた土をのせておけばよろしい。東京附近の寒さのきびしい、特に霜柱のひどい場所では、コモを一枚ほどのせておくと、大變好果があります。春日、コモを去り、元通りに土をのけてやります。

三、四年間は、殆ど植ゑつ放して差支へなく、あまり植替へますと花立が悪くなります。ただ一年もしますと雨に打たれて土が流れ、根の出ることがありますから、そんなことのないやうに、土を寄せかけておくことが大切です。

### アガパンサス

アガパンサスは、和名を紫君子蘭と申す通り、花の恰好がちよつと君子蘭に似てゐます。六

七月頃に、指ほどの太さの軸を伸し、その頂きに、十數輪の花を傘状につけます。葉も根も蘭に似てゐますが、球根はありません。自然薯みたいな根を持つてゐるので、球根草花として取扱つてゐる方もありますが、これは宿根草花とすべきが本當だらうと思ひます。

東京附近の寒さでは、冬に葉が枯れてしまひますが、植ゑつ放して、根はよく生きてゐて、春になると新しい葉を出して參ります。霜のない、あつても、薄霜程度の地方では、年中青々と葉を保つてゐます。

花色は主に紫と白ですが、白い方は花が澤山につかぬ傾きがあります。植付たり、植替へた年には極めて花数が少なく、白など全然つかぬことさへあります。本當に多數の花がつくの



は、三年目からです。故にアガパンサスは、一度植付けましたら数年間はそのままで咲かせた方がよろしい。最初から、その心算りで、植える場所を考へ、特に多季朝早くから日の當る、温かい所を選ぶやうにして下さい。

新しく株を植付けるにも、五、六年目に株を分けて植擴げるにも、その時期は、春のお彼岸頃から四月中頃までが適當です。枯れ葉や腐り根だけ切棄て、あまり小さく分けぬやうにします。長い根は、そのまま植付けます。一ヶ所に塊めるもよし、條狀にしても結構で、株の下には腐りワラ、日のたつた馬糞、牛糞などに油粕、鶏糞、灰を少し混ぜたものを入れておきますと非常に育ちが違つて参ります。首のかくれる程度に植付ければ申分ないでせう。

葉數を増して参りましたら、花の咲く迄に三、四回ほど、株際に油粕の腐汁や汲置きの小便などやると申分なく、雑草は出次第に摘取つておきます。蘭のやうな太い根が日毎に、四方へ伸びます。草とりや肥料をやる時に、土を無闇に掘らぬことが肝要です。

夏にあまり乾くと、勢が衰へます。根元一面に刈草、屑藥のやうなものを敷いてやりま

す。水をやるなら、無論、敷く必要はありません。薄霜に當つて葉色があせましたら、根の上一面に、二、三寸厚さに土をかけ、根が寒さでやられぬ準備をしておきます。霜柱の物凄く立つ場所では、ワラを薄くかけておきます。

## 睡蓮

眞に水生植物の王座を占めるものでせう。青々とした浮葉の間から艶麗なその風姿、紅、白、赤の花をぬき出して咲く様は見るからに冷味を覚えます。寒さにも耐へる種類と所謂熱帯睡蓮とありますが、こゝでは一般家庭向な、寒さに強いものについて申上げませう。耐寒性の大輪種には白色のものに、アルバ・プレニツシマ、黄色にマリアンヤ・クラマテラ、ピンクものにミセス・リツチモンド、マサニエロ、紅色のものに、アツトラクシヨン、エスカカーポークル等があります。又ごく小さい姫性のものに硫黄色のピグミヤ・ヘルボラがあります。

家庭的には鉢か樽に植ゑてプールや池に沈めて眺めます。日當よいことは特に大切です。植込みの時期は三月―四月で、三寸―四寸の長い根莖を切つて植付けます。粘土を十分に練つて、鉢底に干鰯、ゴマメ等の様な乾魚を入れ、その上に今練つた土を入れます。分けた睡蓮の根を挿込んでおきます。この際の注意としては、植土が粘土ですから餘り強く植付けると、肥料の吸収が悪く發育を妨げます。又肥料が多過ぎますと、腐れることがあります。又植付けてから一箇月位経てば、時々棒鰯を挿込んでやりますが、一度に多く與へず、少しづつ施します。



鉢植してブールに入れた睡蓮

發芽して葉が水上に出る迄は水の深さを鉢土上五寸位としてよく日光に當てます。その後水を一尺以上とします。斯うして花を眺めますが、花が終れば花梗や葉を根元から除いて、矢張一尺以上水を張つておけば冬でも凍ることはありません。又睡蓮を植ゑた鉢に一ぱい水を張つて、北風のない南向の日溜りにおけば植土まで凍ることはありません。

ほていさう

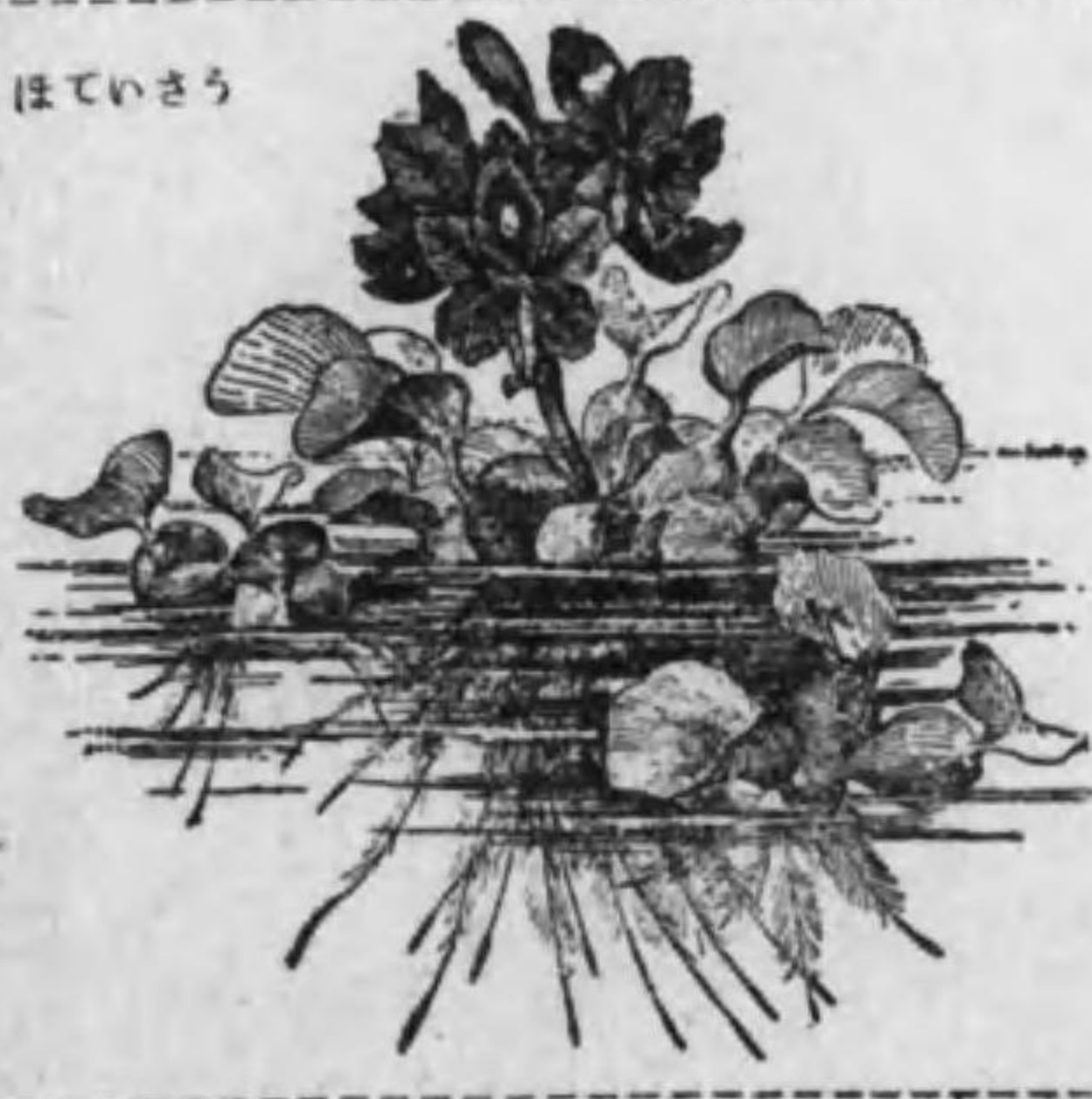
葉の元がぶつくり膨んで、ヒヤシンスに似た花をつけて、水面に浮ぶこの花は、晩春から夏にかけてよく金魚屋で見られる、面白い花です。ごく作り易いものですが、元來この花は浮遊してゐるものではなく、一つ所に止まつてゐるものですから、風や水の流れてこの草の流され

る様な所では花が咲きません。又水の深さは一尺内外の所が適當です。濁つた水に浮せたり、底に土のある鉢に浅水で浮せることは禁物です。斯うすると根は土に伸び込んで莖葉はヒヨロ／＼となつて花が咲きません。理想的なのは澄んだ水で、このものが殆ど動かない様にしておけば、次第に蔓をだし且つその先に小株をつけ、やがて美しいヒヤシンスに似た花が見られます。併し、水面から一尺内外の所に肥えた土のあることは、直接根は張らなくとも、必要なことです。

かきつばた

花菖蒲に比して女性的な清楚な趣のあるこのかきつばたは、早春の花として水邊に咲き亂れる所見事です。又切花とし、生花としても艶なる中にも古典的の美しさのあるものです。水邊の温みを好むもので、土地は肥えて深く、稍々縮つた所が適當です。

専ら株分て殖しますが、植替の時期には、花の前と花



ほていさう

の済んだ後に植ゑる場合とあります。三月頃の植替、即ち花の前に植ゑるのがよいが、若し植替出来なかつた時には六、七月頃即ち花が済んでからします。九月頃でも宜しい。

〔鉢作り〕 徑一尺一尺五寸位の鉢を用ひて五月中旬頃、葉ばかり出る芽を掘取つて六、七芽植付けます。粘氣のある土に一寸位の深さに、圓形に植ゑ、水を一寸内外張つておきます。六月に一回干鉢を一本肥料として挿込みます。八月にもう一回干鉢を與へ、以後は時々油粕の腐汁を與へます。十月から時々二、三日乾燥し、又水をごく少し張つておきます。冬は筵を覆つて寒を防ぎます。二月末頃から、十分日に當て、且つ芽出肥として油粕の腐汁を與へます。

三月下旬となつて芽が五、六寸に伸びて來ますと、葉や蕾を蟲が食べますから注意します。水は浅くし、肥料を十分與へれば、四月末から五月半ばにかけて美しく咲き出します。

ぎばうし

水邊か井戸端、樹陰等によく見られる観葉植物であります。庭園路の縁取とされたり、又數株無雑作に植ゑられてゐますと、何となく奥ゆかしいものです。普通のぎばうしの外葉に美しい縞を持つた、すじぎばうしがあります。日陰によく出來て、夏美しい青紫色の花を長く花

梗を抜き出して咲きます。肥沃なテラ〜日の當る水邊等に特によく育ちます。

株分によつて殖しますが、要領は芽のある根元は太くなつて太い根がついてゐますから、この根と芽をつけて分けます。二、三芽つけるのが良く、無理に小割に分けますと、その年は花が咲かないことがあります。時期は三月〜四月初が良く、肥料は、ゴミ土、油粕、骨粉等を與へます。尙三年目に一度植替すれば十分です。鉢植には、鉢はバケツ大位のものを用ひ、ゴミ土と畑土等量に砂と油粕を少量混ぜて二、三株植込むと一〜二年後には美しい株となります。

けまんさう

澤山に花をつける極めて愛らしい花ですが有毒植物ですから、その點注意して戴きます。日射の強い、乾燥する所はいけません。テラチラ日の當る、土の深い肥えた所が宜しい。實播も出來ますが、種子が伸び出來ず、

けまんさう



又發芽しても容易に花を開く迄に至りませんので、株分によります。株分は三、四年目に一回すれば良く、芍薬の様な形をした根を掘起して二、三芽づゝつけて分け、坪當りゴミ土三升、灰二握りを與へます。株分け春發芽前でも又秋でも宜しい。根づいたらば油粕の腐汁を與へます。

釣鐘草

一、二年草もありますが、大部分は宿根草で紫とか白色の釣鐘状の花を一面につけた様は見事です。この中には三尺位になる草丈の高いもの、僅か數寸に満たない小さなものもあつて、切花として鉢植とし、又庭前の植込用として是非欲しいものです。土地は肥沃で排水のよい陽地に良く咲きます。

〔庭作り〕カンパニユラ・メデューム種は切花向の丈高いもので、春三月彼岸頃播けば、翌年開花します。床播でも箱播でも宜しいが、日當の良い暖い所に播付けます。本葉三枚位の時植替して、五、六寸に伸びた所に庭先に植込みます。肥料は坪當りゴミ土五升、灰五合、油粕一握みを與へます。宿根性のものは三月初頃株分を行ひ、七寸間位に植替ます。根づいたら月一回位油粕の腐汁を與へます。

しやが

花はつまらないものですが、葉は美しい光澤を持つてゐて、美しいものです。冬も青々としてゐますから、庭の石組の捨植としても、又傾斜面に一面に植付けるのも、美しいものです。濕氣の多い所によく出來ますが、餘り乾燥しない所ならばよく育ちます。土は多少粘けのある重い土が宜しい。株分で殖します。時期は三月初頃が、適當です。根づくまで乾燥させない様にすれば、あとは捨て、おいてもよく育ちます。

あきのきりんさう

穂状に長く咲いて、堀際に沿つて、又垣根に沿つて、或は庭先に雜然と植込まれて、黄金の波を漂はす所、一しほ美しいものです。何れにしても非常に丈夫なものですから、大抵の土地に育ちます。餘り肥えてゐますと、繁り過ぎて始末に困る位です。實播でも株分でも良く、何れも春彼岸前後に行ひます。勿論秋でも宜しい。成るべく小株に

分けて植付けます。肥料は毎年春發芽前油粕の腐汁を一、二回與へる程度で十分です。

のしめらん

秋の九月頃紫色の小花を澤山つける、仲々見事な花です。非常に丈夫なものですから、捨て、おいてもよく殖えます。どちらかと云へば乾き過ぎるよりも、多少濕氣のある所が宜しい様です。春彼岸頃に株分します。一株に二、三芽つけて植込みます。冬も霜除の必要なく春、芽の出た時に、油粕の腐汁でも與へれば十分です。

寒菊

寒い冬の候、葉は美しく紅葉し、且つ見事な花をつけるのは、寒菊にしくはありません。寒菊は一般に作られる大菊や中菊と異なるものですから、いくら早く咲かせても十一月末からです。併し寒菊のよさは正月の頃咲く所にありますから、その頃咲かせる様に作ることが肝心です。

十一月頃から苗を育てるのが理想的ですが、春早く古株の元から出てゐる芽を分けて植ても宜しい。フレイムを利用すれば最も良いが、箱又は鉢植で四月一杯培養します。五月初めに一本づゝ鉢に植替して、莖が伸びるにつれて三回位摘芯します。摘芯をする要領は、全體を丸型に作らうとすれば外側の芽の上で摘んで外へ外へと伸ばします。

最後の摘芯は九月末には終る様にしないと、正月に花が見られませんが、寒菊は花ばかりでなく、紅葉を眺めるものですから、窒素肥料を十分與へなければなりません。生育中に餘り肥料を與へますと、と角失敗し易いものですから、なるべく培養土を肥料分タツプリに作ります。培養土はゴミ土三、稍々粘り氣ある土一、川砂一の割合が宜しい。葉色が悪ければ油粕の腐汁を與へますが、十月からはやらない様にします。月宮殿、黄春、村雀、黄金等がいゝ種類です。

立葵

六、七尺から一丈にも伸びて、大花壇の中心植や郊外住宅の塀沿ひに又壁沿ひに、又は垣根沿ひに咲き誇る風姿は、この立葵ならでは見られない姿です。一重も八重も四季咲もあります。播いてから大體二年目で花が見られます。普通は春彼岸頃播くのが宜しい。種子は非常に生

え易く、捨て、おいても、飛散つた種子から翌年生える位です。八重には種子の殆ど出来ないものもあります。半八重は種子が澤山出来ます。これを播いても相當に入重が出ます。乾燥しない、強風の當らない、土目の深い所が適當です。これによく似た薄紅立葵は花も少く且つ小さくて、ずつと見劣りするが、根が薬用又糊用となるので作られてゐます。

桔梗

根が薬用となり、又これは秋の七草の一つであることは、ご存じと思ひます。庭先に雑然と植込んだ所、この花は何となく野趣があつて良いものです。花期も長く、作り易く、家庭向な花です。ゴミ土に富んだ稍々粘氣のある締つた土地が宜しい。勿論日陰でも出来ますが、日向を好むものです。

實播でも、株分ても宜しい。實播したものは二年目から開花し、澤山の花をつけるには、三年かゝります。三月彼岸前後に床を作つて播けばよく生えます。手取り早いのは株分けて時期は三月末、四月初が最適で一株に二芽位つけて五、六寸から一尺間に植付けます。ゴミ土、油粕、骨粉、灰等を混ぜて與へます。冬は根元に土を寄せ、株の上にはゴミ又は枯草等を

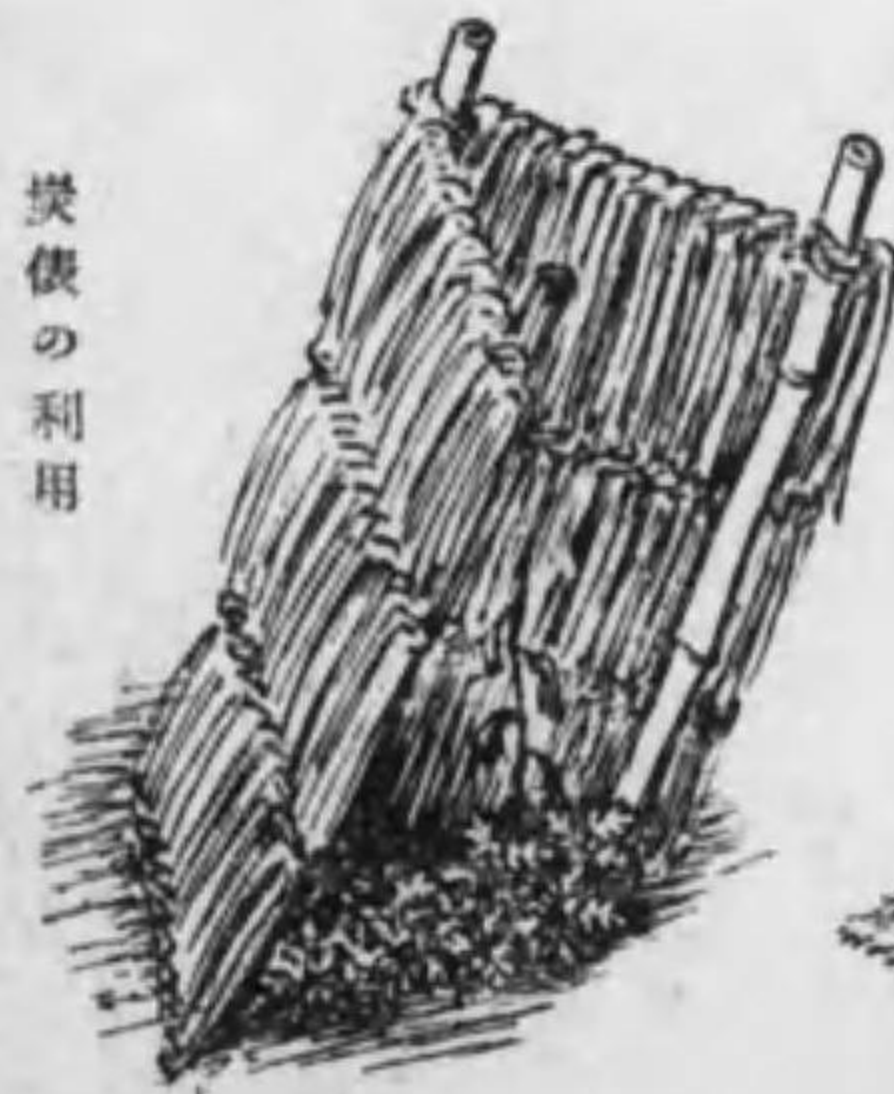
二、三寸に覆つて防寒します。發芽前に油粕を腐汁を與へれば、六月頃から咲きます。普通は一重の青紫色のもですが、改良種はレヴィガタスの様な白、濃紫のゲンチアノイデス、赤色のハードウエギ等色々あります。

櫻草

普通に温室かフレームで作られる櫻草及び所謂日本櫻草は別に申上げることとして、こゝでは露地で作れる櫻草について述べませう。これには次の様なものがあります。

九輪草 輪形に何段にも花をつけますので、この名があります。普通は赤ですが、白もあります。肥沃なゴミ土の多い多少濕氣のある

宿根草の冬越法



炭俵の利用

落葉の利用



土の利用



半日陰の所が適當で、春芽の動き始める前に株分して植替ます。池邊に植込むと風流です。  
 プリムラ・ポリアンサ 赤、紫、青、桃色等花色も豊富で、前者と異つて、春播して二年目に花が見られます。又株分でも宜しい。尙前同様日陰が適當です。  
 プリムラ・ブルガリス 前種に似てます。徑七、八分の大花です。黄花が宜しい。  
 プリムラ・オフィスナリス 花が前種と異つて下向に咲きます。花は黄か黄褐色です。

宿根 アネモネ

しうめい菊はこの種の代表的なもので、その他みすみ草、いちりん草、にりん草等の様な山草野草が多いものです。しうめい菊は、庭の石組等の間に捨植するも、又切花としても宜しい。みすみ草等は草丈四寸位のごく小さなもので、庭の捨植又は小鉢で眺めるのに好適です。白か淡紫紅色の可愛らしい花です。いちりん草やにりん草も飛石等の間に點々植付けるのも面白く、又小鉢で眺めるのも良いものです。  
 土は何れもゴミ土の多い肥えた軽い土がよく、日光の直射する乾燥地よりも、日陰で多少濕氣のある所を好みます。實播は三月から四月初めが適當で、株分は春三月が宜しい。

飛 燕 草

莖の高さ三、四尺から五、六尺にもなり、その頂上に一尺五、六寸——二尺の長さ一杯花をつけ穂状に咲く非常に美しいものです。日本には餘り見受けられませんが、歐米では致る所の庭先に見られる花ださうです。一重も八重もあり花の色にも、白、青、萼、藤色、ピンク、薄黄などがあつて非常に見事です。

肥えた深い土で水排と、日當りがよければよく育ちます。實播でも、株分けでも、挿芽でもよく出来ます。實播は彼岸頃が適當で、二年目から花が見られます。株分は春三月中頃が良く、挿芽は春新芽が五、六寸伸びた時行ひます。植付ける場所には坪當り油粕一掴み、木灰二握りゴミ土三、四升與へ、一尺五寸間位に數本乃至十數本以上群植して戴さます。植替は三、四年に一回で宜しい。冬はこのまゝでもよいが、株上に落葉でも覆つておけば尙更結構です。

鈴 蘭

誰方もご承知のことと思ひますが、白い香の高い花を釣鐘狀に數個乃至十數個つける可憐な花です。日本種は小型で花は葉先よりも上に伸びませんが、獨逸種は大柄で、花も大きく葉の上長くぬき出ます。庭先や鉢に作るばかりでなく、切花にも好適です。

日がチラ／＼射す様な處で、乾燥しない、而も水排のよい、砂の勝つた軽いゴミ土の多い土地が好適です。日本鈴蘭は庭の落葉樹の下等に群植すると仲々野趣味タツプリで面白いものです。株を分けて殖しますが、時期は秋か春の發芽前が適當です。四、五年に一回すれば十分です。肥料はゴミ土、油粕、木灰等を與へます。鉢作りは四、五寸鉢に三、四本程植ゑて、眺めるのが宜しい。膨らんだ花芽のあるものを選んで、植ゑますが、土が餘り肥えてゐると、却ていゝ花が見られません。

霞草

一、二年草と宿根草とありますが、何れも細かく分け分れた枝先に小花を一面につける様は、又派手な花とは變つた趣があります。切花として、又盛花、生花の添へものとして、アスパラガスとは異つた感じのするいゝ花です。元來は白花ですが、改良種にはピンク、薄紫色、八重

咲等もあります。

一年草は秋でも春播でもいゝが、宿根のものは春播に限ります。又株分します。時期は三月中頃から末が適當です。日當と排水の良い土の深い所が良く、一、二年草の方は植替へると傷みますから、豫定の場所に直播して、五寸間位で咲かせます。肥料は播付又は植付ける際に油粕一掴み、ゴミ土馬尻二杯程を一坪に與へて、生育中は一、二回油粕の腐汁を與へる程度が、適當であります。

蔓日々草

宿根草で草丈は、一丈以上にも伸びます。吊鉢から數本乃至十數本長く／＼垂れ下る莖と、美しい斑を持った葉とを眺めるものです。花は白又は紫ですが、花付も悪く、見栄もありません。

至つて丈夫なもので冬でも零下十度位になつても枯れません。土も別に選びませんが、腐葉土、畑土各二、砂一位のものが、莖葉の伸びも、つやも宜しい様です。繁殖は容易で、春早く三月頃株を分けるか、又は挿木でも良くつきます。

鋸草

初夏の切花として、又庭先やお隣りの境に、土塀沿ひに咲きほこる様は、郊外住宅等に相應しいものです。山野に自生してゐるのは白花ですが、作られてゐるものには白、バラ、黄色等あります。所謂西洋鋸草は白、バラ色で、きばなのこぎりさうと云はれるのは、黄花で、本来の鋸草は淡紅色です。水排のいゝ日向地で、多少砂がゝつた肥えた土地ならば、よく育ちます。

丈夫なものですから、株分、挿木、實播何でも殖すことが出来ます。株分は秋でも宜しいが安全なのは春三月彼岸頃です。實播は三月彼岸から四月初にかけて砂勝ちの用土に播いて、小苗の内に豫定の場所に植付けます。又は直播しますと、翌年春から花が見られます。挿木は枝先を三寸位に切つて砂に挿し、フレイム内に入れておきますと、よく發根します。時期九月中が適當です。植替は、二三年目に一度で宜しい。植付の際に一本に當りゴミ土二握り、油粕、灰を少量與へます。冬越は株上に落葉を二、三寸覆つておけば十分です。翌春春芽すれば一、二回油粕の腐汁を與へます。

雛菊



雛菊

鉢植とし、花壇の縁取りの草花として、このひなぎく程可愛らしいものはないでせう。近頃は花徑二寸以上にもなる、マンモスデージーが全盛ですが、極めて作り易く年中次から次へと開花し、寒中에서도花が見られますから、全く詭向の花と云へませう。桃、白、バラ色、濃紅色等でボンボンダリヤの如く萬重の花をつける所本當に可憐です。半日陰のゴミ土の多い肥えた土地に良く育ちます。

實播、株分共に容易です。この株は一年毎に分けて植替ませんと、株が弱つて良い花が咲きません。實播は春三月彼岸頃平鉢か淺箱に播つけます。よく生えますから、本葉二枚位の時に一寸平方に植替へます。根づいたら油粕の腐汁を一、二回與へ、本葉五枚の時三、四寸間に植替して、半日陰で夏を越します。

株分は容易で一株二本位にして春三月初頃植付ます。肥料としては坪當り油粕、木灰等二握り程を與へれば宜しい。鉢植は花が見えてから鉢に上げます。四寸鉢に一株で十分です。ゴミ土、畑土各四、砂一の割合で植込み、根づいたらごく薄い腐汁を一、二回與へます。

なでしこ

澤山種類がありますが、何れも丈夫で切花とし鉢植又は花壇用とし、庭石の間の捨植として好適のものです。作り易く、好き嫌ひのない一般向の花です。主なるものを申し上げますと、ひめなでしこ、からなでしこ、龍田なでしこ、いせなでしこ、美女なでしこ等があります。

丈夫ですからどこでも出来ませんが、砂勝ちの稍締つた土地で、日射と水排のよい所が好適です。實播株分け、挿木、いづれも出来ます。株分けは早春發芽前が最適です。二、三年に一回行へばよく、肥料として、ゴミ土、油粕、木灰等を與へます。

實播は春秋何れでも良く春ならば早春鉢又は箱に播きます。軽い土に播いて乾かない様注意しますと、十五日位で發芽します。一度三、四寸平方に植替して、豫定の場所に植込みます。挿芽も春又は秋の彼岸頃が適當で、要領は芽先を一寸内外切り、下葉を元から五、六枚丁寧に取去り、且つ先端の芽三、四枚以外は半分程葉を切り落してこれを砂に挿します。

ほづき

庭先に雑然と群植されたほづき、又は赤色大型の袋をつけて鉢植された所も、伸々いゝもので、夏等夜店で手を出し度くなる花の一つです。あの外側の袋は萼で、袋の中の丸いのが實です。この實は赤く熟したものを、中の種子や肉を取つて所謂「ほづき」として子供がよく鳴らしてもあそぶものです。元來が丈夫なものですから、どこでも出来ますが、幾分濕氣のある肥えた締つた土で、日射の十分な所に、色づきのよい立派なほづきがとれます。

春彼岸頃株分します。二、三芽づゝ植込めばちきに殖えます。肥料としては坪當りゴミ土三升、油粕と骨粉を少量與へます。冬はそのままでも越しますが、落葉を二、三寸覆つておけば尙結構です。

リナム

宿根のものが多いのですが一年草もあります。リナム・オーストリカム等は宿根の代表花で

草丈は二、三尺で相當の大株となつて、美しい淡藤青色の花をつけます。叢生した細い莖に點點この花をつけた様は、仲々美しいものです。又一年草のグランデフロラ種は、大輪ですが花数は少く、頂上に一花しかつけません。

肥沃な日射の十分なことが必要ですが、乾き過ぎる様でもいけません。春彼岸播が最も良く、植替は好みませんから、なるべく直播して戴きます。生育中油粕の腐汁を一、二回與へれば十分です。

辨慶草

これには相當澤山の種類がありますが、作つて見榮があるのは、アルポロチウムと云ふ種類です。普通辨慶草と云つて見受けられるのは、この種のもので、多肉植物の一種であつて、あの光澤のある葉に傘状に咲く花の照は人目をとらへます。最も美しいのは赤花辨慶草であつて、この變種として桃色、白花等があります。半日の所で、多少濕氣のある、肥えた土地に適します。

鉢植としても、切花にも、花壇にも、又庭の石組の捨植にも向く花です。又この葉は腫物の

藥にもなります。株分と挿木何れでもよく殖えます。時期は春が良く、根づいたならば一、二回油粕の腐汁を與へる程度で宜しい。植替は三、四年に一回で十分です。寒には案外弱いから、冬地上部が枯れたならば、藥か枯草、又は落葉等を四、五寸覆つておきます。

トリトマ

細長い葉の叢生した中からブラシユをつき出した様に、花梗を長く出して咲く様は風變りて面白いものです。黄、橙赤、橙黄の花で、數箇月に互つて咲き、これが群植された有様は壯觀です。又姫トリトマと言ふ可愛い切花向なものもあります。丈夫ですが肥沃な暖な日向地が適當です。

株分により殖しますが、時期は三月初或は秋でも結構です。一株十數本となつてゐるものを、一株二、三本に分けて植付け



トリトマ

ます。一尺五寸間程に一本に對しゴミ土三摺み、灰、油粕を少量與へます。根づいた所で油粕の腐汁を與へれば尙宜しい。四、五年目に一回植替へれば宜しい。

### ヴァーバスカム

花も葉も風姿もチキタリスによく似てゐますが、葉は少し軟い感じがします。淡黄色の花で餘り美しくありませんが、作り易く花壇植とし又庭先に群植し、而もチキタリス等に混植すると面白いものです。改良された品種には、赤色乃至紫色の花をつけるパープル・ムレインと呼ばれる種類があつて、黄花よりもずっと美事です。土は粘り氣が強いと育ちが悪いから、軽いゴミ土や、砂の多い而も地下水の高い幾分濕氣のある、日向の場所が好適です。乾燥には弱い花です。

播種は四月初めが最適で、平床を造り撒播します。極めて生えのよいものですから、これを本葉、三、四枚の時一回植替して、根づいたら油粕の腐汁を肥へてよく育て、本葉七、八枚の時庭先なり、花壇に植出します。株分も春新芽の出る前に行ひます。尙春新芽の出る前に、一回油粕の腐汁を與へます。

### リチニス

晩春から初秋にかけて、石竹に似た五瓣花をつける美しい花で、鉢植とし、切花、又は花壇庭植として好適のものです。せんとう、がんびとと呼ばれるものが、この代表的のものです。粘重な所は生育が悪く、軽いゴミ土と砂に富んだ、而も水排けと日射のよい所に美しく咲きます。實播、根分け、挿芽何でも殖やせます。株分は、秋か春發芽前、古株を掘起して適當に分けてやります。植替は三年目位でよく、油粕、灰

一摺み、ゴミ土三升程を與へ一尺二、三寸間に植付けます。實播は二年目でないとなが見られないが、容易に育てられますから、廣く行はれます。平床に三月彼岸前後播いて、一回植替して、根づいたら油粕の腐汁を一回與へ、夏は乾燥しない様根元に枯草、藁等を敷いておきます。九月にもう一度植替してお



ストゲシヤ

けば翌年から花が見られます。  
挿芽は新芽が二、三寸に伸びた頃砂に挿します。フレーム内又は暖い雨に當らない場所に置けばよく根づきます。鉢で眺める場合には、五寸―六寸鉢に二株植位が宜しい。

### ストケシヤ

花壇、鉢植用とし、切花とし、或は庭石の間に捨植として眺める時、あの濃い緑の葉に矢草に似た藤紫色の花をつけた様は仲々美しいものです。その他薄黄色の花もあります。作り易く、花期も長く、一、二箇月に互つて咲き續けますから、家庭園に相應しいものです。  
株分か實播で殖します。何れも春がよく、實播は三月彼岸前後、株分は芽が出る前に行ひます。實播は二年目から開花します。植替は三、四年目に一回で十分です。元來が丈夫なものですから、どんな所でも育つが、ゴミ土の多い肥沃で膨軟な土で、日射の良い所が宜しい。

### 濱

### 菊

光澤ある葉に、シヤスターデジーに似た白色單瓣の菊花状の花をつけます。庭先、花壇に又庭の石組の捨植として風雅です。日射のよい肥えた所がよく、挿芽、株分何れでも宜しい。  
株分は三月まだ芽が出ない時に掘上げて、適當に缺又は手で引きさいて、一尺―一尺五寸位に植付け、根づいたら油粕の腐汁を一、二回施します。植替は三年に一度でよく丈夫です。すから防寒の必要はありません。挿芽は六月中が良く、新芽を二寸内外に切り、川砂に挿し日蔭に保つておけば、二週間位で發根します。三週間位経てば庭先や花壇に植ゑます。根づけば、腐汁を一、二回を與へれば、十月には咲き出します。

### 紫つゆくさ

根元から多數の莖を出して、細長い葉の葉腋又はその頂に濃紫色の三瓣花を房状につけるこの紫つゆくさは、庭先に又庭石の間に捨植として群植された様は、野趣豊て美しいものです。見るからに水々しいこの花瓣は黄色の雄蕊と調和して本當に綺麗です。  
露地で作られるものにはトラヂスカンチャ・パージニガと云ふ一種だけです。春株分します。植替は四、五年に一回で十分です。日當りよりも半日蔭の方を好みます。

## フロックス

これには、フロックス・ドラモンドと呼ばれる一年草のものと、俗においらん草に云はれる宿根草とあります。何れも庭先や境等の植込むものとして、花壇用草花として愛好されます。おいらん草の様に草丈の高いもの、低いもの、又スプラタの様に地を葡つて伸びるもの、花色や花型も色々あつて、而も作り易い花です。

水排と日當りが良く肥えた所ならばよく出来ます。一年生のものは春播でも又、秋播でも結構ですが、宿根の株分は春三月中頃がよく又スプラタ等は四、五月頃枝先を挿してもよく活着します。實播は、地床が宜しい。容易に發芽しますから、一、二度植替して、豫定の場所に植込みます。

スプラタの如き葡ふ性質のものは、芝の代用として、日當りのよい土手、傾斜面、或は岩間に植込んで一面に生え擴がらせるのもよいものです。但しこの場合四、五年たつと、中心の古莖の所が弱つて枯れて、所々、穴が出来る様になりますから、豫め株分、又は挿芽等適當の方法によつて、苗を育てておいて、植替へる必要があります。毎年春ごく薄い油粕の腐汁を與へます。

冬でも多少花がある位ですから、捨て、おいて宜しい。

## しをん

草丈五、六尺にも伸びて、多数の花梗を分つて花をつけ、庭先に又は塀や垣根際に群植された有様は、極めて野趣に富んでよいものです。丈夫で殆どすて、おいてもよく花をつけます。半日陰の濕氣ある多少粘り氣のある所にいゝ花が咲きます。極端に日當りのよい所や乾燥し過ぎる場所、又は風の當る所は避けて戴きます。株分で殖すのがよく、時期は春ならば三月から四月初頃行ひます。肥料としては坪當りゴミ土三升位、油粕、灰、糠等をごく少量與へます。植替は三、四年に一回で十分で、餘り植替を度々しますと礫に花が付きません。毎年發芽前と前芽後一、二回油粕の腐汁を與へます。

## おしろいばな

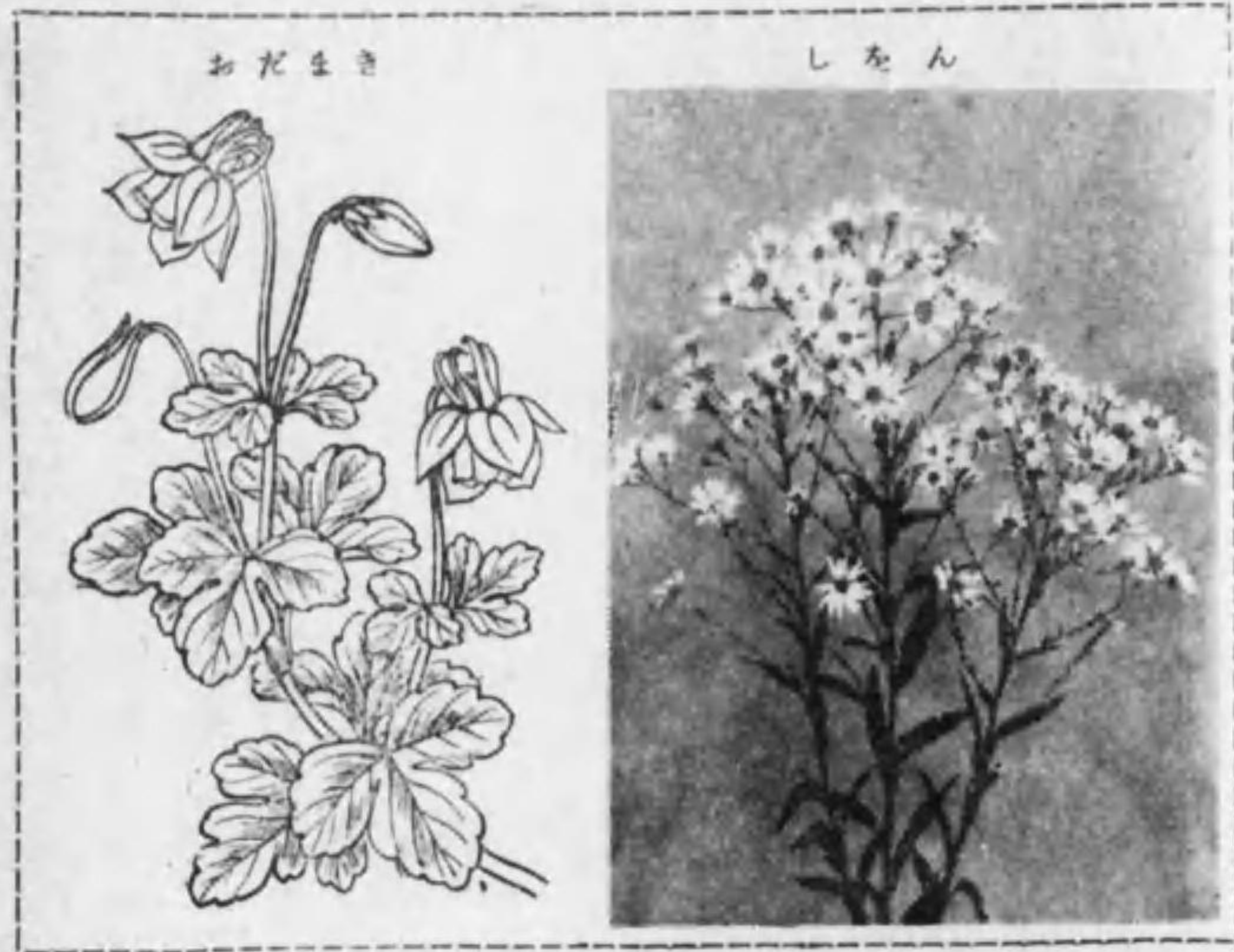
夏の頃一株より二、三尺四方にも廣がつて、咲き誇るおしろいばなを農家の庭先などによく



見受けます。ロート状の紫、紅、白、黄、又はこれ等の絞の花を開きます。種子の中が白粉状であるから、おしろいばなと呼ばれるのです。極めて丈夫なもので捨て、おいても毎年生えます。肥えた濕氣のある日當りが宜しい。この花は面白いことに夕方開いて朝凋みます。春彼岸頃播けば、よく生えます。直播でも床播でも結構です。

とらのを

極めて丈夫な種類で草丈も四、五尺に伸び、その先端に長く虎の尾状に筒形の花を澤山つけるもので、莖は薄荷の様に四角形で珍しいものです。花壇に群植するも、又切花用として境等に植ゑるにも好適のものです。花は元の方から上に向つて、順次開き、紫色、桃色、白色等あります。少々砂混りの腐殖質に富んで肥えた所ならば捨て、おいても困る位殖へるものです。株分も實播も出来ます。時期は彼岸頃が宜しい。無論秋の彼岸頃でも結構です。と角丈夫ですから多少日陰地でも育ちますが、しつかり育たないから倒れ易く又花付も不良です。日向地で風當りの強くない所が好適です。植替は三、四年に一回でよく二、三の芽をつけて植替ます。



おだまき

草姿も花も一種變つた形をしてゐて、一度作れば、忘れることの出来ない程、誰にも愛好される花です。俗に西洋おだまきと呼ばれるものは、おだまきの改良種です。白、紫の外、改良種には、黄、赤、紫、橙、褐色等の單色のもの又、これ等の色の組合せつたもの等あつて、四、五月頃切花、鉢植、庭植、花壇植として、是非欲しい草花です。日射の強い所を避けて、半日陰の排水のよい、ゴミ土、砂に富み、肥えた、而も幾分軽い土地によく出来ます。實播でも株分ても宜しいが、株はあまり殖えませんが、寧ろ實播が

簡單です。三月中頃に地床に砂、ゴミ土を混ぜて、砂勝ちの軽い土として播きます。乾き過ぎない様にすれば、よく生えます。本葉三、四枚の時、一回植替して、根づいたら、油粕の腐汁を與へます。夏の乾燥する時は灌水、或は日覆をしてやりますと、九月になれば相當の株になります。簡単な霜除て翌年から開花します。

### スターチス

風姿が面白く、水揚げがよく、花期も長いので、最近切花の寵兒として大變もてはやされてゐる花です。咲方にも色々の型があり、花にも青、白、黄等あります。又ラテフォリア種の如き宿根とスウロワイ種の如き一年草もあります。又、ラテフォリア種は、乾花として、何時でも用ひられますから重寶です。

排水のよい、肥えた多少粘氣のある土地が宜しい。床播にするのがよいが、種子はあまり發芽がよくない方ですから、生えが少くとも心配する必要はありません。唯生えるまで特に乾き過ぎない様注意します。本葉三、四枚の時庭先なり、お隣との境ひ等に植込みます。花壇には蕾を多少見ながら植付けます。根が長く下に伸びますから、十分深く耕して、ゴミ土、灰、米糠、油粕等を施します。

尙代表的スターチスの二、三を申上げますと、スターチス・シニユエータと云ふのは、多角形の花莖に多數の小枝を出して、フリージア型の花を澤山つけます。花色は白、ピンク、クリーム、藤色等であります。宿根のラテフォリアは一枝から多數の花枝を出して、それが澤山枝分れして、所謂霞の様に咲きます。白、桃色等あり、花束のバツク等に賞用されます。スウロワイは虎の尾の様な長い穂に、藤色を帯びたピンクの花をつけ仲々見事です。これは性質が稍々弱いので肥沃な深い土地でないと良く出来ません。

### ガーベラ

十數枚の根出葉の間から長い花梗を出してその頂に、平瓣の一片をつける人目を引く花です。切花によし、花壇に、庭に、又は庭石の間に數株捨植する等仲々趣のあるものです。花色は橙のみならず橙、赤色、赤、



色、黄色又稀には白もあり、一重咲も八重咲もあります。一番いゝ土壌はゴミ土、砂土の多い且つ日當りのよい場所、且つ、一株では貧弱ですから、數株以上群植して載きます。實播も株分も出來ます。實播は三月―四月初に箱又は鉢播とします。本葉二枚の時植替して、秋の頃豫定の場所に植ゑます。簡單に霜除しておけば、翌年から開花します。植ゑる時ゴミ土三升、骨粉、灰、油粕少量を一坪に與へます。實播も春三、四月頃行ひます。

リヤトリリス

三、四尺に伸びた頂上にブラツシユ状に赤紫、又は白の花をつけた様は一風趣のあるものです。葉が細長く百合に似、花のぼさくした所が何となくあざみに似てゐますので百合あざみと呼ばれます。庭先に、苑路の一隅に植込んで面白いです。

肥沃な砂勝ちな、水排のよい、日射の十分な所にしつかりとよく咲きます。株分が普通ですが、實播でもよく出來ます。何れも春でも秋でも宜しいが、春三月彼岸前後が一番宜しい。種子は澤山出來、而も容易に生えます。又實播すると、變り花が出来るから樂しみます。斯うして新しい花を造るのも面白いでせう。

コスモス

庭先に咲き亂れるコスモスは、何時見ても愛らしき風情を思はせるものです。誰にも愛でられ、思を寄せられるこの花こそ、誰方の家庭にも是非植ゑて欲しい花です。近頃はいゝ八重も生れ、而も捨ておいて立派に育つ位丈夫な花ですから、これこそ萬人向と云ふべきでせう。

これにはミツド・サマー、ニュー・アーリー・フラワリングの如き早咲種と、ジイアント、レデー・ノツクスの様な晩咲種とあつて、前者は四月初め頃播くと、八月に咲きますから、夏咲種と呼ばれ、後者は秋咲種と云はれ、四月末に播きますと、十月頃咲き出します。何れも丈夫なものですから、どこでも育ちますが、日當りの良い、ゴミ土の多い比較的軟かい土が良く、肥え過ぎた土地は、伸び過ぎて、却ていけません。

〔花壇作り〕整然と花壇に植ゑるよりも、庭先に數株植込むとか、お隣の家との境の垣根に沿つて植ゑる方が、却て何となくコスモスらしい可憐な風情を思はせるものです。花壇植には丈の稍々低い八重咲種がよいが、一重の伸びのよいものでも、幾度も蕊を摘んで側枝を澤山出すと、箒状でがっちりした、コスモスとなります。その方法は三、四寸に丈が

伸びた時花壇に植ゑ出して蕊を摘みますと、澤山の側枝が出ます。これを又五、六寸で摘心します。これを更に二、三回繰返します。そして根元に土寄してやると、どこからでも根を出しますから、がつちりしたコスモスとなつて、結構花が咲きます。

摘心せず捨て、おくと、中心がどん／＼伸びますから、良く見かける様に、倒れては伸び、又伸びると云ふやうな、ヨタ／＼の苗となります。肥えた土地であれば、敢て肥料をやらなくても宜しい。

〔鉢作り〕 俗に千本造りと云ふ作り方で、これは挿芽で仕立てるのです。土は三分玉の赤土に少量の川砂を加へて鉢に中高に入れ、これに一寸五分間位にコスモスの枝先を四、五寸に切つて挿します。鉢は徑一尺以上のものを用ひます。三、四日間は日覆して灌水し、乾燥しない様にしておきますと、よくつきます。蕾が出るまで肥料を與へず、すんぐり丈夫に育てます。花が見えれば油粕の腐汁を與へます。急に莖葉が色づいてやがて澤山の花を見る様になります。

種子は良く結實しますが、八重は雌雄蕊の一部が瓣となつてゐますから、一重よりずつと種子が少ししかとれません。いゝ八重程種子が少なくなり、斯様な場合にはよく八重を見付け次第若枝を二、三寸に切つて砂に挿して、大事に育てれば秋立派に咲きます。

鳳仙花

郊外住宅や農家の廣い日當の良い庭先に草丈が二、三尺にもなり、二尺四方にも擴がつて、一面に花をつけてゐる鳳仙花を、よく見受けれます。この様に肥えた日當りのよい所に良く出來ます。



鳳仙花

花の色も仲々豊富で紅、桃、濃赤、鮭肉紅等その他種子が薬用になると云ふ白花のほうせんくわもあります。一重咲、八重咲又相當の大輪もあります。一度播けば自然に種子が撒つて又翌年生えますから重寶なものです。この位ですから播きさへすれば生えます。併し最も嫌ふのは、濕り勝な陰地です。こんな場所少し長雨でも續くと腐つて了ひます。假令花が開いても莖はひよろ長く花はごく少く、見られたものではありません。

乾き過ぎない、肥えた日向地ならば申分ありません。一度植替して花壇なり庭先に植込みますが、色々な花色を取混ぜて植込むよりも、同じ花色のものを、纏める方が美しいものです。

庭先の境等に一系列に植ゑると仲々美しいものです。一本當りゴミ土二掬ひ程入れて一尺五、六寸—二尺間に植込みます。

尙ほうせんくわは面白い性質があつて、花が紅色であれば、莖も大體朱色で、白花なら、莖は淡緑ですから、莖の色で花色が分りますから、植込の際色分けが出来、好都合です。

千 日 紅

夏の頃赤い坊主状の花を澤山つけてゐる千日紅は、又風變りて面白いものです。千日紅と云はれる様に、花期の非常に長いもので、花の色も紅、バラ、白、絞り等、又最近はおレンヂ色が出来てこれは特に切花に喜ばれてをります。

丈夫なものですから、どこでも出来ますが、餘り乾燥しない稍々肥えた所が好適で



す。庭先か花壇等に數本乃至數十本纏めて植ゑて眺める所に、この花のよさがあります。播時は稍々暖くなつた四月頃が良く、箱播よりも畑に床を造つて直播する方がいゝものです。

元來この種子は綿の様にフンワリしてゐますから、播いて土を覆つただけでは、芽を出し難いから、覆土した上から稍々強く壓へるか、又更に席でも覆つておきます。更に十分灌水します。發芽したならば、二、三寸間に一回植替へ、十分根づいてから油粕の腐汁を一回與へます。

三、四寸に伸びれば、庭先なり花壇に植込みます。

コレオプシス

コスモスに似た花ですが、ずつと派手で、長い花梗を根元から發生して、且つその花梗が枝分して咲く仲々美しい花です。切花にも花壇植にも適しますが、それよりも庭先に雜然と數株植込んだ方が何かしら面白味があります。ドラモンドーの様な一年草と、ランセオラタの様な宿根草とあります。排水の良い日向地で餘り肥えてゐない土地が宜しい。

ドラモンドーの類は秋播でも良いが、宿根のランオラタの方は春播の方が良い様です。株を分けるのも三月初頃が好適です。花壇植でも、庭先に植込んでも宜しい。



小判草

### 小判草

所謂小判草と姫小判草がよく作られます。小判型した花は、風變りて他の花の添物としても、又切花として單獨に用ひても、面白いものです。

育ちますが、幾分濕氣の多い、日射の良い、土の軽い所が、適當です。餘り肥えてゐますと、却て伸び過ぎて、例れる處があります。三月彼岸から四月にかけて播きます。覆土は淺くして上から軽く壓へて、タツブリ灌水しておきます。

庭先に植へても良く、又鉢植にも適しますが、何にしても植替を餘り好みませんから、ごく小さい時に植替するか、又は初めから植込む場所に直播して戴きます。肥料としては一本にゴミ土二握み、木灰を少量施す程度で良く、植へてから餘り生育がよくない様であれば、油粕の腐汁を與へます。間隔は四寸位が適當です。尙この花は乾燥して乾花として、何時でも使へる

から好都合です。

### 百日草

百日草と云ふのは、花期も長く、一つの花も長く咲くからでせう。長く保つ花は三、四十日も咲き續けます。一重も八重もあり、花の色も豊富でありとあらゆる色を持つてゐます。又近頃は仲々大きな花が咲く様になり、花徑五寸に及ぶものもあります。咲き方にも色々あり、最近では、八重咲でダリアのデコラチュエブ咲に似たものをダリア咲と云ひ、八重で舞の端の色が異つてゐるものを、ピコティ咲と云ひ、其の他ボン／＼咲等があります。

花は六月頃から咲き始めて、霜が降るまで咲き續けます。而も作り易く丈夫で捨て、おいても育つ位ですから、佛花用の春播草花として、どんな家庭にも、誰方にも、第一にお奨め出来る花です。

開花初め大百日草



一重の極くつまらないものは中央の芯が飛び出て面白くありませんが、八重咲大輪種は實に見事で、ダリヤやアスターに劣らない位です。今最も多く作られてゐるのはジニヤ・エレガン  
 スと云ふ種類で、莖は高さ三、四尺になります。一重咲でも八重咲でも皆様が百日草と云つて  
 ご覧になつてゐるのは、大概このエレガンスです。その他メキシコジニヤと云ふごく小型のもの  
 や、メテオル、ジヤイアント・スカレット等澤山あります。

莖の高さ一尺以下のドワーフ・フワイアールやボン／＼種を鉢作りとして見るのも面白  
 いてせう。作り方は簡単に、餘りじめ／＼しない、ゴミ土の多い肥えた土で、朝から晩まで十分  
 日の當る所ならば、良く出来きます。丈夫で而もじきに大きくなりますから、箱播よりも畑に苗  
 床を設けて播いた方が宜しい。坪當りにゴミ土小型馬尻一杯、油粕一握みを入れ、平に均し、  
 高さ二寸位に床をつくり、撒播して、同様の土を篩かけます。薬を細かく切つて撒布して、そ  
 の上から靜に灌水してをきます。勿論二寸幅位に條播しても宜しい。尙一重は面白味がないか  
 ら八重を播くに限りませんが、この八重を播いても相當に一重が出ます。

〔畑作り（切花用）〕 播時は三月彼岸頃から四月上旬までの間で、下種後約十日で生えます。  
 本葉二、三枚の時に一回植替して五、六枚になれば目的の場所に植込みます。一尺間位に千  
 鳥に植ゑると宜しい。植ゑる前坪當りゴミ土小型馬尻二、三杯、木灰五合、油粕一握み與へて

土に混ぜておきます。植付けた時、水一升に一つまじりの硫酸アンモニアを溶して葉にかゝらな  
 い様に與へると、よく根づきます。その後は餘り伸びが悪ければ、油粕の腐汁をやりますが、  
 元來の伸びのよいものですから、無暗に與へない様にします。六月中旬になるとそろ／＼開花を  
 初めます。

パ ー ト ニ ヤ

初夏の頃非常に鮮やかな黄色の丁度ポツヒー（けし）によく似た盃状の五瓣花を開く花です。  
 それに青みが、つた緑の葉が薄い白粉を懷いて、黄花に照り榮へて、花壇に群植されてゐる様  
 は、實に見事です。

排水の良い、稍々粘り氣のある日向地が適當です。四月初から播きますが、直根ばかりで  
 側根がごく少いから、植替へますと育ちが悪くなるものですから、豫定の地に直播するのが宜し  
 い。併し花壇植の時は、直播も出来兼ねますから、苗の極く小さい内に小鉢に移して、花壇へ  
 は、この鉢から抜いて植ゑますと、殆ど植傷みする様なことはありません。植付ける際に坪當  
 りゴミ土小型馬尻に二杯、木灰三握み程施します。育ち具合を見て、油粕腐汁を與へます。

### 雁來紅

露地で作れる葉の美しい花卉の内て最たるものでせう。一寸注意して作りさへすれば、紅、白、黄等さまざまの錦を織なす、あの美しい雁來紅を飽くまで眺めることが出来ます。

あの美しい色を見るためには、餘り肥えもせず、瘠せてもゐない終日日の良く當る、而も水排の無い所で作らなくてはなりません。一番安全な播時は、五月に入つてからで、四月以前に播いても地温が低いから生えませんが、又おそく六月には入ってから播いたのでは、生育が悪くて駄目です。植替を嫌ひますから成るべく直播して、厚く生えたところを抜き去る様にすることが適當です。

これには丈の高い種類と低いものがありますが、高性種は少々肥えてゐた方が、色が良く出ますが、草丈の低い種類は、餘り肥えない所で、肥料も少く作つた方が、色がよく出る様です。直播するには坪當りゴミ土馬尻二杯、油粕二握み、灰を三握み程を施して、一尺二、三寸間に數粒づゝ播きます。種子のかくれる程度に覆土して、軽く上から壓へ、切藪を撒布しておきます。生えて、二、三寸の時二本とし、五、六寸に伸びたら一本とします。伸びが悪く

様であれば、一回位油粕の腐汁を與へます。

八月末から蒔の方から少々色づき初めて次第に下の方に及び、十月末頃になりますと、目が覺る様に美しくなります。都合上、植替したい時には鉢植にします。用土は少々肥料分の少ない方がよいから、畑土五、砂、赤土各一、腐葉土一、灰二握りを混せて、これを二寸五分―三寸鉢に取り、四、五粒づゝ播きます。これが五、六寸に伸びた時、靜かに鉢から抜き取つて植ゑれば、植傷もせず、美しいあの葉の色も、立派に出ます。

### 日々草

色澤々々とした莖葉の間に、白や紅の五瓣花をつけた日々草は、暑い夏の頃よりも、澄んだ秋空に似た風情を持つてゐます。開いてから僅か二日で散るところに、日々草の名が生れたものでせう。

少々濕氣のある、日當の良いゴミ土の多い





粘質が、つた所に、よく育ちます。四月中頃播きますと、六月中頃には早いものは開き初めま  
す。畑地で切花とするとしても、條植よりも床植の方が良く、四尺床に三、四寸間に千鳥に植  
ゑるのが適當です。餘り密植すると、細く貧弱となり、廣すぎますと不經濟ばかりでなく、莖  
葉ばかりよく出来て、花付が悪く且つ開花が晩れます。  
花壇植の場合には、播いてから一、二回植替へて、花が見え始めてから、植込んだ方が宜し  
い。勿論、群植しなければ、見栄がありません。肥料は肥えてゐれば強いて、施さない方が宜  
しい。

萬壽菊

作り易くて、長い間花の见られる、而も仲々美しい萬壽菊には、草丈の高いごく大輪花のア  
フリカン・マリゴールドや又丈は稍々低いが澤山に枝分れして、澤山の花をつけるフレンチ・  
マリゴールド等があります。又ごく丈の低いシクナータと云ふ種類もありますが、何れも庭先  
に植込んだり、切花として好適のものです。

日陰でじめじめする様な場所は避けて、水排と日當の良、稍々肥えた土地に立派なのが咲  
きます。近頃は随分いゝ八重咲がありますが、こんないゝ種子は、百日草と同じ様に、全部が  
八重となりません。

春三月彼岸頃播きます。地床で結構で、覆土は稍厚くし、その上から靜かに壓へておきま  
す。十日前後で生えますから、一寸四方に抜き去るか、又は植替します。草丈が五寸位の時、  
豫定の場所に植出しますが、餘り伸び過ぎたり、大きくなり過ぎたものは、植込んだ後の生育  
が餘り良くありません。尙、植出す前、坪當りゴミ土二升、油粕一握み、木灰二合程施してお  
きます。根づいたら、一回油粕腐汁を與へます。元來枝が亂れ易いものですから稍々密植し  
て倒れない様にします。植込んだ時餘り日當りが強ければ、二、三日灌水と日覆をします。  
丈の低い種類は、三寸位に伸びた時蕊を摘み、その後も側枝の蕊を摘み、小枝を十分に出し、  
前者よりも肥料も少くし、株間も稍々狭く七、八寸で十分です。

サルピヤ

夏から秋にかけて咲く、燃ゆる様なサルピヤの花は誰にも愛好されます。花持もいゝし、花  
期も長いので花壇にはなくてはならない花の一つです。宿根のサルピヤもあります。美しいの

は、何と云つても一年性の、スプレンドゥスの類です。多年性のものには、青藍色や白、桃等の變り種もあります。

サルビヤは種子を播いて苗を育てあげる迄が難しいので、あとはよく育ちます。と云ふのは元來が熱帯産なので、生えるには相當高い温度殊に地温が必要で、東京では先づ八十八夜前後、即ち五月の初でないとうまく生えませぬ。フレイムがあれば、四月から播けます。

とに角手入がし易い様に箱播か鉢播とします。ゴミ土三、畑土六、砂一の割合で、二分篩にかけて用ひます。撒播又は一寸間に浅條をつけ、五分間に播きます。覆土はごく浅く二、三分として軽く壓し、靜かにタツブリ灌水して、暖い所に日光に直接あてない様にガラス板を少し透せて乗せ、更に日覆しておきます。この際、暖い所におくことと、タツブリ灌水すること(種子の皮が厚いから水が少いと發芽がおくれるばかりでなく、發芽しないことがあります)で、その後は床面が白くならない程度に灌水して、水を與へ過ぎない様にします。濕り過ぎますと、折角出かゝつた芽を腐らすことがあります。

約二週間で發芽しますから、これを日光に當て、本葉三、四枚の時に五寸間位に床に植替へてやります。床は排水と日當の良い、じめじめもせず、又ひどく乾燥しない所で、肥沃なゴミ土の多い所が宜しい。一坪當り油粕一握り程與へます。植替した二、三日間は葎を覆つて根づき易くします。根づいたら硫酸アンモニヤ、若くは油粕の腐汁の極く薄めたものを一、二回施します。

〔花壇作り〕 數本乃至數十本纏めて植付けられたサルビヤの花壇作りは、最も美しいものです。地床に一度植替したものを植付けますが根が長く、どちらかと云へば植傷みし易いものですから、曇天で餘り風のない日に、苗は深く掘取つて、出来るだけ土をつけて、一尺―一尺二、三寸間に植付けます。植付けたものは蕊を摘んで側芽を伸ばす様にします。肥料としては油粕、米糠等を坪當り二握り、ゴミ土を一株に手で三掬ひ程施します。出来れば二、三日間日覆して、根づき易くします。尙、風當りがはげしいと、花落ちし易いから注意して下さい。

若し前に植えてあつた草花の關係で、植付がおくれて、苗が一尺以上にも伸び過ぎた時には枝を深く摘芯してやるのが大切です。

〔鉢作り〕 鉢植には餘り丈の高いものは不向です。相當に大きくなつてから、鉢に植ゑますとよく育ちませんから、成るべく小さい苗から、鉢で育て、戴きます。鉢土はゴミ土三、畑土五に少量の砂、油粕、灰等を混ぜて、豫めつくつてをいたものを、二分篩にかけて用ひます。本葉二、三枚の時に二寸―三寸鉢に植替へ、根づけば一回油粕腐汁を與へ、蕊を摘んで、更に五寸鉢に植替へて開花させます。

朝顔

近頃盛な巨大輪咲の朝顔の鉢作りもよいものですが、庭先の垣根や樹木に無雑作に絡んだのも面白いものです。こゝではごく作り易い垣根やアーチに絡して作る方法を申し上げます。元來が熱帯産のものですから終日日のよく當る、肥えた、水排のよい、風通しのよい場所が適當です。播時は八十八夜即ち五月二日頃が適當です。要領は種子の膨んだ方を上にして、播くと皮かぶりが出来なくて好都合です。尙播土は、畑土、ゴミ土、田土各三、砂一の割合が宜しい。播き終つたならば十分灌水して、十日前後で發芽します。本葉が出れば、植替して、その後まだ蔓の伸びない内に垣根又はアーチに沿つて植ゑます。

夕顔

朝顔に似た花であることは申すまでもありませんが、夕方咲いて翌朝——日中——になつて閉ぢるので夕顔と云はれるのでせう。純白で花徑六、七寸もあり、芳香を持つてゐる仲々愛すべき花です。垣根に纏せるのも面白いものですが、自然に生えて樹木に絡んで行つたかの様にするのも一層風情があります。

別に土地を選ばず何處にでも出来ます。種子は褐色で小粒のものは生へ難いから、白い色で大粒のものを選り五月初に播きます。種子は硬いから、二日位水につけて蒔きます。本葉五、六枚の時芯を摘むと早く咲きます。

葉牡丹

正月の活花の材料として、又鉢植物として又花壇用の花として嚴冬の頃を賑す、露地で出来る唯一の觀葉植物です。水揚げよく、大きく鮮麗で、長持する萬人向のものです。砂の多い幾分締つた土地で、日當りと風通しがいい所が適當で、種子でも又挿芽でも殖えます。種子は四月初めに床に播き、二、三分覆土して、穀殻か切藁を撒布しておきますと、五、六日で生えます。本葉二、三枚の時五、六寸間に植替します。この時葉肉の厚い、よく斑の入つた縮れ葉で、且つ葉の縁が手に細かく縮れてる様な、苗を選んで植ゑませんと、美しい葉牡丹は得られません。

根づいたら油粕の腐汁を一、二回與へます。四、五週間も経て、お互に葉が接する様になれば一尺二、三寸間に千鳥に他の床に植替します。

〔床作り〕床には坪當りゴミ土馬尻に二杯、油粕一握り、灰二握り程度を與へて、よく混ぜておきます。其の後は成るべく肥料をやらず、若しやるとしても油粕等多すぎない様、而も十月初迄に與へ、以後は絶對にやらない様にしないと、寒くなつてからいゝ色が出ません。

九月になつたら、順次下葉をわいて、伸長を助けます。下葉かきは十月末頃迄行つて常に上部の葉七、八葉だけとして置くことが肝要です。莖は倒れ易くなりますから棒を立てて結へます。十二月に入れば葉はいよく美しくなつて來ますから、そろ／＼切つて眺められます。

〔花壇作り〕締つた小型に作らないと、花壇に植ゑて引立ちませんから、數回植替します。十月末から十一月初に花壇に植出しますが、株の大きさと高さを揃へ、且つ株で床面が見えない様に植込みます。

〔鉢作り〕莖葉が大きいから、鉢も腰高な徑一尺一、一尺五寸位のを用ひます。株は鉢に植付けから倒れたり、棒を立て、結へたりすると美觀を損じますから、三、四回植替して少々丈低くしつかり育てます。

用土は砂一、ゴミ土三、畑土二が適當で一尺鉢ならば大小混ぜて四、五株植込みます。懸崖

作り、又不等邊三角形植即ち一鉢に三株を不等に植込んで宜しい。

はなたばこ

非常にいゝ香がする花で、長いロート形をして、葉の上長くぬき出て咲きます。鉢植とし又庭先や花壇に群植しますと、非常に美事なものです。白の外變種にはピンクや赤色があります。強健なたちです。どこでも出來ますが、稍々肥えた直射日光の十分當る所が適當です。種子は四月末から五月初めに播きますが、床播して、植替へた方が手入が行き届いて宜しい。本葉三枚の時に庭先か境等に植込みます。花壇には蕾を見てから植ゑます。肥料は根づいてから油粕の腐汁を一、二回與へれば十分です。

翠

菊

切花とし、鉢植とし、又花壇用の草花として誰方にも愛される花です。花の色も咲方も豊富にあり、作り易く、而も仲々見事なものです。是非作つて戴きたい草花です。地際から枝を



分つてピラミット型に咲くものや、ボン／＼ア  
スターの如き箒立アスター、ごく丈の低い花壇  
の縁取に好適な三寸アスター、ブランピング・  
アスターと云つて大輪牡丹咲て草丈が高くなる  
ばかりか四方に広がるアスター等非常に數多  
くあります。

又 ごく早咲種は秋播の方が宜しい様ですが、  
七月お盆頃花を見るには、三月中頃播きます。

又中生の種類ですと四月に播きますと、七、八月に咲き、晩咲は五月に播いて、九月に咲きま  
す。晩咲のものは暖くなりますから、床に直播して宜しいが、早春播のものは手入のし易い  
様に、箱か鉢に播くのが適當です。土は畑土五、川砂五、ゴミ土三の割合で播きます。暖い所  
へ播くと十日内外で生えます。尙古種子は生えないことがあるから、新しいものを買ひます。  
本葉が出れば一寸間位に植替し、根づいたらば、油粕腐汁を與へます。本葉二、三枚の時更  
に植替して、本葉五枚位の時庭先なり、宅地の境等に植込みます。一本にゴミ土三握みに油粕  
と灰をごく少量與へます。根づいてから花を見る迄二、三回油粕の腐汁を與へます。

るこうさう

美しい可憐なロート形をした赤い小花と、細い鮮な緑の葉の極めて調和のいい眺を持つこ  
のるこう草は、垣根に塀に窓下に纏はせて非常に面白いものです。朝顔と同様に夜の間に開いて  
十時頃には既に凋んで了ひます。赤花、白花、又カーチナルウライマーと呼ぶ大葉大輪種もあ  
ります。

日當りのよい、砂、ゴミ土の多い軽い土で  
ないとよく育ちません。朝顔と同じ様に暑い  
のは好きですが、寒さには弱いものです。  
ですから四月中頃から五月初頃播いて戴きま  
す。植替は餘り好みませんから直播するか、  
又はごく小苗の時植替へます。垣根作りやア  
ーチ作りをする場合には、少し株を密にして、  
葉と花で全體が覆はれる様にします。且つそ

るこうさうのアーチ作り



鶏頭

のまゝ捨て、おきますと、蔓が亂れますから、綺麗に垣やアーチに纏してやります。

葉鶏頭は葉の色とりどりの美しさを眺めるものですが、鶏頭は穂状に小花をつけて燃えたつ様な姿を愛するものです。庭先に群植されたる姿や、花壇に植込まれた所も良く、又鉢植としても、切花としても見られるものです。日當りと水排がよい所であれば、瘠地でもよく育ちます。種子は温度と濕氣が十分でなければ、發芽しませんから、五月初頃播くのが最も宜しい。小根が少なくて植傷みし易いから、直播がよいが、若し植替へるならば、ごく小苗の内になります。

〔庭作り〕 庭先に植込んで眺め或は切花とするのならば、坪當りゴミ土馬尻一杯に油粕、木灰等を一握み程づつ混ぜて準備しておいて、五、六寸間に數粒づつ播つけます。生えたら、悪い苗ものはぬいて、いゝ苗を二本だけ残します。八月末頃になれば花が見られます。根元三、四寸の所から切れば、又側枝に咲きます。

〔花壇作り〕 丈の低い種類を小苗の時小鉢に植替して、これを花壇に七、八寸間に植込みます。餘り密に植込んだり、肥料をやり過ぎると、伸び過ぎて倒れ易いから、成るべく肥料は少くして、粗く植えます。

松葉牡丹

尙到る所に見られる鶏頭は、鶏冠花型と云つて鶏の肉冠によく似たもので、其の他變つた種類に羽毛狀の穂となる房鶏頭、穂狀の小花を無數につける玉鶏頭と云ふのがあります。

眞夏の頃玄關前、庭の石組の間などに點々と不規則に咲き亂れる様は見事です。作り易く、その名の如く松葉型の葉に、白、黄、ピンク、バラ、紅等の花の色は實に綺麗です。花壇は庭先に規則正しく植ゑるよりは、あちこちと無雜作に咲く方が美しいものです。日當りでも水排けの良い、乾燥地が好適です。

實播でも挿芽でもよく殖えます。實播は四月初頃が最適で、床か箱に播いて植替へても宜しいが、飛び散つた種子から自然に生える位丈夫なものですから、目的の庭先なり、玄關脇に撒播いても立派に生えます。時々油粕の腐汁をやる程度で十分です。挿芽はよく生育してゐる芽先を一寸位に切つて挿せば間違ひなくつきます。種子の出來難い入重咲は斯うして殖やすと宜しい。縁日に出る大部分の松葉牡丹は挿したものです。

草 猩 々

ポインセチヤと同じ仲間のもので、頂端の葉の、或は緋に、或は白く輝く様を眺めるものです。元來が熱帯産のものですから、高温でないと發芽しません。播時は五月頃がよいが、植替へし難いから、成るべく直播にします。花壇植は鉢植とすれば宜しい。少し締つた排水良い土地であればよく生育します。直播は五、六粒づつ播いて、一箇所二、三本残します。

風船かづら

蔓性で花は白い小花です。から殆ど價値はありませんが、花の後に出来る、ほろづき型をした實と葉を見るもので、垣根に匍はせて眺めますと仲々風流です。丈夫なものですから、どこでも出来ます。

風船かづらの垣根作り



種子が少し硬いから、一夜位水に漬けるか又は播いてから時々水をかけますと、大概生えます。肥えた所ならば殆ど肥料はいりません。豈科だから植替は難しいから直播します。垣根に沿つて一尺間位に二、三粒づつ播きます。五月初が播時です。約一週間で生えます。蔓が伸びはじめたならば、時々丁寧に垣に配置して、綺麗にからませます。乾燥を嫌ひますから時々水をやりますと、七月には小さな可愛い實をつけます。

ひまわり

日の動くにつれて花の向が廻ると古くから言傳へられてゐる花ですが、庭先や隣との境等に植ゑて眺めるのも面白いものです。草丈六、七尺に達し花も徑五寸にもなります。改良種は花徑一尺にもなると云はれてゐます。又これには「ひめひまわり」と云ふ小型のものもあります。

よく伸び、よく咲くものですから、肥えた、あまり乾燥せず、日光の充分當る所が適當です。春四月頃播くのが宜しい。よく生えますから初から目的の場所に直播するのが適當です。花壇植ならば、床を作つて苗を仕立て、花が見えてから花壇に植込みます。肥料としては坪當り、油粕一掴み、灰を三掴み程を與へれば宜しい。

## キヤンデータフト

一年性のもの、宿根のもの、又花の色にも白、淡紅等があります。ヒヤシンスの様に圓筒状に咲くものもあれば、傘状に咲くものもあります。又イベリス・オドラタと云ふ種類の様に非常に香のいいものもあります。

水排の悪い日陰地はひよろく伸びて、下葉が落ちていけません。餘り乾燥し過ぎない、日向地ならよく出来ます。春早く咲かせるためには秋播が宜しいが、六月以後花を見るには、春三月末から五月初まで順次播付けます。床播で結構で、土を篩ひかけ上に切葉を撒布してタツプリ灌水してやります。

花壇植又は庭園の通路の縁取りに頃合のものです。又境に植ゑるのも面白いです。何れにせよ、細長く植ゑる時には二三列に植ゑた方が見栄があつて宜しい。肥料は植付の時ゴミ土に少量の油粕を混ぜてやる程度で十分です。

## 三色すみれ

## 種百二花草

鉢物として、又花壇植草花とし又最近では切花として、誰方にも好かれる花です。もとは花が三色であつたために三色すみれ即ちパンジーと云つたのですが、最近では純白とか純黄とか二色物等色々な變り種が出て来たばかりでなく、花型も非常に大きくなりましたので、切花に盛に用ひられる様になりました。

種子を播いてから苗を育てる迄一寸注意すれば、あとは樂に開花して、素人の方でも失敗することのない花です。

東京では秋播も出来ますが、春播の方が失敗がありません。關西方面は暖いから秋播が宜しいが、春播でも多少株が見劣する様ですが、結構立派に咲きます。三月中頃に淺箱に播くのが適當です。三色すみれは發芽し難いから必ず新しい種子を買つて下さい。用土はゴミ土三、砂二、畑土二をよく混合し二分目の篩を通して、用ひます。

餘り厚くならない様撒播して、前記の土を篩ひかけ、軽く壓し、靜に灌水して、少し透せてガラス板を覆ひます。上に布でもかけて、日光の直射を防ぎ暖かいところにおきます。發芽迄に特に注意すべきことは、そろ／＼生え始める頃で、餘り白く乾かない程に、又じめじめ水じみてゐない程度に水を與へることが肝心です。乾き過ぎると芽の出かゝつたものが枯れたり、又濕り過ぎますと、根腐れを起し易いのです。



二週間位経て生えてくれば、占めたものです。併し發芽が餘り良いものでないから大體三割位生えれば、極上です。芽が出たならば、床面が白くなれば灌水する様にし、餘り成育が悪ければ、極く薄い硫酸アンモニアの液を與へますと、急に色づきます。徐々に日にも當てる様になります。

〔鉢作り〕 誰方も五六月頃花屋の店前に一、二輪咲いたパンチーを澤山に見受けることとせう。秋播ですと、花を見るまでの期間が長いから、一、二回植替ますが、春播は伸びがよいから一回植替れば十分です。鉢土はゴミ土と軽い畑土各三、砂一の割合で、最初二寸鉢に上げるか又は床に二、三寸間に植替します。一、二回油粕の腐汁を與へるとぼつ／＼花が出て來ますから、その内から成育の良い、花の大きな花つきの良いのを選んで、三寸五分鉢に植替へて眺める様にします。残りは花壇植、又庭先植として數株以上纏めて植込んで戴きます。

〔花壇作り〕 花壇は十分耕して坪當りゴミ土小型馬尻二杯、油粕軽く二握りを施へてよく混ぜておきます。豫め植込の設計をしておきますが、三色すみれは各種の色の花を混植すると却て美しさをこわしますから、一色ものを群植して戴きます。

植出しは四月中頃が適當で、普通は六寸位に植込みますが、小さいものは四、五寸で宜しい。斯くすると六、七月まで美しく咲き續けます。

## ヴァーベナ

花は一寸櫻草の様な感じのする、非常に美しいもので、美女櫻もこの一種です。一年性のもので、宿根性のもので等々ありますが、日本では大體一年草です。ごく暖い地方では注意すれば宿根草となります。花の色は豊富で紅、白、桃、紫、薄黄等色々あり、改良種には大輪で切花にもなるマンモス・バーベナ、や花壇に適當なモス・バーベナ、又はレモン・バーベナの様に非常に良い香のものもあります。見頃は五、六月頃ですが、初秋まで見ることが出來ます。苗がうまく育ちさへすれば、あとは捨て、おいても、よく伸びます。ですから、種子は畑や床に播くよりも、寧ろ箱か鉢に播いた方が宜しい。

播く時期は三月初から中頃が適當で、播土は人によつて色々ですが、一例を申し上げますと二分目の篩を通したゴミ土三、及び畑土二、砂一の割合が適當です。種子は撒播で、同様の土を篩ひかけます。覆土は一分位で餘り厚くならない様にし、上から軽く壓へて靜かに灌水し、ガラス板を少し透して覆ひ、その上に直接日に當てない様に、うすい蕪を切つて覆つて、縁先の様な暖い所に置きます。

大粒の種子とこまかい種子の播き方



大粒の種子は、九月の初めに油粕腐汁を一、二回與へますと、再び美しく開花を續け、十月まで花が見られます。尙、花壇植には色々な花色を取混ぜて用ひた方が美しいものです。他の花と混ぜて色々模様取りするには、餘り色の派手でない、くわつこうあざみ、つくばねあさがほ等を用ひるとよく調和します。

〔鉢作り〕一寸花が櫻草に似て、もつと花が大きく派手なために、鉢植とするのも仲々良いものです。用土はゴミ土二、畑土三、砂一、油粕、灰少量を混ぜ、一鉢に一株乃至、三株位植込みます。鉢は五寸鉢以上の大きさが宜しい。鉢は普通の素焼鉢でも宜しいが、浅い播鉢型のものなら尙宜しい。何れにしても鉢の色は餘り派手なものでなく、又黒の様な餘り溢過ぎるものでもいけません。薄い赤土色の様な花の色によく似かよつた而も薄色のものが宜しい。

鉢植後の手入は別に變つたことはありませんが、畑や花壇よりも乾燥し易く、又肥料も少ないと不足になり勝てずから、生育が悪い様なら灌水を兼ねて腐汁を與へます。

咲き出せば室内に入れて眺めますが、時々は戸外に出してやります。

乾き過ぎてはいけませんから、土が白くなりかけたら灌水する様にします。斯くすると約二週間足らずで發芽しますから、日光に當て、伸びの具合を見てごく薄い油粕の腐汁を一、二回やります。

〔花壇作り〕本葉三、四枚の時庭先なり、花壇に植出しますが、土ははじめじめしない、又乾燥しても地割が出来ない様な所で、而も肥えたゴミ土に富んだ、日當の良い所が適當です。植ゑる所は良く耕して、一株についてゴミ土二握み、灰を少量、油粕ごく少量を與へてその上、肥料と直接しない様に植付けます。間隔は五、六寸間で宜しい。三、四寸に伸びたところで莖を摘み、薄い油粕の腐汁を與へますと、勢の良い側枝が出て來ます。六月末から開花し、七月頃一株から數本乃至十本位も花莖を出し、美しく咲きます。夏及び秋の花壇にはなくてはならない花の一つです。

夏は花が衰へますから、秋にいゝ花を咲かすためには、九月の初めに油粕腐汁を一、二回與へますと、再び美しく開花を續け、十月まで花が見られます。尙、花壇植には色々な花色を取混ぜて用ひた方が美しいものです。他の花と混ぜて色々模様取りするには、餘り色の派手でない、くわつこうあざみ、つくばねあさがほ等を用ひるとよく調和します。

〔鉢作り〕一寸花が櫻草に似て、もつと花が大きく派手なために、鉢植とするのも仲々良いも

ルビナス

藤の花と同じ様な花付で、而も上向に開きます。ですから和名を昇り藤と呼んでゐます。藤色ばかりでなく、白、黄、桃、赤、藍等色々あります。一度植付けておけば、年々芽を出して開花する宿根のものや、又一年性のものもあります。花壇にも鉢植にも、又切花としても好適の花です。

軽ろい瘠地でもよいが、ゴミ土に富んだ、日當の良い、土の深い所程、いゝものが出来ます。暖地でも春早く播けば立派に花が見られます。少し寒い地方は、春三月中頃播くのが安全です。四月末に播くと九月、十日頃咲きます。秋播いたものは初夏から夏咲くので、秋見るには春播に限ります。

種百二花草

ルビナス・ポリフライスの様な宿根のものは、春二、三月頃株分しても宜しいが、移植を嫌ひますから、寧ろ種子を直播する方が適當です。坪當りゴミ土小型馬尻二杯、油粕二握り、灰五合程を與へて播付けます。ポリフライスは一尺五寸間位に、アーボリスは二尺―二尺五寸間位に、一箇所三、四粒づゝ播いて、生え揃つてから、悪いのを引ぬいて一本か二本にします。

種百二花草

宿根のものは、四五年はそのまゝ捨ておいても、開花しますから、冬は株の上に、落葉か藁を二、三寸盛つて、寒さを防ぎます。春芽が出たら、油粕の腐汁を一、二回與へれば立派に開花します。一度植ゑた所は二、三年休む様にしないといゝ花が咲きません。

黒種草

南歐原種の一風變つた花で、花壇植にも、鉢植用としてもいゝものです。元來花の色は白、青、ですが、改良されたものには花も大きく色もずつと、落着ある淡青色、深青色、純白等があります。

春でも又秋播でも結構です。移植を嫌ひますから、直播にするか、若し植替へるならば、極く小さい時に十分土を着けて植付ける様にして、戴きます。事更に用土をつくつて播く必要もありませんが、土が餘り固く締る所は成育が悪るいから、ゴミ土の多い、軽い、而も水排の良、通風、日當の良好な所を選びます。且つ表土が餘り固らない様に切藁を撒布してやりま

す。又は表土を一、二回かき柔げてやると生育が宜しい。肥料としては、ゴミ土に油粕、灰少量を與へます。鉢植の場合にはゴミ土二、畑土二、砂一

の割合で、植ゑ、其の後は、二、三回 油粕の腐汁を、補ふ程度で、十分です。

貝 細 工

貝殻状の美しいつやのある初めからかさくした花です。そのまゝ切花として用られるばかりでなく、乾燥して乾花として、何時でも用られます。

水排が良くて、日射の良ことが大切です。ごく暖地は秋播の方が宜しい様ですが、東京以北は春播が安全です。四月頃播けば七月には花が見られます。

よく耕して平床を作り、坪當り灰三掴み、油粕一掴み、ゴミ土馬尻に、二杯程を混ぜて播つけます。莖葉の割に花が重いから、少し風でも吹けば、目茶苦茶に倒れて了ひますから、一本づゝ棒を立てるか、又は両側に棒を立てて、繩が細い綱を張つて、倒れない様にします。

ロ ベ リ ヤ

草丈の低い可憐なたちのものと、三、四尺にも伸びるもの等ありますが、一年草のスペインオ

サの様に一株でこんもり盛上つて、小花を一杯につける所に、この花らしい愛らしさがあるのではないかと思ひます。

花色も豊富で、白、藍、赤等色々あり、草丈の高くなるロベリア・カーチナリス等は稲穂の様に花が付きまゝです。そして色は鮮紅色の美しいものです。至つて丈夫で放任しておいてもよく育ちますが、濕氣の稍々多い、ゴミ土に富んだ少し粘り氣のある土で、而も日の餘りかんく當らない所が宜しい。水邊など好適です。

實播で殖やすことが出来ます。實生は秋でも出来ますが、春の方が宜しい。宿根種の株分も春早くやる方が結果が良い様です。苗に育て上るまでが大切ですから、三月中頃播箱に、ゴミ土、畑土各二、砂一の割合の土に、丁寧に播きます。ごく少し土を篩ひかけます。又は靜に播いた上から、壓して、灌水しておきます。

發芽は割合よく、本葉が二、三枚出たら七、八分間に植替へて、本葉五、六枚の時、もう一度植替へて、且つ蕊を摘んで、側芽を伸して、こんもり作る様にします。その後二、三回蕊を摘んでやりますと立派になります。根づいたならば、油粕の腐汁を一、二回與へます。五月になると蕾が出て來ますから、一尺間位に花壇なり、庭先に植出します。肥料はゴミ土と少量の灰、油粕を加へる程度で宜しい。

矢車草

ナチス獨逸の國華として誰方にも親しみし深い花です。宿根もありますが、美しいのは一年草で、この内最も美しいのはスニートサンタル、ヂヤイアント・スニート・サンタルであります。而も非常に高い芳香を持つてゐます。空色の花が普通ですが、白、赤、ピンク又は黄色や覆輪花もあります。

肥えた濕つた土で、日當りの良い、餘り乾燥しない所が適當です。植替してもよいが、直播が適します。暖地は秋播がよいが、春三月初に播ければ、立派に咲きます。寒地は春播がよい。生育のよいものですから、日當りの良い空地等に一、二株こぼれ種子が生えますと、一株で一尺四方にも擴がります。

コリンシヤ

一寸金魚草に似た白花を輪狀に段々につけます。一本一本の美しさは餘りありませんが、群



植すると美しいものです。北米、メキシコ方面の産て一般に作られてゐる品種はコリンシヤ、ピカラーです。春先この花を見るためには秋播しなければなりません。その後見る爲には春彼岸頃から四月に播きます。丈夫なものですから、よく生えます。平床を作つてゴミ土、砂、及び油粕を少量混ぜて播きますが、直播でも宜しい。日のよく當る排水の良い而も餘り乾燥しない、軽い土によく育ちます。一度植替して庭先に植込むか、花壇ならば蕾を見てからにします。植付ける際、坪當りゴミ土三升、油粕一握み、灰二握み程與へます。その後一、二回油粕の腐汁でも與へれば、長く花が見られます。

松蟲草

コリンシヤ  
すつと伸び立つ枝先にボンボンダリヤの様  
な、花をつける、松蟲草も仲々美しいもの  
です。芳香に富み、花色も豊富で、野生の  
様な青紫色ばかりでなく、白、薄黄、赤色

などあり、花も大きく、作り易く、一般向きの花です。日當りのいい水の良く掛ける、ゴミ土の多い、軽い土がよく出来ます。

秋播でもいいが、春三月初頃播くのが適當です。直播でも苗床に播いて植替しても結構です。種子が軽く土と密着し難いから、覆土した上から稍々強く土を壓して、タツブリ灌水し、乾燥しない様にしておきます。本葉二、三枚の等坪當りゴミ土三升、灰と油粕一掴み程混ぜた床に四寸間位に植替へし、六、七寸程伸びた所で豫定の場所の植出します。尙宿根性のものは二年目から花が見られます。

### つくばね朝顔

これはデニヤと同様に、百日草と云はれる位に、花期の非常に長いものです。五月から夏にかけての花壇用草花とし、又鉢物として、この上ないいいものです。元來は南米産で、赤の一重であつたのですが、今では改良が進んで、花径も四寸、五寸に達し、花色も白、濃赤、斑入絞り等、又一重の外八重も出てゐます。又草丈の高くなるもの、ごく低く花壇の縁取りに適當なもの等色々あります。

秋播でも宜しいが、春ならば三月初に播きます。播いてから生える迄が大切で、ごく細かい種子ですから浅箱又は鉢に播きます。畑土五、ゴミ土四、砂一の土を二分節にかけ、播付けます。覆土せず上から稍々強く壓し、鉢底から灌水し、半陰の所に、稍々乾き加減に保ちます。本葉二、三枚の時同様の土で鉢か箱に一寸間に植込み、本葉四、五枚になれば、地床に四、五寸間に植替します。坪當り、ゴミ土三升、油粕一掴み、灰三掴み、米糠二掴み程與へます。根づけば油粕の腐汁を一、二回與へます。蕾が出てから、鉢、花壇に植込みます。鉢土は播土より畑土を少し多くします。肥沃を好みますから、鉢植でも花壇植でも一月に二回位腐汁を與へますと、よく咲きます。

### 金魚草

花が變つてゐて美しく、且つ花持もよく花期も長く、作り易い家庭向な花です。花壇植とし、庭作りとし又鉢植にもなる、切花にも向く花です。元來は宿根のものですが、二



年目になると花付が落ちるばかりでなく、種子から容易に育てることが出来ますから、一年草として、種子を播くのが普通です。眞紅、黄、橙、純白、レモン色等、色々あります。日當りと水排よく、肥えた所が適當です。秋又は春早く三月初に箱か鉢に播きます。種子が細かいものですから、田土一、畑土五、ゴミ土三、砂一の土を、二分篩を通して播付け、覆土せず、土をよく壓へて、鉢底より灌水して、暖い所におきます。本葉三、四枚の時坪當りゴミ土三升、油粕一握り灰五合程與へて、五、六寸間に庭先又は境等に植ゑます。

金蓮花

草姿と云ひ、花と云ひ一風變つた趣のある花で、葉と花の照り榮へる様は一寸毒々しい様ですが、花壇植とし、垣根の花とし、バスケット用として夏の草花として缺くことの出来ないものです。花壇用としては草丈の低いキング・ゼ・オドラ、ビユター等が適當です。懸崖用とし、又垣根等に葡せるものには、蔓性のミツド・ナイト、トウイライト等が最適です。秋播いたものは、春から夏に、春播は夏から秋に咲きます。植替は好まないから、初めから目的の場所に七、八寸間に五、六粒づつ、播付けます。花壇用の場合には、鉢で仕立てます。

むぎわら菊

貝細工や姫貝細工とよく似てをりますが、これよりも大柄で、一重も八重もあり、花の色も白色から緋紅色まであります。乾花として何時でも用られるのがこの花の強味です。花は六月から八月頃開きます。仲々風情のあるものです。花壇植としても、境等に植ゑるのも面白いものです。

暖地を除いては、四月末から五月頃播くのが適當で、直播でも箱播でも結構です。直播ならば十分耕して坪當りゴミ土馬尻二杯、油粕一握り、灰を二握り程與へ、箱播ならばゴミ土と畑土を半々にして播きます。日當りと水排良い比較的肥えた所が適當です。箱播は一度植替して、庭先なり鉢に植付けるのが宜しい。花壇植はずんぐりした苗を用ひます。

木犀草

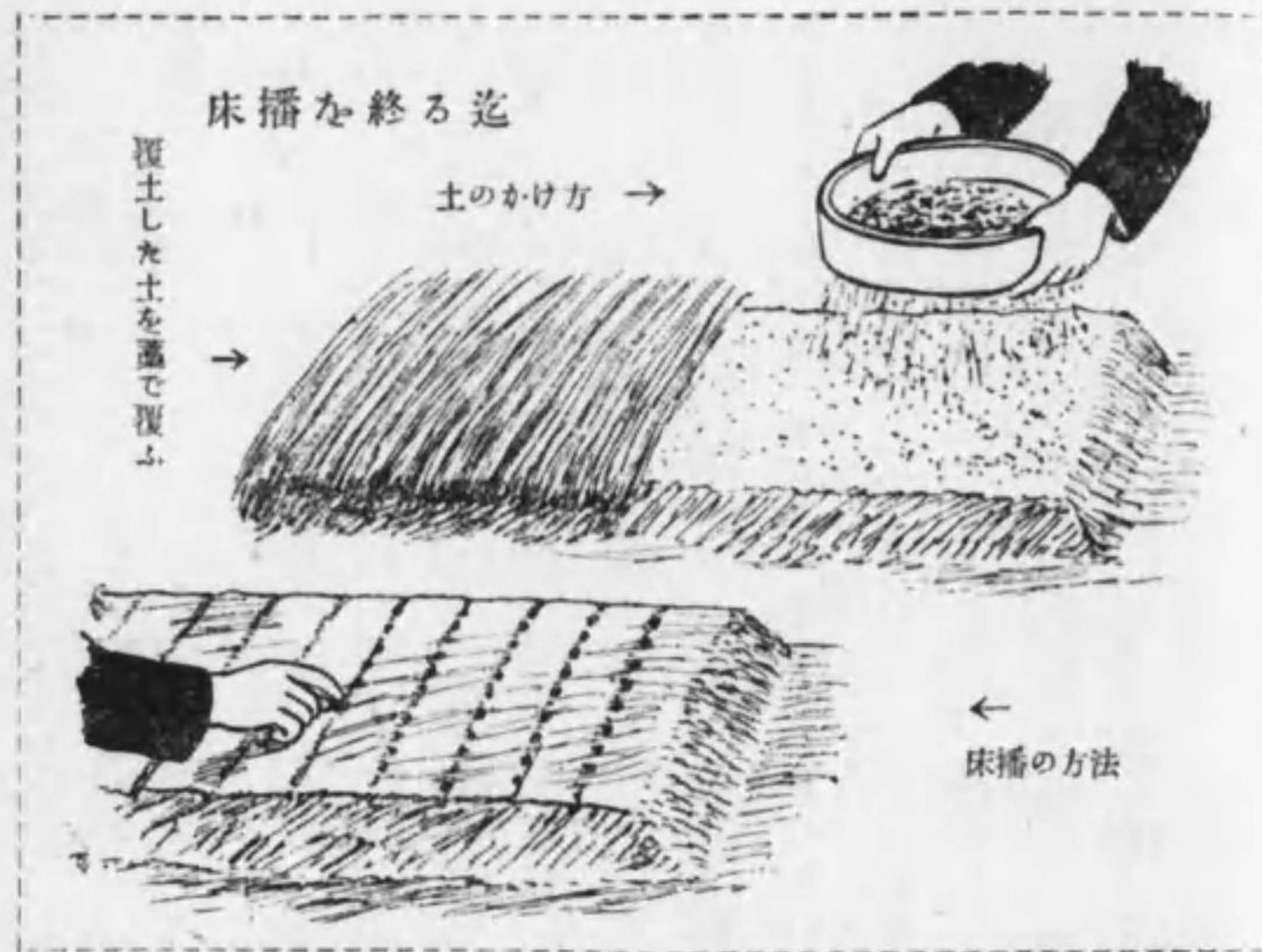
香と花の具合が木犀によく似てゐるので、木犀草と呼ばれます。非常に香が良いので、僅か

數株庭先にあつても、六、七月頃常にこの香に接することが出来ますから、是非植ゑて欲しい  
 ものです。花は多數集つて圓錐狀に咲きます。元來が多年草ですが、毎年春播く方がいゝ花が  
 見られます。

肥えて、日當りが良く、ひどく乾かない所ならばどこでもよく出来ます。播くのは秋でも宜しい  
 が、春でも三月中頃播けば立派に見られます。唯秋のものは六、七月花が見られますが、春の  
 ものは花は九月から咲きます。根が多肉で小根が少いから、直播しないと、よく育ちません。て  
 すから初めから庭先や玄關先、又は側に植付けますと、よく香つて宜しい。植替する場合には二  
 寸鉢に二、三粒播いて苗を仕立て、鉢から豫定の場所に植込みます。植込む前、本葉二、三枚  
 の時に芯を摘んで澤山枝を出して咲かせると見事です。

小町菊

細い花梗を長く抜き出して、シネラリヤを小型にした様な小花を一面につけて、咲き亂れる  
 様は實に美しく、夏の花壇、切花として是非欲しいものです。強烈な色彩の花も悪くはないが  
 淡青色の白花、るり色等夏に眺向の涼しさのあるこの花もいゝものです。日射の十分な、ゴミ



土の多い水排の良い所が好適です。  
 春播が無難で三月の中頃に箱又は鉢に播い  
 て、フレーム内又は暖い所に保護します。種  
 子のごく細かいから、密にならない様、又覆  
 土が厚くならない様に注意します。用土は砂  
 土に畑土を少量混ぜて用ひます。一週間から  
 十日位で發芽しますから、成るべく早く植替  
 します。一寸四方に一本の割で宜しい。本葉  
 三枚位の時、庭先なり床に植込みます。根づい  
 たら油粕の腐汁を一、二回與へます。  
 【鉢作り】床に植付けた苗を鉢に上げてもし  
 いが、兎角枝が伸び易いから、一寸五分鉢苗か  
 ら鉢で育て、摘心して澤山枝を出します。油  
 粕の腐汁を與へ、日光のよく當るところで育  
 てます。



けし

又ポツピーと呼んでゐるが、これにはオビエムポツピーの如き一年性のもの、鬼げし様な宿根のもの等いろいろあります。又一重もあり、八重もあり、花色にも白、紫、ピンク、絞咲のもの等仲々豊富です。何れにしても比較的作り易く、あの濃艶華麗な花と、白粉を帯びた青葉を持つけしの類は、春夏の草花として、庭先に幾株か植えて欲しいものです。

ポツピーの内でも最も一般的なものは、ひなげし又はコーンポツピー・シャレー、ポツピーと云はれるもので、草丈は一—三尺、花色は朱紅色が普通で、紫、深紅、白の縁のあるもの等あります。花径は一寸五分内外で、一重が多いが、八重もあります。もう一つはオリエンタルポツピー、和名鬼げしとも呼ばれ、これは宿根の代表的なものです。花も葉も大きく、花の色は朱紅色の四瓣花です。庭先や境植に相應しいものです。

日當りと排水の良い肥えた所が最も適當で、唯注意すべきことは、植替を嫌ひますから、直播して戴きます。七、八寸間に五、六粒か播いて、發芽してから順次抜いて、一本又は二本にしますが、若し花壇植にする場合には、直播することは困難ですから、鉢に播いて鉢から花壇に

姫金魚草

植込みます。尙肥料としては坪當りゴミ土三升、油粕一掴み、灰二掴み程入れ、根づいて後、花の出る迄一回、その後、一、二回油粕の腐汁を與へれば十分です。鉢植は最初箱播として、五寸鉢で咲かせるのが宜しい。

金魚草を小型にした様な、草丈七、八寸の愛らしい花です。一年草も宿根草もあり、花壇植とし、鉢植として、夏の頃の美しい花です。一年草のエレガンスは春でも秋播でも良く、宿根のガルマチカは同じく春秋に種子を播くか、又は三月初頃株分します。花はピロッド状で黄色の地に紫色の斑點があつたり、地色が紫で黄色の斑點があつたり、金魚草そつくりの美しさをもつてゐます。丈夫なものです。日當りで水排の良い、ゴミ土の多い所が宜しい。

生え易いものですが、元來種子が小さいから、土をかけ過ぎないことが肝心です。直播でも結構生えますが、平床か、淺鉢か、平箱に播くのが一番良い様です。發芽したらば、餘り乾かない様時々灌水し、本葉三、四枚の時植替して、六、七枚の頃坪當りゴミ土三升、油粕、灰少量混ぜて植付けます。

## グロキシニヤ

グロキシニヤは、球根ベコニヤなどと共に、夏の温室や机上を飾る温室性の西洋鉢花として代表的なものです。そのピロイドの様にあつぽつたい葉、妖艶な筒状の花は、少しくどいやうに申す人もありますけれども、そこが却つて、夏の鉢花としていゝところがあるのではないかと思ひます。

花のある期間が極めて長く、次々と蕾をもたげ、よく十數輪をつけます。近頃は花色も色色と作られ、紫、白、紅、薄紅、覆輪から絞りにまであります。

數鉢のグロキシニヤを作る趣味栽培では、種子から育てた球根を求めて作るのが簡便で、これがよく出来ます。

〔作り方〕 フレームで作る場合には、温度の關係上、四月以後五月までに植込めばよろしい。その心算で、球根を準備します。球根は種苗店、デパートの花部などに、一個二十錢位で賣つてゐます。

たゞ注意することは、ゴツ／＼としてゐない、すんなりと丸くなつてゐるもので、且つ餘り

芽數の多いものより、二、三個ぐらゐの方がよく出来ます。種子をまいて二年目か三年目位の球が一番いゝので、三年以上も経つたものは芽は澤山に立ちますが弱かつたり、途中で駄目になり勝ちです。

さて球根は、最初から所定の鉢へ植付けてもよし、その頃に他の鉢物を入れてあつて置き場に困る場合には、深さ二、三寸の木箱、或は平鉢へ一旦植付け、葉が二、三枚でた時に、適當な鉢に植替へるやうにしても差支へありません。最初から鉢へ植ゑますと、後で出た新芽をかくと場合によつては中心におさまらず、一方に片寄つて見苦しくなります。一旦箱で芽を出させ、鉢へ植ゑる方がやはりいゝと思ひます。

木箱なり鉢底へ、鉢かけと篩に残つたゴロ土を入れ、水排けをよくします。その上に用土を入れながら芽の方を上にして球を据ゑ、九分目に土を入れます。土の表面から球の頭まで、四五分の深さにするのが適當です。シクラメンのやうに球を半分も出して植ゑると發育が悪く、反對に深過ぎると芽が徒長したり、腐つたりします。

尙、植付に用ひる土は、庭土四分に腐葉土四分、それに川砂二分の割合に混ぜたものを、三分目の篩に通して使ひます。

球を植付けましたら一般に水を與へますが、グロキシニヤの場合は、土に多少濕氣をもたせ

て灌水を行はず、二、三日後からごく少量づつ與へ、ジリ／＼と増してゆき、一、二週間して、發芽を見てから十分に與へます。最初から十分に與へますと、球の腐る處れが多分にあるからです。

一つの球から大抵二本乃至、多いのになると五、六本も芽が立ちます。放任すると勿論、いい花は見られません。出かゝつた頃に太い芽を二本ほど残して他を元からかきとり、葉が一、二枚出た頃、再び細い、悪い芽をかきとつて一本とします。

葉が二枚ほど出ました時、小さい球なら素焼の四、五寸鉢、大きい球で六寸鉢へ一球づつ、肥え氣のある土を用ひて植付けます。つとめて根を切らぬやうに、軽く、残された一本の莖が鉢の真中へゆくやうに植付けます。

植付けてから一週間ほどしましたならば、油粕または魚屑の腐汁の薄い液を四、五日から十日目毎に鉢縁へ施し、少しづつ濃くしてゆきます。グロキシニヤは元來、肥料をすく花ですから、多目にやつても害はありません。蕾が見えた頃、幾分骨粉か過磷酸石灰、または糠の腐汁を與へますと、花色や葉色がぐつとよくなります。蕾が母指大になつたら、肥料は中止した方が安全です。



鉢へ一球づつ植付けたもの、芽は何れか一本にします

です。そのためには、土が白く乾く前々に、少なくとも日に二回はやらぬといけません。與へる時に、なるべく葉にかけぬやうにします。葉にかけると、後でシミが出たり、腐つたりするからです。但し夕刻までに乾き切つてしまふやうな場合には、多少かゝつても心配はいりません。また相當に株が張り、葉が茂つて來れば、葉も硬くなつてゐますから、その心配もなくなります。若葉の時、特に雨天や曇天の時にかけると危険ですから、よく注意して下さい。

置き場所は、硝子障子から餘り遠過ぎますと徒長します。なるべく接近しておく様になります。日には餘り當てぬ方がよく出來ます。故に、球を植込んだ最初から、日中は障子の

上に葎を掛け、薄日に當てる様にします。  
 普通は蒸着く保つため、障子は閉めておくのですが、それも程度問題です。暑い、晴天の日には、上か下に動かすか段木を入れて、通風を圖るべきです。特に開花間近くなつてからは、風通しと朝夕の薄日にはよく當て、ガツチリとしたものに仕立てることが肝要です。  
 「球の貯へ方」花が終つて、葉の色が悪くなり、勢が減じて來ました頃からは、少しつづ水の量を控へます。すると葉は黄色く變り、萎れて來ますから、鉢から拔出し、葉を元より摘取ります。土を軽く落しますが、根はそのまゝにして、浅い木箱に入れ、乾いた川砂かモミ殻を詰め、凍らぬ程度に貯へます。鉢に植ゑたまゝ水を與へず、フレイム中においても結構です。

## カラヂューム

眞夏に於ける觀葉植物として、ベコニヤレツクスも捨て難いのですが、恐らく天下の第一人者と申してもいゝものはカラヂュームでせう。その葉はなんの變んくつもない、里芋の葉そつくりですが、そこに現れる色彩の變化と艶麗さは、到底他の草花に求めることの出來ぬ美しさで、花も遠く及ばぬ處です。

カラヂューム



里芋と同じやうに根は塊狀で芋がありますから、これを四、五月の候に植付け、温度と濕氣を十分に保つてやりますれば、フレイムでも十分に、その美しき葉を觀賞することが出來ます。

〔作り方〕植付の時期が四月下旬から五月中旬頃ですから、それまでに種苗商や花屋などから芋を求めておきます。

最初から一つづつ鉢へ植付けても差支へありませんが、場所の利用上と安全な發芽を圖るために、一旦浅い木箱か平鉢へ、芋が七分通り埋まる程度に、即ち芋が少し土より上に出る位に川砂ばかりで植付けます。フレイムに入れ、障子を立て、葎を掛けておきます。慈姑のやうな芽を出して來て、芽の附近から白い根を澤山に出すやうになります。この芽が二、三寸ほど伸びた頃、根を切らぬやうに、丁寧に掘出し、一球づつ鉢へ植ゑると申分ありません。

鉢土は、荒木田のやうな田土に同量の腐葉

を加へ、それに二割の川砂を混ぜた土がよろしい。この腐葉には、豫め二、三ヶ月ほど前に、馬糞、油粕、灰などを少量ませ、一、二度ませ返し、よく腐熟させておくと最良です。

何れにしても芋を植付けた當時は、あまり水をやらぬやうにします。如露などで與へず、出来るなら、面倒でも霧吹のやうなものでキリ水を與へ、うつすらと濕らせませす。日を追ふて、次第に量を増し、四、五日後から如露などで施します。これは栽培上ごく大切なことで、若し最初からどつさり水をくれますと、芋の腐る危険があるからです。

芽の出た芋は、普通四寸鉢へ一個づつ、五寸鉢には二個、六寸鉢には三個ぐらゐを一ヶ所にかためて、植ゑますが、今度は芋を出すことなく、土の面より六、七分の深さにすると良好です。一般に素焼鉢を用ひますが、青味がかつた常滑鉢などに二、三球植込むと、可成り美しいものになります。

鉢へ植付けた後は、フレイム或は小温室に取入れることは申す迄もないことですが、少くとも六、七十度を保つやうに、障子の開閉に注意します。と同時に、空氣が乾きますと蟲がついたり、十分なる成育が望めません。毎日朝夕二回ぐらゐは葉の上から灌水して、濕氣をたたへるやうにします。

元來このカラチユームは、熱帯の陰濕地に生てゐるものです。特に夏の強日光を直に當て

るのは禁物です。育たぬことはありませんが、葉が小さく、色も一向牙えず、美しさを十二分に發揮させることができません。故に初夏の間は日中、それ以後夏中は終日、硝子障子の上に葎をかけ、半日陰に保ちます。水は十分に與へ、土面を白く乾かさぬことが肝要です。

或る程度まで葉を生じてくれば、別段、フレイムや温室中で作る必要はなく、日當りのいゝ棚へ出し、上に葎をかけても結構作れます。却つてこのやうにしますと、葉を長く保たせることが出来ます。

色彩など左程気にしなれば、葎を覆はなくても出来るもので、朝方か夕刻、或は一日數時間しか日の當たらぬ場所ならば、葎をなして立派に育ちます。その代り、水を切らさぬ用心が第一です。

〔芋の貯へ方〕九月の中頃になり、氣温も少しづつ降つて参りますと、古い葉は少しづつ色があせ新しい葉の發育も衰へて参りますから、この頃より水を少しづつ控へます。十月に入りますと葉は萎れて來ます。一層水をへらしてゆきますと、間もなく葉は枯れてしまひます。枯れた葉は元より切棄て、灌水を中止し、そのまゝ温かいフレイム中に入れておくか、里芋やお麩を貯藏する時のやうに、日當りのいゝ場所を二、三尺掘下げ、この中に春まで埋めておくのも一法であります。

コ  
リ  
ウ  
ス

夏の終り頃、五、六寸の長さに花穂をぬき出して、紫蘇に似た小花をつけますが、餘り美しくはありません。コリウスは、黄、褐、紅、白、その濃淡、斑、いろ／＼と美しい色彩を現はす、紫蘇葉に似た縮緬葉を觀賞する草花です。莖は四角です。高さは二、三尺にも伸びますが、仕立方で四、五寸になります。

鉢物として飾るによし、夏から霜のある頃までは、東京でも外で十分にもちますので、花壇へ植付けるのも面白いてせう。

霜の降る少し前頃から、大きければ小さく切詰め、地に植ゑてあるものは鉢或は木箱へ植付け、冬中、フレームか小温室に保護します。

種  
百  
二  
花  
草

〔作り方〕 コリウスは、種子を採つてまいても出来ませんが、色彩の冴えたものゝ出来難い傾向がありますので、一般には挿木が行はれてゐます。六十度以上の温度さへあれば、何時でも挿せ、根づきも相當早く、簡単に出来ますから、家庭でやる場合は、五月頃に行へばよろしい。

鉢植にするには、芽先から二寸ほどの長さに二節か三節つけ、節の直ぐ下で摘み取つて挿し

種  
百  
二  
花  
草

挿芽苗を鉢へ植付けます

ます。花壇植には、芽先を切取つた残りの莖も、二寸ほどの長さにして挿せば十分使へます。鉢植用に芽先のない挿穂を用ひないのは、一番先にある左右の葉の附根より二本、新芽を立て、恰好よく出来ぬからであります。

切取つた挿穂は、一番下の葉だけ摘み取り、直ちに割箸で五、六分深さに小穴をあけては挿込み、挿際を指先でぐつと壓へつけ、たつぷり水を與へておきます。挿す場所は、鉢でも箱、平鉢でも構ひません。新しい川砂ばかりか、僅かに庭土を加へたものか、鹿沼土に水苔を半々位に混ぜた土を盛ります。

挿した鉢はその當座、フレームでも温室でも結構ですが、取込んだならば、上に葎簀をかけて保護します。二、三日後から朝夕の薄

日に當て、ゆきますと、十日から二週間そこ／＼で根を出し、小鉢へ植付けることが出来るやうになります。併し素人の方は、二週間目頃から日中も日に當て、二十日目頃に鉢へ一本づつ取上げると安全でせう。花壇へ植ゑ出すにしても一應は鉢で育て、おくと、育ちがぐつとよいやうです。

鉢は勿論素焼鉢を選びますが、最初は三寸ぐらゐで適當で、その後、發育のいゝものだけ四寸か五寸鉢へ植替へます。土は砂勝ちの庭土に四分ほど腐葉を加へた、幾分か軽い土がよいやうです。鉢底には鉢かけとゴロ土を少し入れて水排けをよくし、根を切らぬ様に竹へラで掘出した挿芽苗を、中心にそつと据ゑ、土を餘り壓へぬ様にして植ゑます。

灌水後、フレームに取り入れますが、夜分は別として日中は、障子を去り、葎簍のみかけておきます。元氣づきました頃からは、フレームより取出し、一日中、日當りに出して育てますと、ぐん／＼と發育するものであります。

水は土が乾かぬ程度に、日に二、三回は與へる必要がありません。肥料は、毎週一回、油粕の腐汁をやれば十分です。適當な高さになつた頃一度、先を摘み、下から横枝を出させるやうにすると賑やかになります。

花壇へ植ゑ出すには、鉢土をくずさぬやうに、スツポリと鉢から拔出し、そのままそつくり

少し深目に植込み、たつぷり水をやつておきます。

八月末になると花をつけますが、前に申しました通り、美しいものではありません。種子をとらないならば、早く摘取りますと、美しい葉を長くたもちます。

冬の間、煉炭ポイラーでもたくとがして、五十度ぐらゐの溫度を保てば、冬中も美しい葉が見られます。この際は、初秋に挿木をして、小鉢に仕立て、おくとよろしい。

## ゼラニウム

温室性の西洋鉢花の中で、素人が先づ手を染めるのは、このゼラニウム、和名ていふ天竺葵でせう。花の美しいことは申す迄ありませんが、濃緑色の葉との映りが大變よく、手當の方法がよろしければ、四季殆ど花の絶えることがありません。次々と咲き續け、然も仕立次第では小さい鉢で作れ、極めて丈夫ですから、家庭の鉢花として最も適して居ります。

更に巧いことには、素人の方にもごく容易に殖すことが出来ますし、手當として特に面倒なことがなく、霜のない間は外で十分作れ、葎簍などかける必要もありません。冬の間は十分に花の見られぬ缺點はあつても、フレームや温かい縁側でも結構冬越しが出来ます。房州や伊豆

邊りの霜の来ない暖地では、地植にしておいても寒中に咲くほど寒さに強いだけに、他の温室性の草花よりも作り易い譯です。

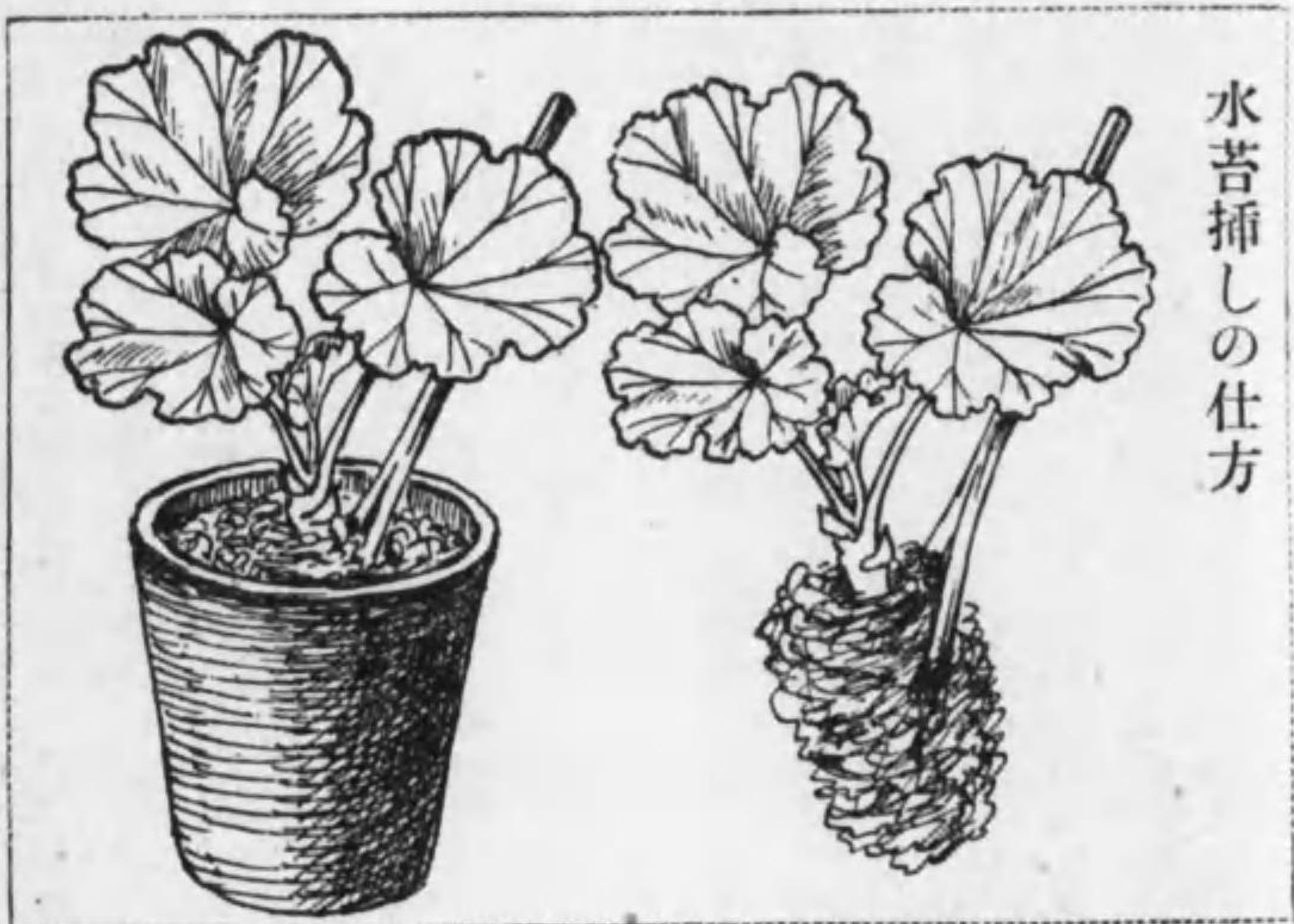
一般には花の美しい種類を作りますが、花は粗末でも葉の美しい五色の所謂斑入葉ゼラニウムも捨て難いもので、流行品として人気があります。花ゼラニウムより少し弱い傾向がありますから、その心算りでお作り下さい。

〔繁殖の仕方〕ゼラニウムを殖すには、多く挿木によつてゐます。これが一番簡単で、その年から既に花が見られ、好都合だからです。

挿木を行ふ時期は、フレームとかごく日當りのいい、温かい所で行ふ場合には、四月から五月一パイです。入梅から九月中、下旬頃までの間は、温度が高過ぎたり濕氣が多過ぎて、根の出方が悪いどころか、往々切口から腐つてくることがあるからです。

挿木をするには、枝の先から一寸乃至二寸位の長さに切り取り、下葉を一、二枚切棄てます。そのまゝ、數時間日陰で乾かし、切口の水氣を去つてから、箱なり挿箱へ一本乃至數本挿します。土は川砂ばかりでもよし、これに庭土を少し加へても差支へありません。細かい腐葉に庭土と川砂を等量に加へた軽い土でもよくつき、鹿沼土に細かい水苔を半々に混ぜたものでも良成績を得ます。挿す際にちよつと切口を切直し、指で小穴をあけ、そつと五分ほど挿込み、挿際を

## 水苔挿しの仕方



しつかりと壓へておきます。

また一法として、切取つた枝の切口に、水で練つた赤土を團子状につけ、これを直ちに植土を盛つた三寸鉢に植付けるやうにして挿込んでおきますと、根付いてからも植替へる必要がなく、そのまゝ育てられますから簡便です。

併し素人の方がやつて一番確かな方法は、少し面倒ですが、切口を水苔で包んで挿します。枝を切取つたならば直ちに、切口に半濕りにした水苔を當てがひ、とれぬやうにしつかりと箸ではさむか、割り竹ではさみます。鹿沼土に水苔を半々にした挿土の中へ、このまゝ五、六分深さに挿込みますと、活着率百パーセントです。



何れにしましても挿しましたものは、細目の如露で十分に水を與へ、フレイムに取込みます。障子をかけ、葎を擲けて半日陰にしておきます。蒸れるやうでしたら、隙間をつけます。濕りすぎぬやうに水を與へてゆき、ずつと半日陰に保ちますと、一週間そこくで大抵根を出して參ります。

芽が伸びてくれば、完全に根の出た證據ですから、手早やに三、四寸鉢に植付け、日當りのいゝ外の棚で作るやうにします。斑入葉ゼラニウムは總體に小形ですから、挿した當座のもの、二寸鉢でも結構納まります。土は庭土五分に腐葉土四分、川砂一分ぐらゐの割合を標準とすればよく、ちよつと固目に植付けてやりますと良好です。

鉢へ植付けました當座一週間ほどは、フレイムか風當りのごく少ない日當りにおき、日中は葎をかけ、乾かぬやうに水を與へてゆきます。その後日當りの棚へ出して、朝顔や菊などと同じ要領で作ればよいのであります。

〔作り方〕 芽先を切取つた古株は、枯れ枝や不用な枝、徒長枝を適當に切拂ひ、前記と同じ土で植替をしてやります。前記の挿木苗も、枝が相當に張つて來ましたら、少し大きい鉢に植替けてやります。この植替をしたものは別に日陰におく必要はなく、フレイムに入れておいてもよし、霜の處れがなければ外へ出しておいても構ひません。但し斑入のものは、多少用心して

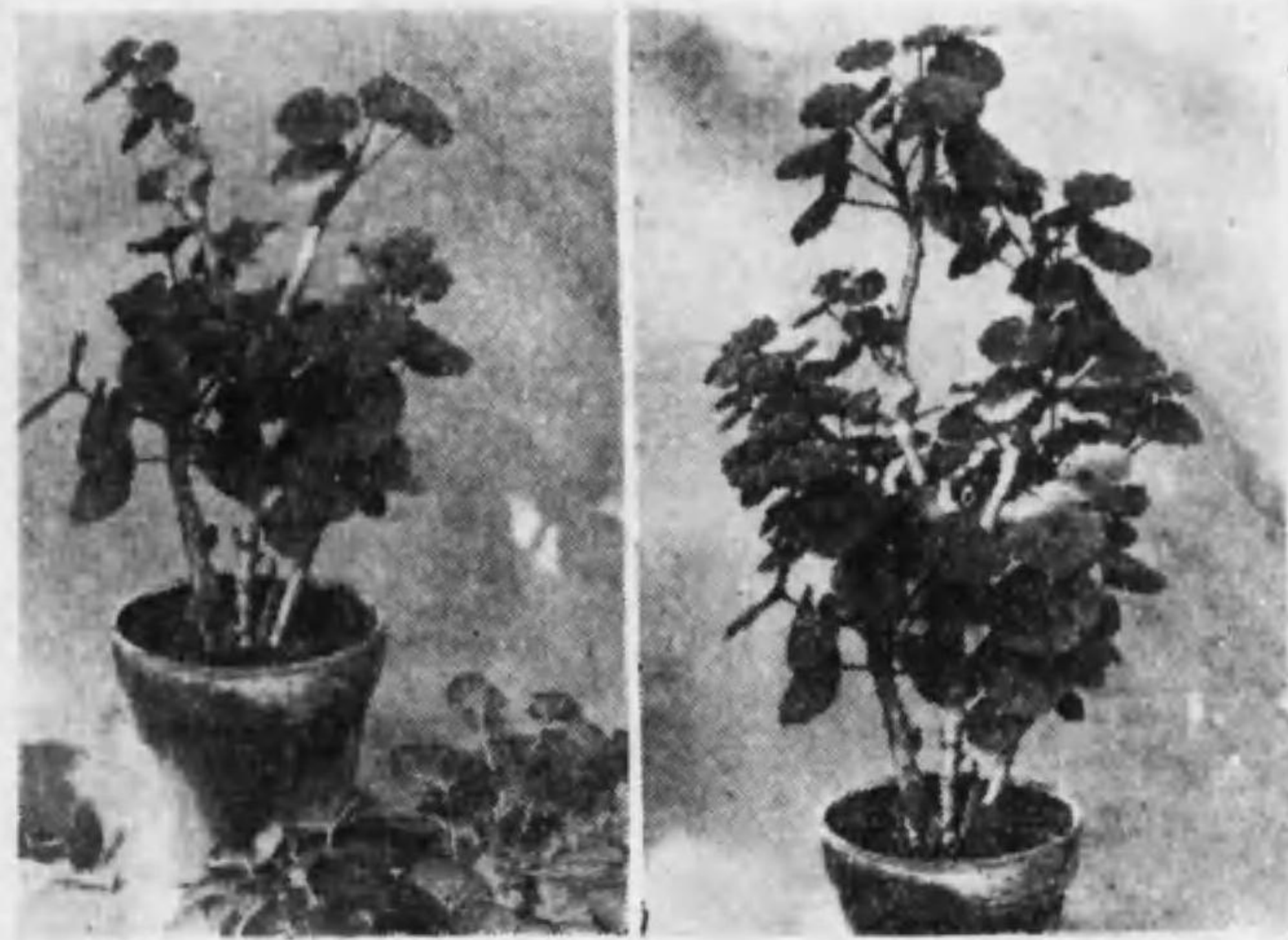
やるが安全であります。

水は一般の草花同様でよろしい。乾かぬ程度に、春から秋までは日に二、三回與へる必要がありませんが、多目に與へた方がよく發育します。その心算で、灌水して下さい。

肥料は春から秋まで、十日目ごと位に、油粕の腐汁をやります。時隔、魚屑の腐汁や骨粉、米糠の腐汁、灰汁のやうなものも良好です。油粕に鶏糞、小鳥の糞などを混ぜた腐汁なれば、效果觀面です。フレイムに取込んでからは、殆どやる必要はないと思ひます。但し煉炭ストーブでもたける温室内に取込んだならば、多中と雖も花が見られますから、月に一回ぐらゐは與へる方がよろしい。

日にはどれだけ當ても構ひません。夏中も決して日陰におく要はないので、霜のなくなつた頃から再び霜のくる間は、外の棚で作るやうにします。フレイムに取込んでからも、なるべく日に當てもやります。たゞ斑入葉のものは、あまり強い日に當てると弱りますから、盛夏の候には、日中だけ葎下か日陰におくやうにします。

ゼラニウムは前述の如く、霜さへなければ冬も外でもつ位です。霜除の下では葉は霜と寒さに焼けて紅くなり遂に落ちますが、株がまひつてしまふやうなことはなく、春になると新しい葉が出てくる位に丈夫なものです。日當りの縁側、應接間、窓際などならば、花は見られま



右は切込み前左は切込み後の姿

せんが、青葉のまゝ冬越しが出来ます。フレームに取込めば、貧弱ながら花も見られ、新芽も伸びます。故に灌水に注意し、時折、葉水をして、少し蒸らし加減にしてやるとよろしい。

先がズル／＼と伸びて、下の方に葉が失はれて参りましたら、惜気なく、伸びた枝を岐れ枝のある處から、或は横芽のある上て切拂ひ、常に低く、下がすかないやうに仕立てることが肝要であります。即ち、挿圖の如く、年に一、二度、短かく枝を切詰めますと、大變恰好よく出来ます。

この切込みは、挿木の出来る四、五月中に行ひ、切詰めと同時に、切棄てた枝を直ちに前述の如く挿木をしてゆくと一舉兩得です。

## 君子蘭

古くから、且つ廣く、鉢植として作られてゐる宿根性の草花であります。君子蘭とは申しましても別に蘭ではないので、皆さんの想像も及ばぬ、彼岸花と同じ種類なのです。嚴冬より春にかけて、一本乃至二本、太い軸を伸し、ユリに似た大輪花を十數輪つけ、一ヶ月近くも咲續けて居ります。

葉は少し廣巾ですが、古株になりますと葉數も多く、巧く左右へ垂れ、蘭と同様に周年の觀賞に向くのがなによりです。花は多少バタ臭い處もないではありませんが、日本味を多分に持つてゐますので、洋間飾りばかりでなく、日本間や玄關飾りなどにも用ひられます。

然も君子蘭は、嚴冬から咲かせやうとすれば別、さういそがなければ、フレームでも、少し温かく保てば日當りのいゝ縁側などでも十分咲かせられ、夏の間は外の半日陰で育ちますから、家庭向きの温室性草花としては、誠に誂へ向きであります。

苗は、信用のおける花屋、種苗商より、なるべく大輪の實生一、二年苗（種子から仕立てた苗）か、株分け苗を四、五月頃に求めます。實生苗ならば四年目、株分け苗ならば二年目ぐらゐから花が見られます。

〔作り方〕 新しく君子蘭を求めましたならば、鉢拔きの苗なら無論のこと、假令鉢に植えておつても一旦植替へるとよろしい。その點から言つて、五、六月頃が一番いいのです。

鉢数を殖すには、種子から育てることもありますが、一時に澤山殖えはしますが、何分にも年數と手間がかゝりますので一般には、株の根際から出た子株を取り分けてゐます。故に、子のついでゐる大株を求めました際は、この植替の時、子を分けるやうにしたら好都合です。但し君子蘭でも、或る程度まで子がついてゐないと花數も葉數も少なく、見劣りがします。さうさう殖す必要がなければ、株分けは避けた方がいゝに決つてゐます。

株分の方法はごく容易で、土を軽く落し、手で軽くもぎ取ればいゝのです。但し二、三枚以下の、葉數の少ない子は、今年待つ方が安全です。

苗を育てるには素焼鉢がよろしいが、既に花をつけた株なら、觀賞上、塗り鉢を選ぶ方がいゝでせう。大きさは、株分けしたばかりの、四、五枚葉のものならば四寸鉢、それより葉數も根もとにも多いものは五寸、六寸と大きくします。尙大株になれば、幾分深い鉢の方が見栄えがいゝやうです。

腐つた根は兎も角、蘭に似た根は太い割合に少ないものですから、なるべく切らぬやうにします。庭土に腐葉と川砂を一分、それに田土（荒木田）のやうな多少粘土氣のある重い土を

一、二分加へると、いゝ土になります。ちよつと固目に植込みます。

五月頃ではまだ、夜分霜の來ることもありまゝです。フレームか室内、土間などに取込みますが、日中は外に出し、梅雨明け頃までは、一日中日に當てゝやります。それ以後は、葉の焼ける處れがあります。日中だけは二、三尺上に葎をかけるか、木蔭に取込むやうにします。中秋頃からまた、一日中當てゝゆき、霜の來る前にフレームなり、縁側に取込むのです。

水は普通にやつてゆきます。肥料は、油粕の腐汁か粉末のまゝ、月に一、二度、春より秋までやり、時折骨粉でも與へれば申分ありません。

葉數が殖え、子が出て、土の表面へ根の出る様になりましたならば、五、六月頃に大きい鉢へ植替へるか、子を分けます。但し仕立中の苗は、毎年一回は植替へた方がよく出來ます。花が終りましたら、早く、元から軸を切棄てゝ下さい。實を成らせますと、子の出方が悪くなりません。

夏の間、暑い日には夕刻、葉にも冷水をかけてやるのはいゝことで、汚れもとれて好都合です。冬の間も室内などに取入れておくとホコリがよくつきまゝです。温かい日に葉水をするか、濕した布で軽く拭ひ取つてやると効果的です。尙、冬の間は、全く日陰でも差支へないので、土さへ凍らさねば、この方が安全です。

ベコニヤは秋海棠と同じ種類の草花で、澤山の種類がありますけれども、こゝでは主にアワビ貝の様な形をした、色彩の美しい葉を眺めるベコニヤレツクス、葉はあまり美しい方ではありませんが、紅味がかつた軸に緑の葉、その葉の附根より紅い小花を多数綴り、初夏から秋末まで咲續けるベコニヤセンパフロレンス、その外これに類似したベコニヤ類について、その作り方を申上げること致します。

レツクス、その他二、三のベコニヤは寒さに弱く、冬越しにはちよつと骨が折れます。また夏の強烈な日にも弱く、半日陰或は朝方二、三時間日に當てる程度にする必要がありますが、センパフロレンスは相當寒さにも強く、霜のない暖地なら外でも平氣で冬を越します。また日にも強く、多少は葉の縁の傷むことはあつても、夏中は花壇に植ゑて花を觀賞することが出来るほどですから、家庭の趣味栽培にはうてつけのものでせう。

〔作り方〕 前述の如くこれ等のベコニヤは、冬の間は少なくともフレームか、葉の凍らぬ程度の温かき室内などに保護しなければ枯れてしまひますが、霜さへ來なければ室外でよく作れま



ベコニヤレツクス

す。そこでレツクス類も五月末頃からは外の棚にて培養します。霜の來る前、十月頃から再び取込むやうにすると發育もよし、夏の間だけでもフレームが二重に活用出來て、重寶します。

併し一般に、これ等のベコニヤ類は、陰濕の處を好むものでありますから、灌水を怠らず、努めて半日陰に保つてやります。けれども周年、終日、陰ばかりでは、殊にレツクス以外のベコニヤで、花をつける種類は、葉こそ美しく繊細な感じに育ちはしますが、弱々しすぎ、徒長勝ちで、花などろく／＼つきません。

故にレツクス類でも十一月頃から四月頃の日

に日を當て、夏中は一日中(夜分はとります)、その他の季節には日中のみ葎簀をかけ、朝夕の薄日にはなるべく當てる位にします。

レツクスは、夏の日光には絶対直射させていけないやうに云ふ方もあります。私の経験では多少葉はごわ／＼になり、色も冴えなくなる缺點はありますが、一日中炎天下におきましても決して枯れる處れはなく、却つてガツチリとしたものができます。その代り一時たりとも水を切らさぬことで、若し手ちがひとか忘れてもするとひとたまりもなく參つてしまひます。

水は、植ゑた土にもよりますが、夏など一回乃至二回、炎天だと三、四回は要ります。フレーム中では蒸らすために時折キリをふきかけますが、そのために葉に水を溜めてはいけません。溜めるとその部分が腐るからです。

小雨には當て、も一向差支へありませんが、餘り長雨や大粒の雨には當てぬやうにします。根腐れを起したり、葉を傷つけたり、破つたりする處れがあるからです。尙俄雨の際は當て、もよろしいが、カツとその後に照付ける強い日光に當てぬやうに注意を要します。葎簀を二重にするなど、いゝ方法と思ひます。

肥料はあまりほしがる方ではありませんが、春から秋十月頃まで、月二回ほどの割合で、油粕の薄い腐汁をやれば、葉色がづつとよくなります。

假令同じ大きさの鉢へ再び植付けるにしても、年に一回は、新しい土で植替へてやりますとあまり下葉を落すこともなく、立派な、大きい葉を出します。この植替の時期は五月から六月が最適で、少し粘氣のある荒木田のやうな土を四分に腐葉土五分、川砂一分ぐらゐに配合した土で軽く、壓へぬやうにして植付けることが肝要です。

この植替と同時に木立性のベコニヤは、適當な處から先を切棄て、下の方にも葉のあるやうに仕立てます。放任しますと上の方ばかり茂つて、見苦しくなるからです。レツクスの類は毎年切戻しをやるほどの必要はありませんが、三年、四年と経ちますと太い莖は横に長く臥し、先の方にのみ葉を集め、恰好がとれなくなります。そこで四、五年目には次の方法で葉挿を行ひ、また新しく小鉢に仕立て、ゆくやうにします。

〔葉挿し方〕 多くは挿木或は葉挿しの方法で殖やしてゐます。挿木はセンパフロレンスその他木立性のもので、葉挿はレツクス類に多く行ひます。

繁殖を行ふ時期は、六十度前後の温度を必要としますから、一般の家庭では、五月末から初秋までの間に行ふのが適當です。挿木では新芽の先を二、三寸ぐらゐの切取り、葉挿では一枚の葉の葉脈を中心にして圖の如く幾つにも切り分け、浅い木箱か箱へ、五分深さに指で小穴をあけては軽く挿込みます。元を少し押へつけておく方がよろしい。土は川砂だけか、鹿沼土に水



レツクスの葉挿し法

苔を半々にしたものでもよくつきます。  
挿木後はたつぷりと細目の如露で水を與へ、フレーム中に取込み、障子をのせ一日中葎簀をかけておきます。過濕にならぬ程度に水を與へ、また蒸らさぬやうに障子の開閉に注意しますと、凡そ一週間位で根づきます。根の出たものはなるべく早く、三寸位の素焼鉢へ一つづつ取上げます。土は前記と同様のものを用ひます。植付けた當座は終日葎簀をかけますが、漸次、朝夕の薄日に當て、ぼち／＼薄い肥料を與へてゆきます。

### 球根ベコニヤ

球根ベコニヤは、五色の美しい葉を觀賞するベコニヤレツクスや秋海棠などの親族であります。こんにやくのやうな丸い根をもつてゐますので、かく呼ばれて居

ります。ベコニヤ類の中で最も美しい大輪の花をつけるもので、一重咲あり、八重咲あり、八重棒咲あり、色彩は殆ど七色を數へ、然もその色の鮮麗さは、ちよつと他に比すべくもないほど立派です。確かに夏の温室性鉢花中の女王と申していゝでせう。

併しこの球根ベコニヤも、我國では、入梅頃からの蒸し暑さで、丁度出かゝつた蕾をポロポロと落し易い危険があります。故にフレーム一つで作るやうな場合には、その前後の手入に十分注意を要します。

〔作り方〕素人の方がフレームなどで作る場合には、少し金のかゝる恨みはありましても、球根を求めて栽培されるのが間違ひもなく、一番懶口なやり方です。

この球根は、五月上、中旬に植付けます。直ちに四、五寸の素焼鉢へ一球づつ植付けてもよろしいし、その當時フレームに場所のない時には、深さ二、三寸の木箱などへ、二寸四方位の間隔をとつて、一緒に植付け、一、二枚ほど葉の出た頃に、改めて鉢に移しても結構です。鉢植の仕方は、鉢底の穴を鉢かけて塞ぎ、少しゴロ土を入れましたら、庭土四分に腐葉土四分、川砂二分を加へた軽い、水排けのいゝ土で、芽を上にして植込みます。土面から球根まで一寸位の深さにします。

植付けてたつぷり灌水した後、フレーム中に取込み、ガラス障子をかけ、葎簀を掛けておき

ます。巧く温度が保たれますと、四、五日後には芽を出して参ります。この頃からも日中は必ず葎簀をかけ、朝夕の薄日にのみ當て、ゆきます。葉が二枚、三枚と現れて参りますと、氣温も相當に昇つて参りますから、朝夕の日と雖も注意を要します。ガラス障子はずつとかけておきますが、蒸れぬやうに、日中は勿論のこと、朝夕も、また夜分も木切れを挟むか、上か下へずらして十分に風通しを圖らねばなりません。

七月頃からはガラス障子を廢し、葎簀のみかけておきますが、雨にはなるべく打たせぬ様に工夫します。障子を入れた時には、よく蒸らして、雨には打たせなかつたが蕾を落してしまふ虞れがありますから、よく注意して下さい。

六月頃から、十日目ごと位に、油粕の腐汁を與へてゆきます。水は乾かさぬ程度に與へてゆくことが肝心で、一時たりとも水を切らしたらおじやんです。

七月の中頃になりますと下向きの蕾も上向きになつて、美しい、鮮麗な色彩のある花を見せて來ます。

〔球根の貯へ方〕花が濟みました頃からは、だん／＼に水の量を控へますと、葉も莖も黄色から褐色へと變り、八月中、下旬頃には全く枯れてしまひます。勿論花後枯れるまでも、日中の強い日光に當てず、葎簀をかけて保護することは申す迄もないことです。



全く枯れてしまひました頃に、鉢より丁寧に掘出し、直ちに細かい腐葉か、少量の土、砂を加へたものと一緒箱か鉢へ入れ、來春まで貯へておきます。場所はフレームの一隅などがいいのですが、水をかけてはいけません。室内に取込んでおいてもよろしいが、氷點以下にならぬやうにたもつてやりま

## ヘリオトロープ

香氣の高い、美しい花として世界的によく知られて居りますが、實際に花を見たことのない方でも、彼の香水の名で、誰方でもご存知の有名な花です。草ではなく、紫陽花のやうに莖は木になりますが、小灌木なので、小さい鉢によく仕立てられます。新芽の先には常に花をつける性質があります。一年中殆ど絶え間なく、可憐な小花を傘状につけ、獨特の香氣をたゞへてくれます。花の色合は多く紫ですが、藍、藤、薄桃、白などあります。

生れ故郷は熱帯地方でありますから、温室かフレイムで栽培しなければなりません。相當に枝葉の茂つたものは、降霜のない初夏から中秋までの時期ならば、東京附近でも外の培養棚或は花壇へ植付けても十分に花を觀賞することが出来ます。故に霜を見ない暖地では、冬もフレイムの必要はなく、東京附近でも花は見られませんが、フレイム或は日當りのいゝ温かな縁側、應接間などで、冬越しさせることができます。

〔作り方〕 冬の間五十度前後の温度を保ち得れば、秋十月頃に新芽をとつて挿木をなし、小鉢に植ゑて冬を越させ、春から秋まで鉢植として或は春から初夏までは鉢植とし、それ以後夏の

間は鉢より抜いて花壇へ植込んで觀賞します。秋に再び新芽をとつて挿木を行ひ、新しく株を仕立て、ゆけば、一番適切な作り方といへます。

併し一般のご家庭に於て、冬の間、簡易なフレイムとか縁側、土ムロなどで冬越しをさせねばならぬ場合には、温度が低いため、どうしても葉や莖が枯れてしまひます。けれども根元や葉のあつた附根に出てゐた芽は、餘程の寒さか霜に當てぬ限りは枯れません。そこで四、五月の温かくなつた頃、この芽をかき取り、次の要領で挿木を行ひ、活着後、小鉢に仕立て、夏

から秋フレイムに取入れるまで花を樂しむやうにします。

挿木の要領は、葉の附根に出た芽が二寸位に伸びた頃、附根から掻取るか、芽先だけを一、二寸の長さに切り取り、下の方の葉を一、二枚摘み取ります。浅い木箱か鉢に川砂のみか、鹿沼土だけ、或は兩者を混ぜたもの、鹿沼土に水苔を半々に混ぜた土かを盛り、二寸間隔に箸で小穴をあけつつ、



ヘリオトロープ



切取つた挿芽を挿し、元をしつかり押へます。灌水後、フレームなどに運び、障子と葎簾をかけ、乾かさぬやうにしておけば、容易に根を出すものです。

芽が動いてくれば根は完全に出るから、丁寧に掘取つて、三寸鉢へ一本づつ植付けます。土は、庭土に腐葉、それに川砂を等分に混ぜた位のものが良好です。鉢が小さくなつて参りましたら、四寸か五寸鉢へ植替へてやりませう。

挿した芽が三寸位に伸びた頃、四、五枚の葉を残して先を切棄て、おきます。すると下から澤山に芽がふいて、やがて枝となり、その先に花をつけるやうになります。

花の終つた枝は適當な處から切戻してやりませうと、再び下から新芽をふいて花をつけます。

ヘリオトロップはあまり暑い氣候を好みません。盛夏になると一時勢が衰へ、葉も少しおち花も絶えますから、衰へかけた頃に一回、枝を幾分深く切込みます。そして再び出た新芽に秋花をつけるやうにするとよろしい。

發育中は十日に一回づつ、油粕の腐汁及び骨粉を少量やりませう。魚屑の腐汁などを施すと、花色が大變よくなります。水は何れかといへば多い方がよく、鉢植にしたものは夏中も十分に當てゝやります。

小雨ぐらゐには當てゝも差支へなく、當てた方がいゝ位ですが、大雨や夕立に當てると泥が

葉裏にはねあがつて、下葉が落ち易くなりますから注意を要します。

## フクシヤ

可成り古くから作られてゐます、温室性の草花です。五、六月の頃に枝先から、紅や紫色に色どられた珍奇な花を、提燈のやうにぶらぶらと吊り下げる、非常に軟らか味のある、女性的な感じのするものです。



フクシヤの鉢物

元來フクシヤは三、四尺にもなる灌木ですが、仕立て十分四、五寸の小鉢に小さく作れますので、初夏の机上を飾る鉢花として人氣があります。花も相當に長い間見られ、培養も容易で、冬の間も少し注意しさえすれば、フレームでもちますから、一般の家庭でも樂に作る事ができます。

〔作り方〕 フクシヤは、餘り強い日に當て

ず、花の咲く頃から九月中頃までは、フレームに取込んでおく必要はありません。日當りの棚へ出し、日中は二、三尺上に葎をかけ、半日陰に保ちます。

花のある頃は十分に水を與へねばなりません。花後は、半日陰に保つても、暑さのために順次株が弱り、二枚三枚とだん／＼に葉を落して來ます。培養法がかなへば二、三枚ほど葉を残しますが、悪ると全部落ちて、丸坊主になります。併しこれは、櫻や梅が多になつて葉を落すのと同じやうに休眠するのですから、一向心配はいりません。相變らず半日陰に保ち、夜分は夜露に當てるやうにします。水も花時よりだん／＼に控へ、休眠中は枯れぬ程度に、なるべく控へます。

尙花の濟んだ直後、あまり長く伸びてゐる枝や、ひどく込合つてゐる部分の枝は、適當に切詰めておきますと良好で、芽が再び出てから切詰めるのは感心しません。

スズメにして九月もすぎ、十月に入り、そろ／＼西風の吹くやうになりますと枯枝に芽を點じて參ります。そこでじり／＼と芽の伸びるに従つて灌水の量を増し、朝夕の日にも當て、月中頃よりは日中も葎を巻いたまゝ日に當て、發育を圖ります。急に水を多くやつたり、日に當てたりしますと失敗します。そして霜の來ない内に、フレームまたは小温室に取込み、普通の手入をしてゆきます。芽が吹いてからフレームに取込む迄に二、三回、油粕や魚屑の腐汁、灰

汁を與へておきますと、ずつと冬越しが樂になります。

冬の間、四、五十度の温度が常に保たれ、ば申分ないのですが、フレームでは無理な話です。併し、相當寒さに當てねば、葉こそ多少落ちて枯らすやうなことはありませんから、なるべく温かく保つやうにして、春の挿木時まで保護してやります。フレーム中で葉が左程茂らねば、灌水は幾分か控へた方が安全で、日には終日當て、よろしい。

三月もすぎ、櫻咲く頃になりますと、新芽も伸びて參りますから、二、三寸に伸びた頃を見計ひ、芽先から一寸ほどの長さに切り取り、川砂を盛つた木箱なり鉢へ挿します。二寸間隔位に箸で小穴をあけ、そつと半分ほど挿します。挿し際を壓へ、たつぷり灌水した後、フレーム中におき、芽ぐむまで、即ち根づくまで、日中は障子の上に葎をかけておきます。

割合容易く根づくもので、根の出たものは直ちに、三寸位の素焼鉢へ一本づつ、庭土六分、腐葉土三分、川砂一分ぐらゐの混合土で植付けます。植付けた當座四、五日間は終日フレームの葎下におきますが、元氣づくと共に朝夕の薄日に當て、ゆきます。

大きくなるに従つて四寸鉢、五寸鉢と大きい鉢へ植換へます。春に芽先を切取つた古い株も多少鉢の大きさをゆるめ、新しい土で植替へてやり、フレーム中で培養してゆきますと、幾分恰好は悪いけれども、再び澤山に花をつけます。

## エリカ

エリカは、クリスマスツリーのテーブルデコレーション、その他、一般の草花と一緒に活花材料として、盛んに利用されてをります。杉を小さくしたやうな小灌木で、横枝を澤山に出しますので、ちよつと笹草のやうな感じもします。花は特に美しいといふ程でもありませんが、細かい枝に米粒大の鐘状をした小花をベツタリとつけますので、満開の際は全く花でつまれ、見事があります。

花の咲くのは、十一、二月頃から四、五月頃で、優に一ヶ月近くも咲續けて居ります。白、櫻、桃、紅、薄紫などの色彩があります。一般にエリカは寒気に強く、房州や伊豆、高知、沖繩などの温暖地では冬も外で保ち、庭木のやうにして作ることも出来ますし、東京附近でも樂々フレームで或は暖房のない小温室でも、土臺でも花をつけることができます。

趣味栽培では、挿木して育てた小苗を求めるのが簡便です。一本十錢ぐらゐなものです。植付の時期は春と秋とありますが、春四、五月頃が最適で、育てるにも容易です。

〔作り方〕 求めた苗は、直ちに鉢へ植付けるがよろしい。長さ五寸、マッチの心位の太さの苗

でしたら三寸鉢に一本づつ、細根をほぐし、四方へ擴げて植付け、横枝の張つて来るに従つて四寸鉢、五寸鉢と少しづつ鉢の大きさをゆるめてゆきます。

植付に用ひる土は、腐葉土六分、庭土二分、川砂二分にするか、鹿沼土に腐葉を半分づつ混ぜた土でもよく、鹿沼土の代りに赤土を加へてもよくできます。

植付け後たつぷり灌水したものは、フレーム中に取込み、夜分のみ障子を立てます。併し蒸れるやうでしたら、木切れを挟んでおきます。日中も障子を上に四、五寸ずらすか木切れを入れて風通しを圖り、更に葎資を擴げ、半日陰に保ちますと根づきが良好になります。

四、五日後からは朝夕の薄日に當て、乾かさぬやうに水を與へてゐますと、間もなく新芽が伸びて參ります。この頃から次第に日に當て、ゆき、半月ほど後からは一日中當て、やりまです。但し夏のごく暑い際には前後一、二ヶ月、日中三、四時間は葎資をかけるか、チラノと日の當る木蔭に取込むとよく出来ます。これも程度問題で、餘り日陰ばかりで作りますと徒長したり、木が弱くてきて冬保ちが悪かつたり、花つきが芳しくありません。或る程度までは當てた方がよろしい。

その代り、灌水には、終日注意してやるやうにします。元來エリカは、水分の多い所に生えてゐるものですから、その心算りて與へる必要があります。また時折は、頭から施してやるこ



アブチロン



エリカの花

アブチロンといふ草花は、相當に古く渡來したもので、種苗店のカタログには大抵掲載されてゐるのでありますが、一般的には餘り知られて居りません。それでは、觀賞價值が低いかといひますとさうでもなく、栽培が困難でもないのですが、滋味があつて、パツと目立たないため、今日では作る人が少なくなつてゐるに過ぎないのです。

アブチロンの花は、芙蓉やあふひに似てゐますが、満開することがなく、常に半開きになつて數輪の花が細い枝につらなり、風鈴のやうに垂れ下り、優美なものです。紅、橙、

## アブチロン

とも薬になります。大雨でない限り、雨には打たせて一向構ひません。元氣づきましてから九月初め頃まで、半月毎ぐらゐに、油粕の腐汁をやり、初夏に一回、骨粉か米糠の腐汁、それに灰汁の少量を施しますとよく花がつかます。餘り秋遅くまで肥料をやつてゐますと、秋に出た芽に花がつかずに仕舞ひますから、いゝ加減にして切上げた方がよろしい。

霜の見ない、來てもごく薄い暖地ならば、外でも樂にもちます。併し他の地方では、少くとも温かい場所に設けた霜圍ひの中か、出来ればフレーム中に、霜の來る前に取入れてやらねばなりません。かうしてやりますと、フレームでは、早いものは、十二月頃から咲き始めて參ります。

毎年春四、五月頃に植替へて、新しい土を補給してやります。この時、房々と伸びた根の中で、古いものは幾分か切除してやると成績が良好です。

エリカには病氣は割合に少ないのですが、養虫や介殼虫など、害蟲がよくたかりますから、常に注意して下さい。養虫は手で捕ることもできますが、介殼虫は始末に困ります。少ない中に、硫酸ニコチンの八百倍液、その他、適當な薬をしつかりとかけて、完全に驅除しておくことが肝要であります。

黄、桃、白などの色彩があり、捨難い美しさを持つて居ります。葉はもみぢ葉に似て、黄或は白の斑のあるものがあり、更に覆輪や縞になつたものもありますので、夏の観葉ものとしてもいゝものです。

熱帯産の草花でありながら比較的寒さに強く、冬の間さへフレームで保護してやれて、性質も丈夫なので、誰方にも樂に作つて戴くことができます。

〔作り方〕 苗木を求めるときは、植付に安全な、春か初夏がよろしい。特に温室のない、冬だけフレームで育て、夏の間は外で培養する趣味栽培では、前記の時期に限ります。

高さ五寸前後の苗でしたら、四寸ぐらゐの素焼鉢が適當で、土は左程吟味するほどのことありません。普通の庭土に肥料分を含んだ腐葉を五分ほど加へ、水排けよく、軽く植込めば結構です。

植付後、たつぷり灌水しましたならば、その當座四、五日間はフレームに取込んでも、終日ガラス障子の上に葎をかけ、回復を圖ります。日中蒸れる時には、隙間をつけて風が通るやうにしてやる必要があります。

根づきましたらぼち／＼と日に當て、適當な時を見て外の日當りに出してやります。夏中もずつと、一日中、日に當てゝ差支へありませんが、斑入のものは日中だけ木蔭下におくか、葎

簀下、或は日蔭に取込む方が安全です。

苗が根づいて、ぐん／＼發育してくればもうメタもの、別にこれといつた手當もありません。灌水も日に二、三回、土を白く乾かさぬ程度に與へます。秋まで、月に二、三回の割で、油粕の腐汁と、時折骨粉とか灰汁を施せばいゝのです。腐汁が面倒なら、油粕を粉末のまゝ與へてもよろしい。

アブチロンは、比較的根の張り易い植物ですから、鉢底の穴から根を出して來ましたならば、一周り大きい鉢に植替へてやります。假令根が出なくとも、年に一回は植替へてやる必要があります。その時期は、五、六月から十月までが安全です。

あまり枝を打たず、數本の枝が眞直ぐに伸びる性質ですから、そのまゝ二、三年も育てゝるますと、下葉があがつて見苦しくなります。そこで、二年目に一回づつ、五、六月頃、適當な處から先を切棄てゝ、下枝を出させるやうにします。そして切取つた枝は、直ちに挿木をする

と一舉兩得です。元來丈夫なアブチロンも、蟲には至つて弱く、特に介殼蟲は、適切な驅除法がありませんから、よく注意して、少ない中に十分手當をしておくことが蓋し肝要です。

普通の種類は冬の寒さに丈夫で、簡単な霜除下や軒下、縁側、ムロなどで保ちます。

### シプリペデューム

シプリペデュームの花は、カトレヤのやうな華やかさはなく、却つて地味な、澁い色彩を持つて居りますが、花瓣の袋状になつた奇形と、一ヶ月以上も續けて咲いてゐること、培養の最も容易な點で、西洋蘭栽培の初心者にも最も相應しい種類であります。

勿論この中にも冬期、暖房のある温室でないと保たないものもありますが、最も一般的なインシダネといふ種類は甚だ強健で、ガラスだけ張つた小温室でもフレームでも多越しができ、よく殖え、手入次第では十分に花が見られるのであります。

〔作り方〕 培養を始める時期は、移植の好期である四月頃を最適としますが、素人方には、花のある暮より二、三月に、鉢つきのまゝ、元氣のいゝ株を求めます。無論この時期には移植は出来ませんから、小温室なりフレーム中に保護し、乾かぬ程度に水だけ與へてゆきます。この頃の手入中が一番注意と努力を要するのは、夜間の手當です。寒さに強いとはいつても、そのまゝでは、もちましても花は咲かず、來年の成績が思はしくありません。そこで夕刻、特に星のキラ／＼と輝く様な翌朝は大霜になりますから、薬コモ、米俵を二重にかけます。小温室で

は屋根と側面に吊りさげます。雪の時には、更に雨カツパかトタン板をのせます。

二、三鉢程度の場合には一法として、ガラスをはめた木箱に入れ、日中は日に當てゝ十分に温め、日の落ちる前に温かき室内に取入れます。寒い晩には、毛布か布團をかけておくと樂にもつものです。

何れにしても安全に冬を越し、四月になりましたら、植ゑて二年目のものは、五月の中頃までに植替と株分をします。鉢より抜き、一株に五、六芽以上もついでゐる時には、なるべく三芽以上をつけるやうにして、両手で靜かに、二株に分けます。五、六芽以下の際は、そのまゝで植替へるのです。

腐つた古根や水苔は綺麗に取去り、一旦清水で軽く洗ひます。新しい、半濕りの水苔を根のシプリペデュームの植替へ方



内外に當てがひ乍ら、凡そ鉢におさまる位の大きさに包み、大きな鉢かけを鉢底に三分の一ほど入れた上におさめます。鉢は四分か五寸の素焼鉢が頃合ひです。

植替へたものには十分に水を與へ、フレームに取込み、四、五日は日中に葎資をかけ、夜間のみ障子を覆ひます。若し蒸れる時には、隙間をつけておきます。五月下旬頃からは日向の棚におき、直接日に當てます。乾かぬ程度に水を與へてゆきませんが、植替後一週間ほどは毎日、葉にも水を與へますと良好です。

六月の中頃になりますと、日も相當に強くなります。直接日に當てゝゐては葉がやけ、株が衰弱します。故に、朝方二、三時間當て、後は陰になる所か、葎資或は本蔭におき、日を遮ぎります。また鉢と鉢との間隔をはなしてやると風通しがよくなり、涼しく保つことができます。更にお晝頃に一回、葉上より軽く水をやるか成育上、極めて良好であります。

植替へて二週間ほどしてより蕾の五分ほど見えてくる頃一九月中、下旬頃まで、月二回の程度に、腐熟した油粕のごく薄い液を與へます。シプリベジュームには肥料が大切で、肥料が利くと新芽が伸びるに従つて、根際には數個の芽がつき、やがて九月頃には蕾をもつやうになります。但し蕾が出ましたら、肥料を中止することを忘れぬことが肝要です。

九月頃からは暫次、日に當てる時間を長くします。十月からは、一日中當てゝやります。霜



シプリベジューム



デンドロビューム

の来る前にフレームか小温室に取込みますが、十二月頃までは左程寒氣も厳しくありませんから、夜分障子をかかけただけで十分であります。日中は障子を外し、或は窓をあけて風通しと浴光を圖ります。夕刻は早く閉め、温味のにげぬやうにします。それ以後の手入は前同様でよく、十日ごとに鉢の向きをかへ、何處にも平均に日の當たるやうにします。

十二月中、下旬頃には花を見ますから、灌水の際、かけぬやうにします。花の軸が長くて、ひよろ／＼する時には、針金か箸を立てゝ支へます。

### デンドロビューム

デンドロビュームもまた西洋蘭の中で、割合に培養の容易な、家庭の小温室やフレームなどを利用する趣

味栽培に向く一種です。専門家のやうに暮の内からは困難ですが、二、三月頃には十分、艶麗な花を咲かせることができます。花の貧弱さを我慢すれば、日當りのいゝ、温かな縁側や窓際でも作れるくらゐです。

〔作り方〕 デンドロビウムは、二、三年目ごとに、新しい水苔で植替へるのが適當です。その時期は、花の終つた後、即ち四月末から五月中頃までにやれば申分ないのです。新しく苗を求めて作るには、この頃に始めるのが一番無難です。

植替の要領は、その一週間前より水を控へ、鉢より抜き、長い竹箸で丁寧に古い水苔をほぐし取ります。腐り根と枯れた莖だけかき取り、半濕りの新しい水苔で、四、五寸の温室鉢へ入る位の大きさに根を包み、豫め鉢の約半分ほど大きな鉢かけを入れた上におさめ、足らぬ部分には水苔を詰めればよいのです。

若し鉢数を殖やさうとする場合には、この植替の際に、葉のついた莖が三、四本づつつくやうに二株乃至三株に分け、それぞれ一鉢に植付ければよいのですが、觀賞上には、あまり小さく即ち莖数を少なくするのは面白くありません。

尙デンドロビウムは、芽が出て、一年乃至二年すると全く葉をなくし、節のある莖だけ残りますが、これに花をつけるのですから、葉がないので、枯れたと思つて取るやうな間違を起

さぬことが大切です。

植替へたものは一般に、直ちに日當りのいゝ、室外の棚に並べ、十二分に水を與へておきます。併し霜の處れある場合には、夕刻軒下或は縁側、またはフレーム中に取込んでおくに越したことはありません。デンドロビウムは、シプリベジウムより草丈が高く、普通のフレームではおさまりません。そこでデンドロを入れる部分だけ五、六寸ほど掘下げ、また後側の方におくやうにするとよろしい。

七、八の二ヶ月ほどを除けば、他の時期には終日、日に當て、やります。葎簀等かけますと、花つきが思はしくないので、直夏も朝方二、三時間は日に當て、午後から葎簀下か木蔭などに取入れるやうにします。但し植替をした當座と、植替へなくてもフレームなどから、五月中頃に外へ出した當時、一週間ほど、日中だけ日陰か葎簀下におく必要があります。

水は、春外へ出してから九月頃まではたつぷりと、幾分か多目にやります。夏の間は、頻繁に葉へ水をかけることは好ましいことです。九月に入りましてからは漸次、水の量を控へます。多過ぎると、折角出かゝつた蕾も葉に化け易いからです。

肥料は、フレームより外へ出してから九月中頃まで、月二回の程度に、油粕のごく薄い腐汁をやります。



## ゆきやなぎ

草筍の枝の如くに極めて繊細な小枝から、三月中、下旬頃に柳の葉に似た可愛らしい緑葉をつけ、それに續いて小米の如き白い小花を無數に綴るのが雪柳です。お正月から初春にかけて、よく活花材料にされるので、實物を十分にご承知のことと思ひます。

この雪柳は、温暖の地方なら、何處でも作る事ができます。鉢植は少なく、大抵庭へ植ゑます。日當り(半日ほど日が當ればよろしい)の竹垣や建物に沿つて、或は庭隅、柴戸の隅、玄關脇、石燈籠の際などに配位すると見榮えませう。

花の咲いてゐる頃に植付けても大丈夫ですが、一番いゝのは花の濟んだ直ぐ後です。また梅雨前でも構ひません。根に左程土がついてゐなくても、よく根づくものです。

花の濟んだ後に、冗枝、極端に太い枝など短かく切詰め、細かい枝が澤山につくやうにします。秋末か早春、花の咲く前に一度、枯れ枝など取つて、掃除してやると結構です。この時一緒に、株の周りに浅い溝をつけ、灰や油粕の腐汁、汲置きの小便などを施しておきますと、よく花をつけます。

尚、風當りの激しい所では、太い竹を添へ、太い枝をこれに縛りつけておかぬと倒れて困ります。

## 木蓮

晩春に咲出する木蓮の美しさは、亦格別であります。枯枝に香りの高い花だけをつける白木蓮もよければ、新葉と共に淡紅紫色の花をつける更紗木蓮も捨難い味があります。

木蓮は大變成長のいゝもので、夏には大きな葉を茂らせ、相當に日陰を作りますから、狭い庭には不向きです。併し陰を屋根に作るやうにすればいゝでせう。

雪のある地方でも出来ますけれど、なるべくならば温かい所が適當です。殊に白木蓮は、花が早く咲きますため、晩霜の害を受け易いので、日受のよい場所を選ぶことゝ、晩霜の處れ多き地方では更紗木蓮を作るやうにおすゝめします。

花の咲く少し前か、入梅頃に植付けると安全です。後者の場合は、植付ける際、適當に枝を下しておく根づきが良好であります。少し位の乾きには平氣ですが、植付けた年だけは、根元にコモか刈草を覆つておきたいものです。

前述の如く、大變伸びのいゝ木ですから、植付けた年からその心算りて手入します。といつて、無闇に切ると花が付きません。毎年花の終つた時に一度、切り過ぎたかなと思ふ位切詰め、その後は冗枝、枯枝を切拂ふ位に止めるとよろしい。

尙、太い幹や根元から出る新芽は、早い内にかき取つておくことゝ、寒中に肥料をやつておくのは効果的です。

### ユツカ

刺々しい、劍狀の葉を四方に擴げてゐる半熱帯性のユツカは、公園などの芝生によく植付けられてゐます。九月頃に太い莖を伸して

ユツカの花



簡単な冬越しの仕方



芳香の高い、白い花を多数につけます。相當に年を経ないと花は咲きませんが、葉だけでも十分眺められ、特異な形をしてゐますため、芝庭や洋風住宅には誠に相應しいものです。

水引きさへよければ、何處でもよく出来ますが、なるべく日受けの、温かい所を選んで下さい。五月頃から入梅迄に植付けるのが安全で、別にこれといふほどの手入もいりません。

温暖地を好むのですから、東京附近では、冬季、薄霧に一、二度當つてから、葉を上向けに集め、上からぐる／＼巻きに繩をかけおきます。面倒ならば、先をちよつとつまむ具合にして縛り、芯に霜や雪などが當らぬやうにしておけばいゝのです。

### はぎ

花の一つ／＼については左程の美しさも感じられませんが、竹垣越しに咲亂れた姿、朝霧の中に白露を含んだ花のすが／＼しさは、譬へようもない美しさです。秋を飾る花木として、先づ代表的なものでせう。

半日ほど日が當ればよく育ちますが、日當りのいゝ所ほど望ましいものです。花の咲く頃に植付けたのでは、殆どつきません。芽のまだ出ない、春の彼岸頃が適當で、こ

の頃なら、つきはぐれは絶対にありません。  
 五、六寸ほど新芽が伸びた頃、一度先を摘んでおきますと、こじんまりとして、枝もよくつ  
 んで参ります。風で倒れさうな時には、竹を立て、一把總からげにしておくとうろしい。  
 葉が落ちましたら、地際から刈取ります。寒さの厳しい、霜柱のひどく立つ所では、土を一  
 二寸かけておくか、落葉かワラをのせておくと申分ありませんが、大抵そのまゝで差支へない  
 ものです。早春、芽の出かゝつた頃、灰や油粕の腐汁をやると過分です。

石南

石南は庭植にもされてゐますが、多くは鉢に植ゑてゐます。殊に日本石南は、花木盆栽とし  
 て取扱はれてゐる位であります。石南は元來、寒さには強いのですが、寒い風にさらされたり  
 夏の強い日光に當りますと弱りますから、その點に注意すれば保込みは容易です。  
 日本産の石南は優雅でよろしいが、ロードデンドロンといふ西洋石南も華麗で、鉢植として  
 素敵です。こゝでは主に、鉢作りの仕方について、お話し申上げることになります。  
 「鉢作り」 新しく株を求めて植付けるには、春の新芽が出かゝらうとする頃が最も適當ですが



鉢植の西洋石南

石南は日本種でも西洋石南でも、盛夏の強い日に當てると弱ります。一日中涼しい風のくる  
 葎の下か木蔭、または朝方二、三時間當て、後は日陰におきます。併し春秋、新芽の出る頃は  
 十分に當て、しつかりとした枝に育てること  
 とが肝要であります。この時に水が不足しま  
 すとよく萎れます。毎日たつぷりと灌水して  
 やります。若しそれでも萎れるやうでしたら  
 半日ほど日に當てた後は、葎下などに取込  
 んでやります。  
 四月頃から九月末頃まで、月一回の割で、  
 骨粉を少しませた油粕の腐汁、或は粉末を與

へるとよく育ち、新しい枝も充實して來ます。これが弱いと、どうしても花が付きません。冬の間は、寒い風の來ない、日當りに鉢の部分だけ埋けておいても差支へありません。日當りの軒下、室内などに取込んでも結構です。春新芽の出かゝる頃、長い枝は、下にある大きな芽を適當に残して、先を切拂ひます。伸びるに任せますと、下葉がなくなつて、鉢植では見苦しくはいけません。

蕾がぼつ／＼色づきかけた頃からは、雨には當てぬやうにします。また日にもあまり當てぬやうに、葭簀下か朝方だけ當てると、長い間、眺めることが出來ます。

### さるすべり

百日紅と書いて、「さるすべり」と讀みます。この百日紅は、盆栽として鉢に植ゑてあるものもよく見かけますが、多くは庭植で、寺の境内などに多いものです。炎暑きびしき七月下旬から八月末にかけて、垂れ氣味の枝先に、多數の紫紅色または白色の花をつけます。夏の庭園を飾るに相應しい花木です。

玄關脇、門脇、石燈籠や瀧口の附近、縁常の植込の前などに配植するとなか／＼花時には

調和のよいもので、バツクの色加減で暑苦しい花を活かすことが肝要です。但し日陰や風通しの悪い場所は禁物です。

新芽の五、六分ほど伸びかけた四月上、中旬に植込めば、活着は良好であります。植込んだ時に、十分水を與へておきます。

百日紅は、春より伸びた新梢の先に花をつけるものです。伸び過ぎるからといって、矢鱈に先を切つてゐますと、全然花が付きません。あまり伸びなければ、努めて新梢の摘込みは避けます。そして花が済みましたら、花の部分だけ切拂ひ、葉が落ちてから、短かく切詰めるとよろしい。非常に伸びのよいものですから、相當切詰めても心配はいりません。

併し新梢があまり伸び過ぎて困る場合には、七月初め頃、伸び過ぎてゐる枝だけ短かく切詰めてやります。枝が込合ひ、長雨が續き、風通しが悪いと、葉が白粉をふりかけたやうになります。これは一種の病氣です。この時には、枝先を切詰めないで、込合つたり、重なり合つてゐる枝を元から切拂ふやうにしてやります。勿論そんなことのないやうに、早春、適當に切詰めておくべきですが……。

植付けた翌年より、芽の出かゝつた頃に一回、根元に汲みおきの小便に灰をやると、花つきに効目があります。

## 夾竹桃

暖地の割合に温かな日受に好んで發育する常磐木で、七月頃、新梢の先に、白或は淡桃色の艶麗な花を數十個つけ、一ヶ月近くも咲續けます。東京附近ならまだ作れますが、雪の多い寒地には向きません。

下枝があまりあがりませんから、門或は玄關脇、窓際、庭隅などへ植付けるに好適です。但し葉は有毒ですから、お子さんのある場合は、見合せた方が安全です。

植付の好期は、春の彼岸頃で、根を切らぬやうにして植付けます。と同時に、前年伸びた部分を半分ほど残す程度に、少し深く枝を切詰めておきます。枯枝や冗枝を一緒に、切取つておくのは無論のことです。

この後花を見る迄は、少し枝が伸過ぎてても、鉄は入れぬやうにします。これは枝先に花をつけるからであります。花後に僅かに切詰め、翌年の春に再び深く切詰めてゆきますと、大變巧くゆきます。

春から秋までの間に一、二回、株の周りに肥料をいけてやると、花がよくつきます。

## 紫陽花

鉢作りには、薄紅色をした、美しい花をつける西洋紫陽花もよろしいですが、庭植にはやはり在來の紫陽花が丈夫で、且つ作り易くて好適です。

〔庭作り〕日當りでも出来ぬことはないのですけれども、夏の間だけ、特に日中は日陰になるやうな、落葉樹の下などに作るとよく育ちます。

春の彼岸頃から四月上、中旬、芽の出かゝる頃か秋十一月中が、植込みの適期です。根づきは、ごくいい方です。

芽が出てから花の済むまでは枝を切らずにおき、更に一、二回、根周りに肥料をやつておきます。花後、速かに、花をつけた枝や伸過ぎてゐる枝は、一、二枚ほど葉を残して先を切拂つておき、同時に肥料を十分に施しておきます。

斯様にしますと間もなく新梢が伸びますから、落葉後か早春に、枯枝、冗枝、込合つた枝、伸過ぎた枝だけを適當に切詰め、後はあまり切らぬことです。常に先を切詰めておきますと、こじんまりとは出来ましても、花がサツパリつきません。

こじんまりと體裁よくは仕立て、ありますが、枝がまるでサ、ラを立てたやうに、一パイ出  
てゐる紫陽花をよく見かけますが、これでは花は咲きません。これは早春に一度、細、夜を根  
元から切拂つておくのです。すると残された枝に養分が十分に行渡り、風通しも日當りもよく  
なりますので、前記の手入をすれば、必ず澤山に花がつかます。

〔鉢作り〕 植付の好期は早春ですが、毎年一回、花の済んだ直ぐ後で植替を行ひ、古い土を半  
分ほど落とし、周りの根を切落し、新しい土（庭土に二、三分腐葉と少量の砂を加へたもの）で  
植込んでおきます。

この際に、どの枝も一、二枚ほど葉を残して先を切拂ひ、この後から出る新芽は、來年花の  
済むまで、なるべく切らぬやうにします。併しあまり伸過ぎて、恰好の悪くなる場合はこの限  
りにあらずで、秋末、適當に切込んでおきます。この際に冗枝や枯枝を一緒に切取ります。

春から秋まで、特に花が終つてから一ヶ月間ほどは、油粕の腐汁など十分に施すことが肝要  
で、常に水を潤澤に與へます。春秋は終日當てますが、盛夏の候には、日中だけ葎簾下におく  
か、午後から陰げる場所におくと世話なします。

冬の間は外でもよろしいが、西洋種は、なるべく寒い風の當らぬ軒下か縁側、霜除下に鉢だ  
け埋けておくのが安全な策であります。

庫文館文博

—(78)—



昭和十四年十一月十五日 印刷  
昭和十四年十一月十九日 發行

草花二百種……奥付  
定價 三十五錢

著者

農業世界編輯局編

東京市日本橋區本町三丁目九番地  
株式会社 博文館

發行者

大橋 進 一

印刷者

東京市神田區小川町二丁目六番地  
瀨尾 忠雄

刷印所刷印高榮長

發行所

株式會社 博文館

東京市日本橋區本町三丁目  
振替貯金口座東京二四〇番  
電話日本橋 (24) 代一三〇一 番(6)  
三〇三番



394  
215

盆栽入門	農藝世界編輯局	三〇
春の盆栽	農藝世界編輯局	三〇
夏の盆栽	農藝世界編輯局	三〇
秋の盆栽	農藝世界編輯局	三〇
冬の盆栽	農藝世界編輯局	三〇
小品及小物盆栽	農藝世界編輯局	三〇
開戦の時機	堀 一郎	三五
寄せの手法	堀 一郎	三五
詰將棋五十番	塚田正夫	三五
初學將棋讀本	池部和歌夫	三五
將棋學初歩	池部和歌夫	三五
古今名局詳解	〔近代中心篇〕 土居市太郎	三五
古今名局詳解	〔享保中心篇〕 土居市太郎	三五

盆栽樹形寫真百鑑	農藝世界編輯局	四〇
萬年青と蘭	農藝世界編輯局	三〇
棕栢竹と観音竹	農藝世界編輯局	三〇
大菊の作り方	農藝世界編輯局	三〇
小菊の盆栽	農藝世界編輯局	三〇
朝顔の作り方	農藝世界編輯局	三〇
草花二百種の作り方	農藝世界編輯局	三〇
苺の作り方	農藝世界編輯局	三〇
鶏の飼ひ方	農藝世界編輯局	三〇
兔の飼ひ方	農藝世界編輯局	三〇

【以下續刊】

□送料 定價三十錢迄は……三錢  
 定價三十五錢以上は……六錢  
 □御注文は定價に送料を加へ、總て前金で御送り下さい。



終

